

二 森林ノ地目別字番號ノ式言ハ爾時ノ法律ニ依リテ定ムルコトナリ  
 三 獲害樹木ノ種類ハ該法ニ依リテ定ムルコトナリ  
 第七三條 森林官署ニ於テ其ノ森林ノ所有權者又ハ管理權者ハ獲害ノ  
 實況及防除豫防ノ方法ヲ詳記シ所轄警察署ヲ經テ知事ニ届出ツヘシ  
 第七四條 前各條ニ規定シタルモノハ外森林官署ニ於テ其ノ森林ニ危  
 害ヲ及ボスモノ一切ノ所爲ヲ爲スコトヲ得ス  
 第七五條 公有林、公有森林、私有林、所有權者ハ管理權者ニシテ木材ノ伐採  
 爲シ若シバ之ヲ林場ヨリ搬出セムトスル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ所轄警察  
 署ニ於テ第七三條乃至第七四條ノ規定ヲ適用スルコトナリ  
 附則 警察官署ハ該法ニ依リテ定ムルコトナリ

第十六條 本則ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
 第十七條 明治十六年本縣有連甲種山林取締規則ハ之ヲ廢止ス  
 附則 警察官署ハ該法ニ依リテ定ムルコトナリ  
 ●森林取締規則施行心得  
 明治四十五年四月  
 訓令乙第一九六號改正  
 第二條 森林取締規則ニ依リテ第一條ノ事項ヲ調査シタルトキハ規則第  
 四條ニ依リテ該法ニ依リテ定ムルコトナリ

ノ種類届出年月日ヲ記シ警察部ニ進達スヘシ  
 第二條 規則第五條ノ處分ニシテ事體重大ト認ムルモノハ速ニ其ノ狀況ヲ警察部長ニ  
 報告スヘシ  
 第三條 規則第七條ノ申請アリタルトキハ左ノ事項ヲ調査シ不都合ナシト認ムルトキ  
 ハ森林法施行規則第四十四條所定ノ許可證ヲ下付スヘシ  
 第一條 火入申請ノ場所ハ帝室林野管理局森林官吏又ハ林區署森林官吏ノ許可スヘキ森  
 林又ハ土地ニアラサルヤ否ヤ  
 第二條 防火設備及手配ハ完全ナルヤ否ヤ  
 第四條 規則第十二條第十三條ノ届書ヲ受理シタルトキハ其ノ實況ヲ調査シ書類ヲ進  
 達スヘシ  
 第五條 規則第十五條ニ依リ規則幾部ヲ準用スルノ必用ヲ認メタルトキハ其ノ事由並  
 準用スヘキ條項ヲ具シ警察部長ノ指揮ヲ受ケ準用スヘキ條項ヲ所有權者又ハ管理權者ニ  
 通告スヘシ但シ口頭ヲ以テ通告ヲ爲シタルトキハ爾後速ニ通告書ヲ交付スヘシ  
 第六條 規則第二條ノ届書ヲ受理シ又ハ第七條ニ依リ許可シタル火入地ニシテ帝室林  
 野管理局又ハ林區署所管地ニ接近スルトキハ左ノ事項ヲ當該局署森林官吏ニ通報ス  
 一 火入申請ノ變更又ハ禁止セラレタルトキ又ハ火入日時ノ變更アリタルトキ亦同  
 二 火入申請ノ場所ノ變更又ハ禁止セラレタルトキ亦同



- 一 記號印章ノ形狀届出人ノ住所氏名營業ノ種類届出ノ年月日
- 二 火入ノ日時及目的
- 三 火入ノ場所及面積
- 四 火入者ノ住所及氏名
- 第七條 (削除)

●森林火入通報ノ件

明治三十五年四月五日  
保收第一四一四號

森林火入通報ノ件ニ付帝室林野管理局及青森木林区署ヨリ所管森林其ノ他ノ土地ニ火入ヲ許可シタル場合ハ火入監視ニ必要ナル最寄警察署又ハ巡查部長派出所巡査駐在所ニ通報シ又警察署ニ於テ火入ヲ許可シタル場合ハ同様林区署保護區出張所分擔區員ニ通報方請テ火入モ有之候條森林火入監視ニ行ハルベシ又火入ノ監視ニ必要ナル前記最寄警察官又ハ林区署主務官吏ヨリ官場ニ付協議スルベシ又警察署火入許可ノ通報ヲ受ケタル場合ハ火入當日事務ニ差支ル限リ速届出張其ノ他ノ場合ニ於テ現場ニ出張シ相當取締ヲ爲スヘシ

●極印使用規則

明治三十四年十月十六日  
保收第一四一四號

- 第一條 官有地ノ立木又ハ枯損木ヲ賣渡譲與ヲ爲スニ當リ豫メ其立木及枯損木ノ檢査ヲ爲セシトキハ其證トシテ樹幹ノ目通ニ檢印根ニ山印ヲ打印スヘシ
- 第二條 官有地ノ立木又ハ枯損木ヲ賣渡譲與ヲ爲シ之ヲ引渡ストキハ其證トシテ樹幹ニ檢印ヲ打印シ其伐跡檢査ノトキハ断面ニ檢印ヲ打印スヘシ但根株ノ賣渡譲與ハ断面ニ檢印ヲ打印スルモノトス
- 第三條 盜伐候伐ノ樹木及其伐跡境界木其他區域ヲ定メ賣渡シタル地盤中存置ヲ要スヘキ立木及其境界木等ニハ山印ヲ打印スヘシ
- 第四條 極印ハ總テ黒肉ヲ用ユヘシ
- 第五條 極印ヲ誤打シタルトキハ朱肉ノ同印ニテ消印スヘシ
- 第六條 社寺境内ノ枯損木ヲ賣渡譲與ヲ爲ストキハ前條ノ例ニ依ルヘシ

形號紙別



森林火入通報ノ件 極印使用規則

保 五六三



●森林警察ニ關スル協議事項

明治四十四年七月一日  
保收第一二三號

森林警察ニ關スル協議事項

一 森林ニ關スル犯罪發生ノ際相互ニ通報スルコト

森林保護ノ周到ヲ期セムト欲セハ森林官ト警察官トハ互ニ氣脈ヲ通シ取締ヲ爲ス

ニアラサレハ到底保護ノ全キヲ期スルコトヲ得ヌ現時ニ於ケル警察官吏ト森林官

吏トノ關係ヲ見ルニ必要ナル連絡ヲ缺キ森林内ニ重大ナル犯罪ノ行ハル、コトア

ルモ警察官吏ハ之ヲ認知スル時機ヲ逸スル場合モ尠カラズ森林官吏ニ於テモ前同

様ノ不便ヲ感スル場合モ可有之ニ付森林巡視中ニ認知シタル犯罪及其ノ犯罪ニ關

スル加害者ノ模樣並被疑者ト認ムルモノアルトキハ適宜ノ方法ヲ以テ互ニ通報シ

相共助シテ其ノ犯人ノ檢舉ニ努メラレンコトヲ望ム

二 森林犯罪ニ關スル要視察人ヲ相互ニ通報スルコト

各警察ニ於ケル森林犯罪ニ關スル要視察人名簿ノ登錄者ニシテ往々小林区署ニ於

ケル者ト相違シ居ルモノモ尠カラサルヤニ聞クヲ以テ之等モ互ニ氣脈ヲ通シ視察

ヲ爲スコトトセハ一朝犯罪發生ノ場合ニ於テ便益スル處尠カラサル、キニ付差聞

ナキ限リ相互ニ通報スルコトヲ致シタシ

三 改正森林取締規則第一條ニ依リ届出タル記號又ハ印章ハ同一若ハ類似ノモノヲ使

用セシメタル方針ヲ以テ縣下ニ於ケル凡テノ印章ハ其ノ形狀ヲ各警察署ニ通報シ

アルヲ以テ疑ハシキモノアルニ於テハ所轄警察署ニ御同合相成タシ

四 森林取締規則第五條ノ處分ニ關スル件

森林取締規則第五條ノ運搬賣買ノ停止又ハ記號印章ノ使用禁止ノ處分ハ森林法第

七十六條ニ依リ地方長官ノ專任事項ニシテ地方警察官吏ノ外爲スコトヲ得サル事

項ニ付右様ノ場合ニハ速ニ所轄警察署ト協議セラレンコトヲ望ム

五 森林取締規則第十二條第十三條ニ該當スル事項ノ通知ニ關スル件

森林官ハ森林内ノ執務多キヲ以テ森林ニ關スル危害ヲ目撃スル場合少カラサルヘ

キニ付公有林、社寺有林、私有林ニシテ規則第十二條第十三條ニ該當スル事項アリ

タル場合ニ於テハ可成迅速ニ森林所有者ノ氏名樹木ノ種類害蟲ノ名稱等ヲ警察署

又ハ警察署ニ通知アラシムコトヲ望ム

六 森林取締規則ヲ公有林、社寺有林、私有林ニ準スル場合ニ關スルコト(第十五條)本

條ハ往々私有林ノ伐採ヲ名トシ國有林ニ危害ヲ加フコトアルヲ以テ之等弊害ヲ矯

正シ危險ヲ豫防スルノ趣旨ニ因リ制定シタルモノナルヲ以テ國有林ニ隣接シ若ハ

隣接セサルモ國有森林ヲ保護スルニ必要ナルト認ムル場合ハ之カ規定ヲ準用シテ

嚴重取締ヲ爲ス見込ナルヲ以テ森林官ニシテ之カ準用ヲ必要トスル場合ハ所轄警

察署ニ協議アラシムコトヲ望ム



●鐵道用地火入ニ關スル件

明治四十二年二月一日  
指示第三號

枯草燒却等ノ爲メ鐵道用地ニ火入ノ場合ハ火入期日前ニ管理局長ヨリ所轄警察署ヘ通知ノ書ニ有之候條其通報ヲ受テタルトキハ附近住民ニ周知セシメ火入當日ハ相當ノ取締ヲ爲スヘシ

六 森林警察官ニ對シテハ鐵道用地ニ火入ノ場合ハ左ノ場合ニ依リテ之ヲ取締ラベシ

●林野火入取扱規則

明治四十五年四月十六日  
告示第二百十六號

第一條 森林法第七十八條第一項ニ依リ林區署所管ノ森林火入取締ノ火入ハ左ノ場合ニ限リ之ヲ取扱フベシ

一 造林地等ノ爲ナルトキ  
二 農圃等ノ爲ナルトキ  
三 害蟲驅除ノ爲ナルトキ  
四 防火燒却ノ爲ナルトキ

第二條 前條ノ場合ニ於テ火入ヲ爲サズルモシテハ左ノ場合ニ依リテ之ヲ取締ラベシ

一 造林地等ノ爲ナルトキ  
二 農圃等ノ爲ナルトキ  
三 害蟲驅除ノ爲ナルトキ  
四 防火燒却ノ爲ナルトキ

第三條 前條ノ場合ニ依リテ之ヲ取締ラベシトシテハ左ノ事項ヲ具シテ林區署長ニ報告スルベシ

一 火入ノ日時  
二 火入ノ場所  
三 火入ノ原因  
四 火入ノ結果

第四條 防火設備ノ方法及番人ノ員數ハ左ノ場合ニ依リテ之ヲ決定スルベシ

一 防火設備ノ方法  
二 番人ノ員數

第五條 防火設備ノ方法及番人ノ員數ハ左ノ場合ニ依リテ之ヲ決定スルベシ

一 防火設備ノ方法  
二 番人ノ員數

第六條 防火設備ノ方法及番人ノ員數ハ左ノ場合ニ依リテ之ヲ決定スルベシ

一 防火設備ノ方法  
二 番人ノ員數

第七條 防火設備ノ方法及番人ノ員數ハ左ノ場合ニ依リテ之ヲ決定スルベシ

一 防火設備ノ方法  
二 番人ノ員數

第八條 防火設備ノ方法及番人ノ員數ハ左ノ場合ニ依リテ之ヲ決定スルベシ

一 防火設備ノ方法  
二 番人ノ員數

第九條 防火設備ノ方法及番人ノ員數ハ左ノ場合ニ依リテ之ヲ決定スルベシ

一 防火設備ノ方法  
二 番人ノ員數

鐵道用地火入ニ關スル件 林野火入取扱規則

保 五十六



トスル者アルトキ亦同シ  
 第六條 明治四十四年九月林第四〇五二號山林局長通牒ニ依ル許可ノ通知ハ帝室林野管理局森林官吏ニ對スルトキハ所轄出張所若ハ分擔區員ニ警察官吏ニ對スルトキハ所轄警察署若ハ派出所駐在所ノ巡查ニ之ヲ爲スヘシ

第七條 森林法第七十九條ニ依ル火入ノ通知ハ許可證ヲ交付シタルトキ直ニ之ヲ爲サシムヘシ

第八條 火入ヲ許可シタルトキハ火入期日前日迄ニ申請書記載ノ防火設備ヲ爲サシメ之ヲ検査シ尙不充分ナリト認メタルトキハ更ニ相當ノ手入ヲ爲サシメタル後火入セ

第九條 火入許可ノ後ニ於テ火入ノ期日又ハ防火設備ヲ變更セムトスルトキハ直ニ其理由ノ事由ヲ届出テシメ支障ナキモノニ限リ前四條ニ依リ處理スヘシ

第十條 保護區員ニ於テ第三條ノ申請書ヲ受理シタルトキハ第一條及前七條ニ依リ自ラ之ヲ處理シテ關係書類ヲ添付シ小林區署長ニ報告スヘシ

第十一條 小林區署長ハ前條ノ場合ニ備フル爲豫メ許可證用紙ヲ保護區員ニ配付シ置

第十二條 火入ノ際ハ消防用トシテ鐵線ノ類ヲ申請者及番人ニ携帯セシムヘシ

第十三條 火入中ハ擔當保護區員又ハ其ノ他ノ小林區署員之ヲ監視シテ火入ノ方法等

ヲ指揮シ適當ニ番人ヲ配置シテ他ニ延燒セサル様警戒シ火氣全ク消滅スルマテ其ノ場所ヲ立去ラシムヘカラス

第十四條 日欄前日沒後又ハ強風ノ場合ハ火入ヲ爲サシムヘカラス

火入著手後風力ノ變動ニ因リ延燒其他危害ヲ虞スルト知ハ速ニ火入ヲ終止シ更ニ火入ノ方法若ハ期日ノ變更其ノ他相當ノ處置ヲ爲スヘシ

第十五條 許可證ハ火入ヲ終リタル日若ハ其ノ效力ヲ失ヒタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ返納スルベシ

第十六條 火入ノ許可證ヲ持テ火入期日後十日以内ニ所轄出張所若ハ分擔區署長ニ報告(電話ニ依リテ)スルベシ

一 火入箇所ノ地籍地目面積及實況

二 火入ノ目的

三 火入ノ期日

四 火入者ノ住所及氏名

五 火入ノ了否

六 火入ノ状況

附則	林(田)太字
	...



明治四十三年四月鹿野第二〇三號林野火入取換規則ハ之ヲ廢止ス

第一號様式 圖

六 火入ノ地目 野火入願

五 火入ノ地目 野火入願

四 火入ノ地目 野火入願

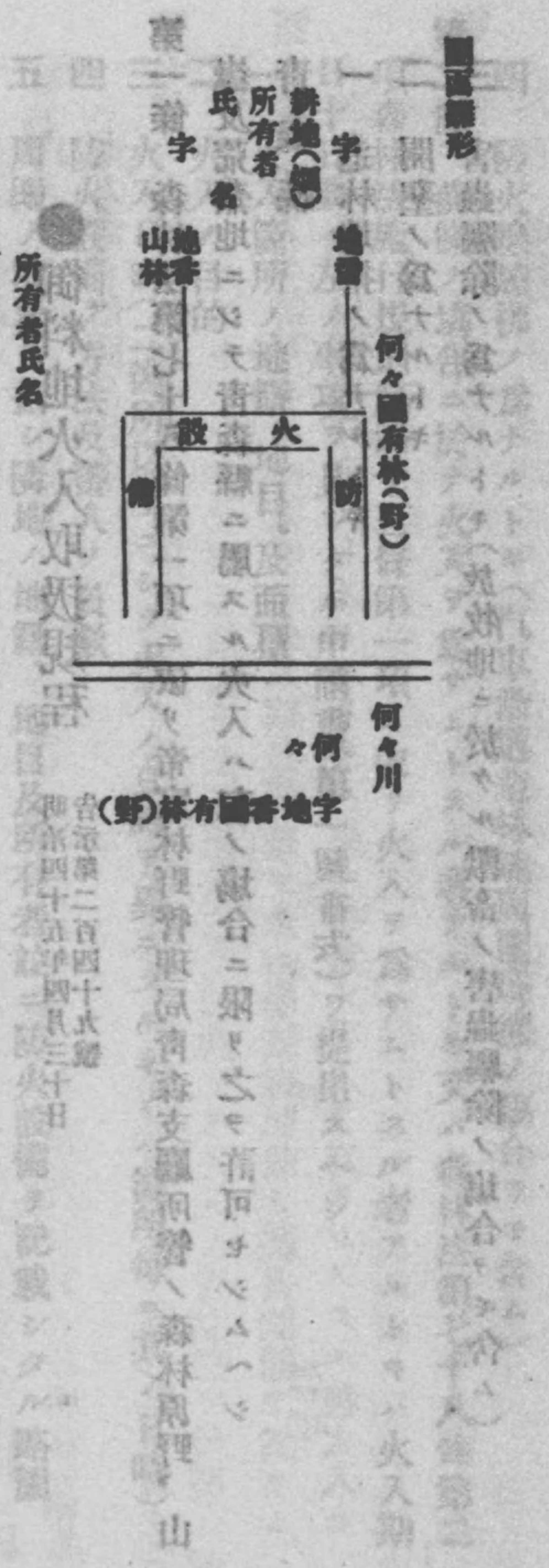
三 火入ノ地目 野火入願

二 火入ノ地目 野火入願

一 火入ノ地目 野火入願

右土地へ何れ火入ノ目的ヲ記載スヘシノ火入致度尤モ火入中ハ總テ御指揮ニ從ヒ  
他ニ延燒致ササル様精々注意可致候條御許可相成度別紙圖面(及何々證明書)相添此  
段相願候也

第十五章 月日火入マシムル日若ハ其ノ致度マシムル日若ハ其ノ致度マシムル日  
火入善平並周式ノ變換ニ因リ致度其別紙圖面入ルル氏ノ數ニ火入マシムル日  
業十四番小日林區好御中へ嚴禁ノ組合ハ火入マシムル日若ハ其ノ致度マシムル日  
取換立去マシムル日若ハ其ノ致度マシムル日



第二號様式 用紙爲ノ子又ハ之ニ準シタル厚紙

Table with 4 columns: 火入日時 (Fire entry time), 火入 (Fire entry), 火入所 (Fire entry location), 許可年月日 (Permitted date). It includes a section for '小井野' (Koi no no).

得心者入火  
一 火入者ハ火入ノ際此處書テ總テスヘシ  
一 火入者ハ火入日時ヲ火入箇所ニ接近  
一 火入者ハ火入所ノ所有者又ハ管理者ニ通知スヘシ  
一 火入者ハ火入所ノ指定ノ防火設備  
一 火入者ハ火入所ノ指定ノ防火設備  
一 火入者ハ火入所ノ指定ノ防火設備

林野火入及取換規則







第五條 火入ノ申請アリタルトキハ出張所ニ於テ實地ノ狀況ヲ查察シ事業及御料地ノ保安上支障ナク且必要ニシテ危害ノ虞ナシト認メタルモノニ限り許可證(第二號書式)ヲ交付シ直ニ之ヲ擔當分擔區員ニ通達スヘシ火入ノ爲メ防火設備トシテ焼切ヲ爲サルトスル者アルトキ亦同シ

第六條 火入ヲ許可シタルトキハ左メ各項ヲ林区署森林官吏ニ對シテハ所轄小林區署若ハ保護區員ニ警察官吏ニ對シテハ所轄警察署若ハ駐在巡査ニ通知スヘシ

- 一 火入箇所及面積
- 二 火入ノ目的
- 三 火入ノ日時
- 四 火入者ノ住所及氏名

第七條 森林法第七十九條ニ依ル火入ノ通知ハ許可證ヲ交付シタルトキ直ニ之ヲ爲サシムヘシ

第八條 火入ヲ許可シタルトキハ火入期日前日マテニ申請書記載ノ防火設備ヲ爲サシメ之ヲ検査シ尙不充分ナリト認ムルトキハ更ニ相當ノ手入ヲ爲シメタル後火入セシムヘシ

第九條 火入許可ノ後ニ於テ火入ノ期日又ハ防火設備ヲ變更セムトスルトキハ直ニ其ノ事由ヲ届出テシメ支障ナキモノニ限リ前四條ニ依リ處理スヘシ

第十條 分擔區員ニ於テ第二條ノ申請書ヲ受理シタルトキハ第一條及第七條ニ依リ之ヲ處理シテ關係書類ヲ添附シ速ニ出張所長ニ報告スヘシ

第十一條 出張所長ハ前條ノ場合ニ備フル爲豫メ許可證用紙ヲ分擔區員ニ配付シ置クヘシ

第十二條 火入ノ際ハ消防用トシテ鐵鍊ノ類ヲ申請者及番人ニ携帯セシムヘシ

第十三條 火入中ハ擔當分擔區員又ハ出張所員之ヲ監視シテ火入ノ方法等ヲ指揮シ適當ニ當人ヲ配置シテ他ニ延燒セラル様警戒シ火氣全ク消滅スルマテ其ノ場所ヲ立去ラシムヘカラス

第十四條 日出前、日没後又ハ強風ノ場合ハ火入ヲ爲サシムヘカラス

第十五條 出張所員又ハ分擔區員ニ於テ第十三條火入ノ監視ヲ了シタルトキ又ハ第十四條ノ處置ヲ爲シタルトキハ火入期日後三日以内ニ其狀況ヲ出張所長ニ報告(第三號書式)スルニ當リ出張所長ハ其ノ報告ニ對シテ必要ナル場合ハ本署ニ報告スル

第十六條 出張所若ハ分擔區員ニ於テ林区署森林官吏若ハ警察官吏ヨリ火入ノ通知ヲ受ケ立會案ヲ爲シタルトキハ前項ニ準シ報告スルニ對シテ其ノ報告ニ對シテ必要ナル場合ハ出張所長ニ報告スル

御料地火入取扱規程







第二號様式 用紙鳥ノ子又ハ之ニ準シタル厚紙

表 三寸

林野火入許可證		
火入日時	火入者	火入所
火入箇所	出張所印	官取
許可年月日		

分五寸二

得心者入火

- 一 火入者ハ火入ノ際此證書ヲ携帯スヘシ
- 一 火入者ハ豫メ火入日時ヲ火入箇所ニ接近セル森林ノ所有者又ハ管理者ニ通知スヘシ
- 一 他ニ延焼ノ虞アル箇所ハ指定ノ防火設備ヲ爲スヘシ
- 一 火入ニ關シ森林官吏又ハ警察官吏ノ指揮アリタルトキハ其指揮ニ從フヘシ

第三號様式 用紙半紙

第一號様式

火入許可報告

何月中左記ノ通り火入許可致候此段報告候也

年 月 日

帝室林野管理局青森支廳長殿(又ハ何出張所長宛)

何出張所長(又ハ何分擔區員)

火入箇所	火入日時	火入者	火入原因	火入結果	火入場所	火入面積	火入状況	火入日	火入期間	火入状況	住所	申請者
地名(町)	大字	字	地番	地目	面積	火入箇所	火入状況	火入日	火入期間	火入状況	住所	申請者

林野火入ニ關スル件

明治三十八年四月十六日

林野火入ニ關シ報告第一號ヲ以テ報告ニ及ヒ候ニ付テハ篤ク右ノ趣旨ヲ體シ向ホ左記ニ依リ自今一層之カ保護取締ニ注意シテ其效果ヲ收ムル様之カ實行ヲ期スヘシ

- 一 警察署ニ於テハ林野ノ火入及野火ノ取締ヲ勵行スヘシ
- 二 被害ノ虞アル町村ニ於テハ林野消防ノ方法ヲ設ケ其旨本廳ニ届出ツヘシ
- 三 造林地ハ防火線ノ設備ヲ完全ニセシムヘシ
- 四 造林地ノ手入れ期ヲ實行セシムヘシ
- 五 天然更新ヲナシ得ヘキ山野ニハ火入ヲ見合サシムヘシ
- 六 火災報告ノ趣旨ハ適宜各自ニ周知セシメテニ學校ニ於テハ其兒童ニ知得セシメ心得

連無之様致サシムヘシ

森林保護ニ關スル件 明治三十八年四月十六日

森林保護ノ要務ハ固ヨリ一層之カ是ラシク其留意スルニハ火災ノ防備ニアツテ夫レ林野ノ火災ニ關シテ多額ノ経費ヲ費スルニ至ルニ至リ候ニ付テハ其損失ヲ蒙ルルヘキハ勿論延テ土壌ノ性質更ニ地方ヲ減耗スル又容易ニ回復ヲ得サ火災至リ此故ヲ鑑來之カ取締法ヲ設ケ偏ニ防避ヲ圖ルニ雖モ尙ホ未タ之カ減滅ヲ見ルニ至ラズシテ連年

林野火入ニ關スル件

森林保護ニ關スル件

保 五七九



















鳥獸製受渡簿、毛皮受渡簿、製革受渡簿

受渡年月日	受渡者ノ住所氏名	受渡者ノ住所	受渡者ノ職業

注意

- 一 鳥獸名ハ平假名ヲ用ヰヘシ
- 二 鳥獸名ハ地方名稱又ハ屬ノ名稱ニ依ラス種名ヲ用ヰヘシ
- 三 受渡ハ各別ニ口座ヲ設ケヘシ

第五號様式 用紙美濃半分(保存三年)

入申受込付簿

住所氏名	青森縣 青森市 香地	年 月 日生
申請年月日		
抽籤香號	第	抽籤年月日
抽籤年月日		抽籤結果
抽籤結果		通知年月日
通知年月日		

第六號様式

承認證交付臺帳

交付年月日	住所氏名	青森縣	町	村	香地	年 月 日生

狩獵法施行心得

大正十五年六月一日 訓令乙第二百九十八號

第一條 警察署ニ於テ狩獵免狀下付願ヲ受理シタルトキハ狩獵法第六條第七條第八條及狩獵法施行規則第四條第五條並狩獵法施行細則第二條ノ事項ヲ調査シ不都合ナシト認メタルトキハ之ヲ下付スヘシ

第二條 警察署ニ於テハ第一號様式ハ狩獵免狀原簿ヲ備ヘ免許ノ都度登録スヘシ

第三條 警察署ニ於テ狩獵免狀亡失届ヲ受理シタルトキハ其ノ種類等級番號及族籍住所氏名職業生年月日「亡失」事由及日時場所ヲ鳥獸捕獲許可證亡失ノ届出ヲ受ケタリシキハ番號職業及氏名住所生年月日ヲ具シ速ニ報告スヘシ之ヲ發見シタルトキ亦同シ

狩獵法施行心得







第十四條 警察署及警察署キハ左ノ簿冊ヲ備ヘ第二號乃至第五號及第十二號樣式ニ依テ登錄スヘシ

一 禁獵區銃獵禁止區域狩獵制限地原簿

二 獵區原簿

三 鳥獸捕獲許可臺帳

四 狩獵免狀受納簿

五 營業者臺帳

第十五條 警察署ニ於テハ每年使用スヘキ狩獵免狀用紙ヲ概算シ六月三十日限リ警察部長ニ報告スヘシ

第十六條 狩獵法施行規則第十一條第一項ニ依リ返納シタル鳥獸捕獲許可證ハ警察部ニ送付シ狩獵免狀ハ之ヲ裁斷スヘシ剩餘ノ狩獵免狀ハ次年度ニ於テ之ヲ使用スヘシ

第十七條 警察署ニ於テ狩獵免狀ヲ下付シタルトキハ第六號樣式ニ依リ前年四月十六日ヨリ其ノ年四月十五日迄ノ分ヲ每年五月十日限リ警察部長ニ報告スヘシ

狩獵法施行規則第十一條ノ飼養鳥獸現在數第七號樣式ニ依リ每年五月三十日限リ警察部長ニ報告スヘシ

第十八條 規則第十一條規定ニ依リ狩獵免狀者ヨリ鳥獸ノ種類及員數ノ届出ヲ受ケタルトキハ免狀ノ種類別及捕獲地ノ道府縣並鳥獸ノ種類別ニ集計シ五月末日迄ニ報告スヘシ

第一號樣式 用紙美濃

免狀種類	下付及返納	再納又ハ書	同上事由	氏名	狩獵ノ備考
甲種	年月日	年月日	年月日	生年月日	
乙種	年月日	年月日	年月日	生年月日	

第二號樣式 用紙美濃

一	本簿ハ甲乙ノ種別毎ニ各等級別ニ口座ヲ設ケ區分スヘシ	本簿	本簿
二	備考欄ニハ納稅額其他必要事項ヲ記入スヘシ	備考欄	備考欄

第三號樣式 用紙美濃

告示年月日及番號	位置	設置理由	獵區及面積	設置官署又ハ出願者ノ族籍住所氏名
告示年月日	位置	設置理由	獵區及面積	設置官署又ハ出願者ノ族籍住所氏名

狩獵法施行心得

保 五九三







- 四 獵區ノ面積 山林何町何段何畝何步
- 一 原野同
- 二 田(同) 田(市) 田(町) 田(村) 田(縣)
- 三 池沼同

本條第四項第十五日與前二計同

- 五 獵區存續期間 自何年何月何日 至何年何月何日
- 六 狩獵法施行規則第二十二條承認料額一人一日何圓
- 七 鳥獸ノ保護蕃殖ニ關スル方法
- 八 獵區内ニ於クハ鳥獸棲息ノ狀況

前記ノ通獵區設定致度候ニ付御認可相成度狩獵法施行規則第二十五條第二項規定ノ書類添付此段相願候也

農商務大臣宛 何府(縣)何郡(市)何町(村) 何 某印

第九號様式(專ス) 第十號様式 用紙美濃

鳥獸飼養臺帳

飼養証下付年月日	飼養証番號	鳥獸名	性別	捕獲、蕃殖、譲受、其他受入ノ事由	死亡、逃走、遺失、其他廢止事由及年月日	住所職業者氏名	生年月日
昭和五六年一月七日	三二六	うくひす	雄一	昭五、六、許可捕獲		郡市町村大字	何 某
同 六五年二月八日	三三七	ひばり	雄一	昭六、五、何町何某ヨリ譲受		何 某	生年月日

本簿ハ飼養者ノ住所町村別ニ口座ヲ設ケ編纂スヘシ  
飼養証下付(書寫)廢止等ノ場合ハ遅滞ナク記入シ廢止ノ場合ハ番號及鳥獸名ヲ朱線ニテ抹消スヘシ

表 飼養者 青森縣市郡町村字番地 飼養主 姓名 年月日生

昭和 年 月 日 青森 縣 町

飼養鳥(獸)名 一、本簿ハ大切ニ保存スヘシ 二、飼養者ヲ廢シタルトキハ十日以内ニ本証ヲ返納スヘシ

第十二號 用紙美濃 飼鳥毛皮賣買 營業臺帳 狩獵法施行心得



狩獵免狀其他ノ雜形ニ關スル件

種別	營業者ノ住所氏名生年月日
備考	營業者ノ住所氏名生年月日

狩獵免狀其他ノ雜形ニ關スル件

大正十年三月三日農商省告示第三十三號改正

狩獵免狀 (甲種(綠色)ノ類(四色)) (縦三寸三分 横一寸二分)

外圍 (縦三寸三分 横一寸二分)

農商省 (農務局)

大正八年八月十八日農商省告示第二百二十號

鳥獸捕獲許可證雜形 縦三寸三分 横二寸二分



内圍 縦三寸三分 横二寸二分

表

第 號	鳥獸捕獲許可證
有效期間	自何年何月何日 至何年何月何日
主 體	農商省 (廳府縣)
備 考	

狩獵免狀其他ノ雜形ニ關スル件

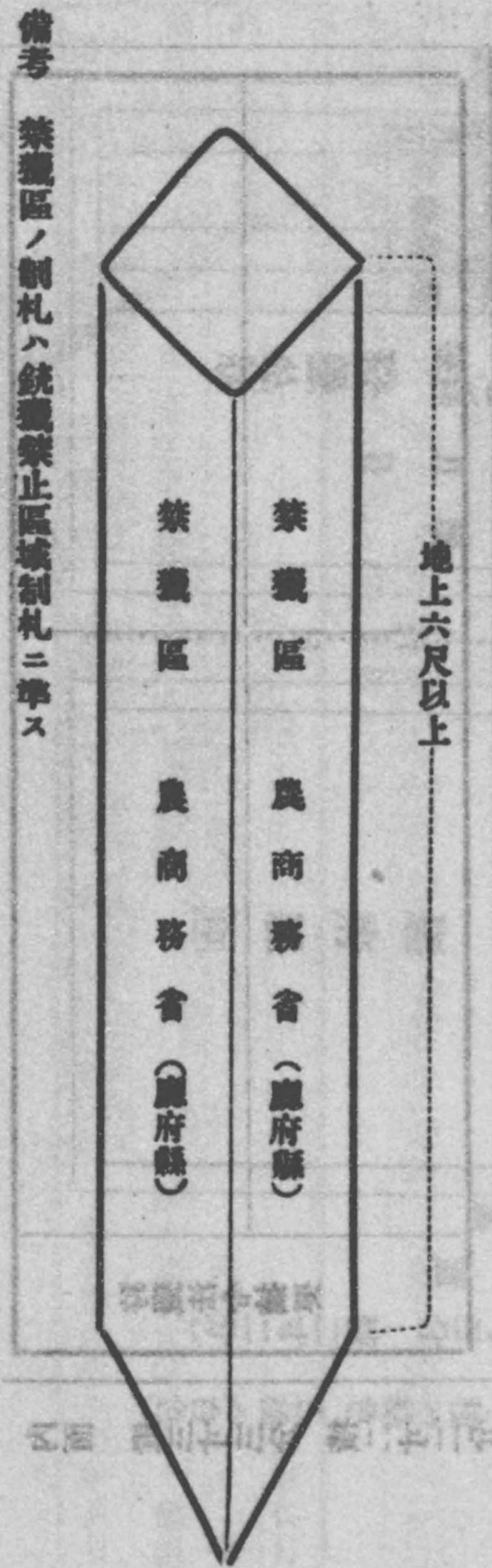
保 五九九



住 所	職 業 氏 名	生 年 月 日	目 的	方 法	區 名	鳥 獸 名 及 員 數
	農商務省 (廳府縣)					

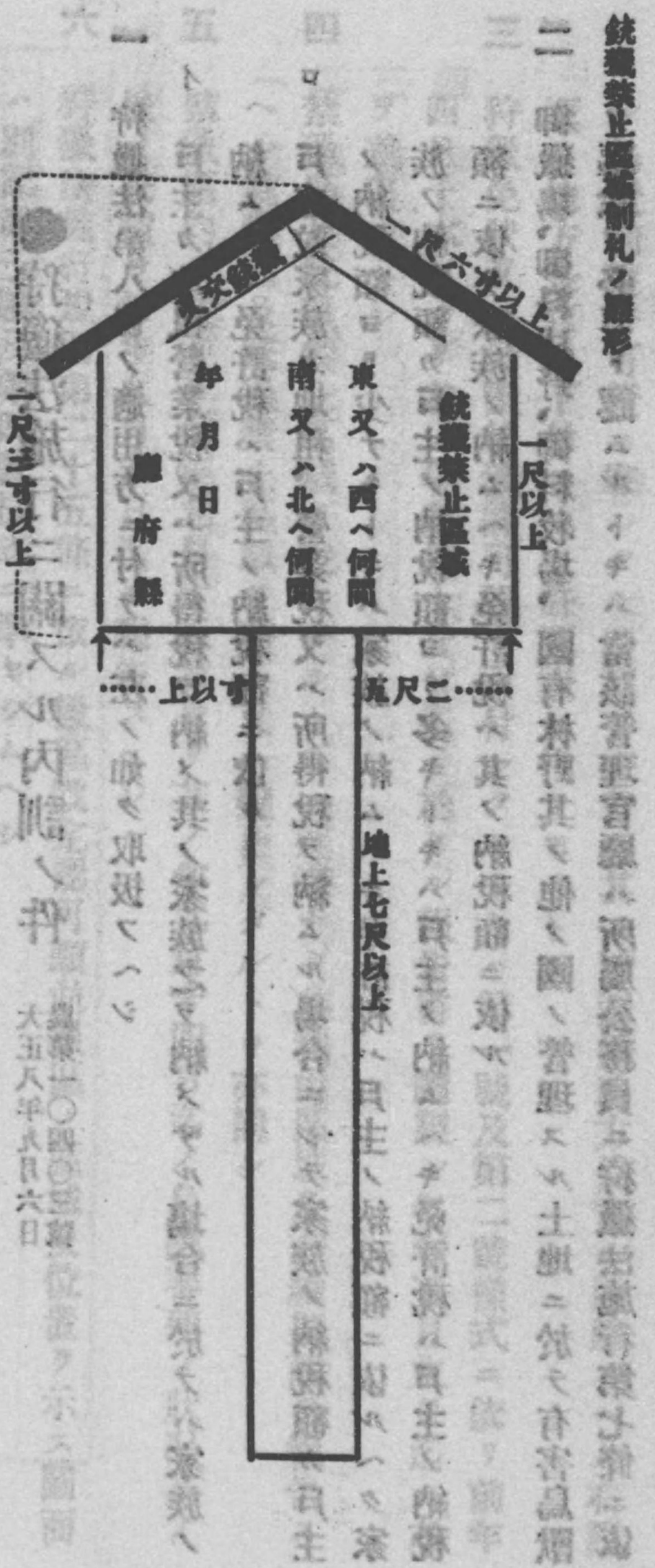
禁煙區木標牌形 三寸五分以上八角材

地上六尺以上



備考 禁煙區ノ制札ハ統禁禁止區域制札ニ準ス

禁煙區木標牌形 縱三寸三分 横二寸二分



表

第 號	禁煙區管理者 (遵守) 證 票
	何府縣何郡市何町村邊區 管理者 (遵守) 何某

符號免狀其他ノ雜形ニ關スル件

保 六〇二





●狩獵法施行ニ關スル内訓ノ件

大正八年九月六日 農第一〇四〇三號

- 一 狩獵法第八條ノ適用方ニ付テハ左ノ如ク取扱フヘシ
  - イ 戸主カ地租營業稅又ハ所得稅ヲ納メ其ノ家族之ヲ納メサル場合ニ於テハ家族ノ納ムル免許稅ハ戸主ノ納稅額ニ依ル
  - ロ 戸主家族カ地租、營業稅又ハ所得稅ヲ納ムル場合ニシテ家族ノ納稅額カ戸主ノ納稅額ヨリ少ナキハ家族ノ納ムル免許稅ハ戸主ノ納稅額ニ依ルヘク家族ノ納稅額カ戸主ノ納稅額ヨリ多キトキハ戸主ノ納ムル免許稅ハ戸主ノ納稅額ニ依ラズ家族ノ納ムル免許稅ハ其ノ納稅額ニ依ル
- 二 御獵場、御料林野、御料牧場、國有林野其ノ他ノ國ノ管理スル土地ニ於テ有害鳥獸ノ驅除ヲ必要ト認ムルトキハ當該管理官廳ハ所屬公務員ニ狩獵法施行第七條ニ依

- ル鳥獸捕獲許可證ニ準シタル證票ヲ交付シ其ノ旨關係地方長官ニ通牒スヘク右證票ハ地方長官ノ下付ヲヘキ許可證ニ代フモノトス
- 三 狩獵免狀又ハ鳥獸捕獲許可證ヲ下付シタルトキハ第一號及第二號様式ニ依リ前年四月十六日ヨリ前年九月十五日迄ノ報告書ヲ調製シ毎年五月末日迄ニ之ヲ差田ヘシ
- 四 禁獵區及禁獵禁止區域ノ報告書ハ其ノ邊境カク其邊境區域及存續期間ヲ報告スヘキ
- 五 禁獵區内ニ於テハ前年九月十五日ヨリ其ノ年九月十四日迄ノ鳥獸蕃殖ノ狀況其ノ他ノ成績ヲ毎年九月末日迄ニ報告スヘシ
- 六 狩獵法施行規則第二十五條ニ依ル獵區設定認可願書獵區ノ區域及位置ヲ示ス圖面ハ別記第三號及第四號様式ニ準セシムヘシ

何年ノ狩獵免狀、鳥獸捕獲許可證下付報告書 府 廳

免狀受取 免狀下付數	甲			乙				
	一等	二等	三等	計	一等	二等	三等	計
免狀再渡數								
免狀再渡數								

狩獵法施行ニ關スル内訓ノ件



見附計	同	養	有害鳥獸驅除
備考			
許可證下付數			
備考			

何年度鳥獸捕獲報告書

府 縣

捕獲又ハ採取ノ目的	鳥獸又ハ卵ノ種類	員	數
備考			
備考			

第三條樣式 獵區設定認可願 五月五日 其ノ申付日ヨリ起シ、鳥獸捕獲ノ種類、捕獲其ノ

- 一 獵區ノ名稱、何府縣何都市何町村獵區、ハイテ亦同ノ
- 二 事務所ノ位置、何府縣何都市何町村大字何々字何番地、又ハ各獵區間ノ界畫ヲ示ス
- 三 獵區ノ面積、山林何町何段何畝何歩、路邊、田圃、池、沼、湖、川、河、海、濱、一畝、二畝、對左ニ如ク前申
- 四 獵區ノ面積、山林何町何段何畝何歩、路邊、田圃、池、沼、湖、川、河、海、濱、一畝、二畝、對左ニ如ク前申
- 五 獵區ノ面積、山林何町何段何畝何歩、路邊、田圃、池、沼、湖、川、河、海、濱、一畝、二畝、對左ニ如ク前申

池沼 同

五 獵區存續期間 御認可ノ日ヨリ向何ケ年

六 狩獵法施行規則第二十二條ノ承認料額一人一日何圓

七 狩獵日ヲ制限セムトスルトキハ其ノ方法及日數、狩獵者ノ員數ヲ制限セムトスルトキハ其ノ員數

八 鳥獸ノ保護繁殖ニ關スル方法

九 獵區内ニ於ケル鳥獸棲息ノ狀況

前記ノ通獵區設定致度候ニ附テハ御認可相成度狩獵法施行規則第二十五條第二項規定ノ書類相添ヘ此段相願候也

昭和五年十月二十三日

農商務大臣宛

何府縣何都市何町村長 何五ニ對シテ其ノ長官

第四條樣式 養鳥ニシテ其ノ長官ニ對シテ其ノ長官

狩獵法施行規則中改正ノ件

昭和五年十月二十三日

十月二十一日農林省令第七號ヲ以テ狩獵法施行規則中第四條第一號ヲ改正シ引拔銃身

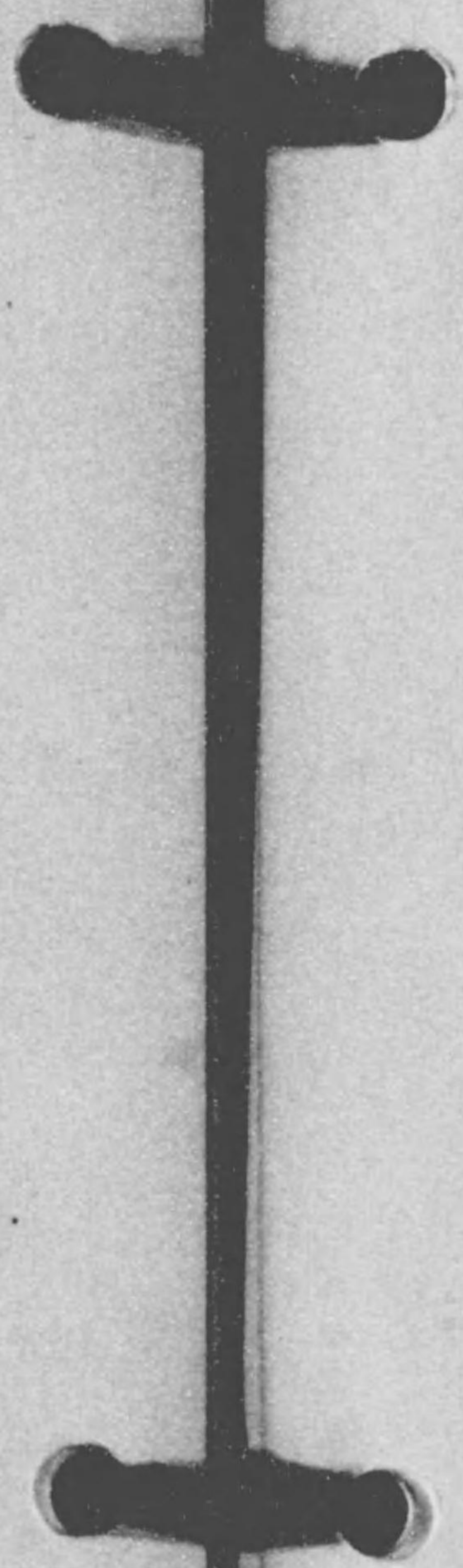
狩獵法施行規則中改正ノ件



ノ空氣銃ヲ法定獵具トシテ取扱フコトニ相成候條右ノ續ニ周知方御取計ノ上取替上遺  
 憾ナキヲ期セラレヘシ  
 追テ現在銃砲店ニ於テ引拔銃身ノ空氣銃トシテ專ラ取扱居ルモノハ獨逸「ダイアナ」  
 工場製ノモノニシテ其ノ銃身ハ銅板ヲ圓筒形ニナシタルモノヲ三箇重キ其ノ中心ニシ  
 黃銅引拔管ヲ嵌入シタルモノニ有之候モ尙右ノ外最近ニ於テハ列拔銃身ヲ改造シ銃  
 身ニ引拔管ヲ裝置スルモノモ有之而シテ之等ハ何レモ本改正ニ依リ法定獵具ト可相  
 成義ニ付申添候

參照 農林省令第七號 狩獵法施行規則中五ノ件  
 農林省令第七號 狩獵法施行規則中五ノ件  
 狩獵法施行規則中五ノ件  
 昭和五年十月二十一日 農林大臣 町田忠治

第四條第一號中「及列拔銃身ノ空氣銃」ヲ「列拔銃身ノ空氣銃及引拔銃身ノ空氣銃  
 (銃身ニ引拔管ヲ使用シタルモノ)」ニ改ム  
 附則  
 本令ハ昭和五年十一月十五日ヨリ之ヲ施行ス



●引拔銃身ノ空氣銃ニ關スル件

今般農林省畜産局長ヨリ引拔銃身ノ空氣銃ニ關シ左記ノ通り通牒有之候條取締上留意  
 セラルヘシ  
 記  
 今回新ニ引拔銃身ノ空氣銃ヲ法定獵具ト爲シタル所以ハ曩ニ列拔銃身ノ空氣銃ヲ法定  
 獵具ト爲シタルト同様ノ趣旨ニ基クモノニシテ其ノ威力並捕獲能力ノ強大ナルモノヲ  
 使用スル場合ハ狩獵免許ヲ受ケシメテ之ヲ規律セムトスル趣旨ニ有之候條御承示ノ空  
 氣銃カ若シ銃身ノ内部ニ引拔管ヲ使用スルコトアルモ單ニ引拔管(密着シタル包裝ナ  
 キモノ)ヲ懸吊シタルニ過スシテ外包ノ圓筒形金屬板トノ間ニ隙ヲ存シ兩者カ一體  
 ラ爲ササル構造ノモノナルニ於テハ狩獵法施行規則第四條ノ引拔銃身ノ空氣銃ニ該當  
 セサルモノトシテ御取締相成度候

●引拔銃身ノ空氣銃取締範圍ニ關スル件

首題ノ件ニ付農林省ニ於テ警視總監ノ甲覽照會ニ對シ乙覽ノ通回答致シタル旨通牒有  
 之候條右御了知ノ上相當取締相成度此段及通牒候也  
 甲覽 保第五九八九號 二十二日

引拔銃身ノ空氣銃ニ關スル件 引拔銃身ノ空氣銃取締範圍ニ關スル件 保 六〇七



昭和五年十一月二十二日

農林省畜産局長宛

引拔銃身空銃取締範圍ニ關スル件

標記ノ件ニ關シ本月十日付五畜局第六二五二號ヲ以テ(昭五、二一、一八日付)通知有之候條其ノ内意ニ付考究致候處右ノ通牒文中ノ威力ノ点ヲ除キ之カ取扱上最モ留意ヲ要スヘキ「懸吊又ハ間隙云々」ノ解釋ニツキテハ「懸吊トハ銃身ノ内部ニ挿入セラレタル引拔管ノ兩端カ機關部ト銃口部トノ二点ニノミ固定又ハ支持セラレタルヲ謂ヒ、間隙トハ銃身ノ内部ノ引拔管ト外包トノ間ニ兩者ヲ連繫スヘキ何物ヲモ存セス然モ密着セサル程度ノ間隙ヲ有セシムルヲ以テ足ルモノヲ謂フ」以上記載ノ意味ヲ指稱スルモノト被認ヲ以テ在來ノ「ブローダー型」空氣銃ハ勿論其ノ銃身ノ構造力之ニ類似セル米國製ダイアナ式又ハBSA式ノ空氣銃ハ殆ト全部右解釋ニ基キ法定獵具トシテノ適用ヲ受ケサルモノナルモ唯疑問トセラルルハ之等國產空銃(輸入品亦同シ)ニシテ其ノ命中ヲ確實ニシ且ツ威力ヲ強大ナラシムルカ爲ニ特ニ引拔管内ニ腔線ヲ刻印シタルモノ相當多數有之此ノ種ノ空氣銃ハ元來引拔管ヲ更ニ剝抜キテ腔線ヲ刻印シタルモノナレハ剝抜銃身ノ空氣銃同様既ニ法定獵具トシテノ取扱ヲ受ケ可キ性質ノモノト見做サレ得ヌ果シテ然ラハ右國產空氣銃中(輸入品亦同シ)腔線アルモノハ引拔銃身ノ空氣銃ヨリ除外セラレ本月十五日付農林省令第八號ニ依ル取締緩和規定ノ恩典ニ浴シ得サルノミ

警視總監

ナラズ事其ノ趣旨ニ悖ルノ結果ヲ招來スルノ嫌ナシトセス故ニ此ノ種空氣銃ト雖其ノ本來ノ性質ニ鑑ミ依然引拔銃身ノ空氣銃トシテノ取扱ヲナスハ此ノ際最モ妥當ナル措置ナラムカト被思料候得共一應御意見承知致度此段及伺候也

乙號 五畜局第六八四六號

昭和五年十一月二十八日

警視總監 農林省畜産局長

十一月二十二日付保第一九八九號ヲ以テ首題ノ件照會相成候處「懸吊又ハ間隙」ノ意義竝引拔管内ニ腔線ヲ有スル空氣銃ニ付テハ貴官御見解ノ通御取扱相成度此段及回答候也

●狩獵免許出願宛名ノ件

明治四十四年十一月 保收發第五二〇六號

狩獵免許出願宛名ノ件ニ關シテハ近來其ノ取扱區々ニ相成居ルヤニ相聞ヘ候處爾今地方長官宛トシ取扱ハラルヘシ 追テ明治二十八年十月保收發第一三六號通牒ハ消滅ノ儀ト心得ヘシ

狩獵免許出願宛名ノ件







密獵取締ニ關スル件  
昭和六年三月三日  
青保第四八九號

### ●禁獵區其他ニ於ケル密獵取締ニ關スル件

狩獵取締ニ關シテハ屢々通牒ノ次第モ有之候處近年野生鳥獸ニ對スル保護施設區域タル禁獵區銃獵禁止區又ハ捕獲禁止區域等ニ侵入シ密獵ヲ爲スモノ多數アルヤノ聞ヘモ有之候ニ付テハ將來一層其ノ取締ヲ嚴重ニシ是等違犯者ノ檢舉ニ努メラレ其根絶ヲ期セラレ度旨特ニ主務省ヨリモ通牒有之候ニ付狩獵取締ノ勵行相成度依命及通牒候也

尙三月一日ヨリサビ、やまどり、あなぐま、牡いたぢ、きつね、たぬき、てん、むささびりす等ノ獵期經過シ禁獵トナリタルニ付之等鳥獸ノ捕獲及春陽渡來ノ鳴禽類ひわ、うそ、やまがら、こがら、うぐわす等ヲ飼鳥ノ目的ヲ以テ濫リニ捕獲シ或ハ之ヲ公然町家ニ賣歩クモノ等密獵行ハレ居ルノ状態ニ付嚴重取締相成度申添候

### ●密獵取締ニ關スル件

昭和四年十月十二日  
青保第五六一〇號  
野生鳥獸ノ減少ハ獨リ狩獵者ノ獵獲物ヲ縮少シ其ノ趣味ヲ減退セシムルノミナラス農林業又ハ水産業等ニ及ボシ影響亦大ナルヲ以テ狩獵法ハ狩獵鳥獸ノ種類及捕獲期間ヲ限定セルノ外免許手續ニ依リ狩獵者ニ制限シ其ノ濫獲ヲ防止スルト共ニ一面銳意之カ保護蕃殖ヲ圖リ以テ其ノ均衡ヲ得ルニ努メツツアルト雖猶其ノ好果ヲ認ムニ至ラサル

ハ多數密獵者ノアルタメト思ハレ取締上甚タ遺憾トスル次第ニ候  
今ヤ獵期切迫ノ機ニ於テ徹底的之カ取締ヲ爲スニアラサレハ再ヒ面白カラサル現象ヲ來スヘキヲ以テ左記ニ依リ嚴重取締方勵行セラレ度

- 一 毎年引續キ狩獵免狀ヲ受ケ居ル者ニ對シテハ成ルヘク早く免狀下附ノ手續ヲ爲サシメ免許出願前ノ密獵行為ナカラシムル様注意スルコト
- 二 前年限リ又ハ二三年毎ニ免狀ヲ受ケ時々中斷スル者ニ對シテハ本年度狩獵ヲ爲スヤ否ヤ及殘火藥ノ有無ヲ調査シ取締上遺憾ナキヲ期スルコト
- 三 さび、やまどり、以上十一月一日ヨリあなぐま、いたぢ、きつね、たぬき、てん、むささび、りす以上十二月一日ヨリノ有期保護鳥獸捕獲ニ對シ免狀下附ノ際一應注意ヲ與フヘキハ勿論隨時其ノ取締ヲ勵行シ犯則者ナカラシムル様努ムルコト
- 四 獵具所持者ニシテ免狀ヲ受ケナル者ヲ内査シ隨時視察取締ヲ爲シ密獵ナカラシムル様努ムルコト
- 五 町村當局ヨリ學校長、青少年團ト協力シ畏、撲等甲種獵具ニ依ル密獵ニツキ嚴重取締ヲ勵行スルコト殊ニ小學校上級生及青少年ノいたち捕獲ニ對シテハ一層注意ヲ爲シ根絶ニ努ムコト
- 六 甲種免許者ニシテ畏、釣、又ハ網繩等ノ獵具ヲ裝置シタル儘其ノ附近ニ存在セザル



六 モノニ對シテハ豫メ其ノ獵具ニ住所氏姓名ハ免狀番號ヲ記入セシムルカ又ハ標札ヲ準備セシメ獵者ノ行為ニアラサルコトヲ明ナラシメ取締上遺憾ナキヲ期スル

七 狩獵者ニ遭遇スル毎ニ必ス免狀及獵獲物ヲ調査シ免狀債借非狩獵鳥獸ノ獵獲ナキヤ注意スルコト

八 狩獵法第十條、第十一條ノ場所又ハ日出前、日没後ノ狩獵(銃獵)ナキ様注意スル

九 隨時製皮業者、剥製業者、獸皮商、野生鳥獸肉商、飲食店、料理店ニ隨檢シ非狩獵鳥獸有期保護鳥獸等ノ捕獲及獵獲者ヨリノ賣買等ナキヤ取締ルコト

十 規則第二條ノ獸皮ヲ販賣スル者ハ成ルヘク狩獵圖體ヲ經テ獵獲ニアラサル証印ヲ得セシムル様取計ヒ密獵取締ニ便ナラシムルコト

注意、右取締ノ狀況ハ隨時報告セラレ度若シ違反者檢舉シタルトキハ其ノ都度報告相成度申添候

●密獵者取締ニ關スル件

密獵者ニ對スル取締向ニ就テハ屢々指示スル處アルヲ以テ注意ヲ怠ラサル儀トハ思料

明治三十九年二月十四日 指示第三號

セラルル等々同五戸警察署部内ニ於ケル巡査査査事件ハ前後ノ事情ヨリ考フルニ密獵者又追尾シ相接近セル場合ニ於テ狙撃セラレタルモノト思料セラルルニ付各地ニ

密獵者多數徘徊シ居ラサルヤノ感モ有之カ取締上ニ就キ如上ノ慘事瀕發スルカ如キハ頗ル憂慮ニ堪ヘサル次第ニ付犯人取押ヘニ際シテハ充分ナル注意ヲ加ヘシムルト同

時ニ部下ヲ激勵シテ勇氣ノ振作ニ努メ職務執行ニ際シ躊躇スルカ如キ事ナキ様注意セラルヘク尙此際益々密獵者取締ノ勵行ニ努メ時宜ニ依リ平素密獵スルノ疑アル者ノ所

有スル銃砲ハ承諾上封印ヲ施シテ使用ヲ防止スル等ノ措置ヲ爲シ取締上遺憾ナキヲ期セラルヘシ但シ封印ヲ施シタル銃砲ハ狩獵期間經過ノ後解除セラルヘシ

●狩獵取締ニ關スル件

大正十三年十月二十九日 保安部第二三五號

左記參考表ノ要領ニ依リ狩獵取締ヲ勵行シ取締ノ實績ヲ舉クル様努メラルヘシ

十一 狩獵取締參考表 取締上注意事項

十二 月具(規則第二條) 取締上注意事項

一 きじ、やまどり及有期保護獸類ノ密獵取締勵行 (きじ、やまどり、十一月一日 狩獵取締ニ關スル件 保 六一五)



一 白アリ有期保護獸類ハ十二月一日ヨリ解禁  
 二 獵具所持者ニシテ狩獵免狀ヲ受ケタル者ヲ内査シ一般ノ密獵防止  
 三 狩獵團體ノ善導利用

十一月 (規則第二條、法第十九條、法第二十二條第五號、法第十一條、法第二十二條  
 第三號、法第十五條、法第十六條)

一 有期保護獸ノ密獵取締 (製革業者及剝製業者ニ臨檢シあなくま、いたち、きつ  
 ね、たのき、てん、むささびりすノ有無ニ注意)  
 二 狩獵期間中ニ於ケル一般取締

イ 狩獵者ニ遭遇スル毎ニ必ス免狀及獵獲物ノ點檢ヲ行ヒ特ニ免狀ヲ借受ケテ  
 使用スルコトナキヤニ注意  
 ロ 禁止地區域内ニ於ケル鳥獸捕獲取締

ハ 爆發物、劇毒藥、据銃又ハ危險ナル畏若ハ陷穽ヲ使用シルノ鳥獸捕獲取締  
 ニ 禁止場所内及禁止時刻ノ銃獵取締  
 特ニ月明利用ノ鳴ノ銃獵及日出前、日没後ノ銃獵取締

十二月 (法第二條、法第十六條)  
 一 狩獵期間中ニ於ケル一般取締 (特ニ無免許者獸類捕獲ニ注意)

一六 尙ヒ注意スル月明利用ノ銃獵ニ注意

一五 月 (法第三條、法第十五條)

一四 本月ハ一般ニ稼業ヲ休ミ閉居スルノ時日多キヲ以テ常習者以外ノ偶發的密獵者  
 多キニ付特ニ注意ヲ要ス

一三 爆發物、劇毒藥、据銃、危險ナル畏陷穽ヲ使用スル鳥獸捕獲取締

一ニ 口部附近ニ甚シキ裂傷ヲ有スル獵獲物ハ爆發物使用ノ疑アリ

一 全然外傷ナキ又ハ硬直シタル獵獲物ハ毒藥殊ニ「ストリキニーネ」使用ノ  
 疑アリ

三 前月一取締  
 二 前月一、二、三ノ取締  
 一 前月ト同シク休業日多ク殊ニ舊正月等ニ於テハ密獵者多キヲ以テ特ニ嚴重ナル  
 取締ヲ要ス

三 月 (規則第二條、法第二條)

二 本月一日ヨリ起シ、やままで及有期獸類ノ捕獲期ニ入ルヲ以テ左記各項ニ依リ  
 嚴重ニ違犯取締勵行  
 イ 主トシテ、やままでヲ獵場目サルル山野ニ犬ヲ連行スルモノ平時笛  
 狩獵取締ニ關スル件



獵ニ巧妙ナルモノニ概シテ應捕者多シハ山裡ニ大ニ獲テ大ニ平田當  
停車場ニ捕獲其其他狩獵者ノ通路ヲ擁シ免狀獵獲物ノ検査勵行

三 中甸頃ヨリヤ般鳥類ヲ産卵期ニ入ルモノ以テ無難以ニノ卵ヲ採取及捕獲ヲ取  
捕ヲ要ス(注第五條)

四 月 (注第五條)

一 本月十五日ヲ以テ獵期終了スルニ依リ十六日以後ノ密獵ニ注意ヲ要ス

イ 獵具所持者殊ニ笛獵ニ巧妙ナルモノニ注意

ロ 火藥商ニ臨檢シ十六日以後狩獵免狀ニ依リ火藥類讓渡ノ有無ニ注意

ハ 火藥所持量ヲ調査シ密獵ノ防止

二 非狩獵鳥ノ飼養現在調査勵行

五 月 (規則第十二條、注第五條)

一 狩獵免狀返納及獵獲物ノ届出急慢整理

二 三月ノ二ノ取締

三 鳴禽類ヲシテ捕獲スルモノノ取締(ひわうそ、いしかノ捕獲多シ)

六 月 (注第一條) 田圃田ノ焚燒ニ注意

鳥類 非狩獵鳥獸無許可捕獲ノ取締勵行 (うぐひす、こまどり、ひばり、やまがら及こ  
ニ因リがう等ノ捕獲ニ注意) 田圃田ニ焚燒スルモノノ取締(ひわうそ、いしかノ捕獲多シ)

七 月 (注第一條、注第十三條)

一 非狩獵飼育者ニ臨檢シ備付査候ト對照シ左記取締ヲ行ス(十六日ヨリ同十五平  
イ 無許可捕獲鳥類ノ有無及飼養鳥類ノ飼養場所調査

ロ 無許可捕獲鳥類受テ又無許可飼育ニ對シテ取締ヲ行ス

二 前月一ノ取締

八 月 (注第一條)

一 害鳥驅逐從事者ニシテ密獵ノ有無調査

イ 獵銃從事者ニ遭遇シタル時ハ所持スル「ケーネ」ニ彈丸裝填ノ有無ヲ檢ス

九 月 (注第一條又ハ第三條、注第十三條)

一 有害鳥獸捕獲從事者ノ違反取締

イ 許可以外ノ鳥獸捕獲ノ有無

ロ 無許可捕獲鳥類ノ有無及飼養鳥類ノ飼養場所調査

口 無許可捕獲鳥類ノ有無及飼養鳥類ノ飼養場所調査

隨時 狩獵團體ノ設立ト之カ善導

狩獵取締ニ關スル件







### ●國設禁獵區内ニ於ケル有害鳥獸驅除ニ關スル件

昭和三年一月二十三日  
農三省局第三二九號

國設禁獵區ニ於テ有害鳥獸ノ蕃殖著シク農林業上被害ヲ及ホスニ至リ之等被害者ノ申請等ニ依リ驅除ノ必要ヲ認ムルニ至リタルトキハ地方長官ニ於テ有害鳥獸驅除ノ許可ヲ與ヘ得ルハ狩獵法施行規則第七條ノ明示スル所ナル爲之レカ處理ニ關シテハ地方長官限リ取扱相成居向有之哉ニ及開候モ右ハ農林大臣ニ於テ鳥獸保護上必要ト認メ之ヲ設置シタル趣旨ニ背反スル場合ヲ生スルノ虞アルヲ以テ國設禁獵區内ノ有害鳥獸驅除ノ證據ニ際シテハ爾今農林大臣ニ對シ被害ノ程度、驅除ヲ要スヘキ鳥獸ノ種類、及員數出願者ノ職業、氏名、住所及捕獲從事者ノ數、捕獲ノ期間及方法等記載ノ上一應御内議相成度此段及通牒候也

### ●鳥獸捕獲許可ニ關スル件

昭和四年十一月二日  
農四省局第五四八九號

飼養ヲ目的トスル鳥獸ノ捕獲許可ハ狩獵法施行規則第七條第一項前段ニ依リ地方長官限リ處理スルコトト相成居候處今後愛玩以外ノ目的ヲ以テ飼養スルモノノ捕獲許可ニ就テハ豫メ頭書御送付ノ上一應御協議相成候處此段及通牒候也

### ●國有林ニ於テ驅除スヘキ有害鳥獸ノ種類ニ關スル件

昭和三年十二月十九日  
農三省局第一六二七號

國有林ニ於テ驅除スヘキ有害鳥獸ノ種類ニ關シ十一月二十五日附山林局長ヨリ各大林区署長宛左ノ如ク通牒相成候條御了知相成度此段及通牒候也

一 驅除鳥獸ノ種類  
かきすからす、きじ、このさぎ、すずめ、はと、ひよどり、やまどり、うそ、かはらひ

本書わづらひ、とらつら、あななくま、もぐら、のねづみ、くま、のしし、うさぎ、むささ

二 前項以外ノ鳥獸ヲ驅除スルノ必要アルモノモ其ノ驅除ヲ要スル都度本局ニ事由ヲ詳具シ協議相成度

三 驅除セシムヘキ鳥獸ノ種類ハ驅除ヲ要スル場所及驅除者ニ依リ一様ナラサルヘキニ付各適當ノ部分ニ制限スル様處理相成度

### ●有害鳥獸驅除ニ關スル件

昭和三年十二月十七日  
農三省局第一六二七號

前項ニ關シテ昭和九年農第一三六九號ヲ以テ之ヲ處理方及通牒候處近時陸

國設禁獵區内ニ於ケル有害鳥獸驅除ニ關スル件  
鳥獸捕獲許可ニ關スル件  
國有林ニ於テ驅除スヘキ有害鳥獸種類ニ關スル件  
保 六二二



海軍諸官衙門ヲ傳書鳩保護ノ爲メ有害鳥類ヲ驅除ヲ出願スルモノ増加致候ニ付テハ  
爾今右出願ニ限リ左記鳥類範圍ニ於テ貴官限リ適宜處理相成度此段取通候也

記  
わし、たか、とび、はやぶさ、からす

三 有害鳥獸驅除ニ關スル件

大正九年十月二十一日  
農商務省第三六九六號

有害鳥獸驅除ハ往々必要以外ノモノニ付テモ許可セララルル傾アリ爾今左記二十種ノ範  
圍内ニ於テ個々ノ場合適當ノ種類ノモ許可相成度前記以外ノ鳥獸ニ關シテハ其ノ都度  
本省ニ照會ノ上許可相成度此段及通候也

一 花鷄、椋鳥、河原ひわ、輕鳴、鴉、雉、五位鶯、雀、鳩、ばん、ひよどり、金翅雀、やまどり  
熊、猪、兎、鼯鼠、栗鼠、土龍鼠、野鼠

●狩獵法令實施上ニ關スル件

明治三十四年十月十八日  
警察部訓示第一四號

改正狩獵法令實施上ニ關シテハ已ニ夫々令達ノ次第モ有之各署ハ之ニヨリ其取締ヲ勵  
行シツ、アルヘキハ勿論ナルヘシ、雖モ元來狩獵法制定ノ主要ナル點ハ農林業ノ爲メ

有益鳥類ト稱獲鳥獸ノ蕃殖ヲ保護スルノ目的ニ出テタルモノニシテ食蟲性ノ鳥類ハ能  
ク一類ニシテ一箇葉ニ數高ノ蟲類ヲ喰食スルヲ以テ其増殖ハ斯業ノ消長ニ至大ノ關係  
ヲ有セリ而シテ是等鳥類減少ノ爲メ蟲害ノ發生ヲ促シ依テ以テ受クル處ノ損害ノ多大  
ナルハ實ニ意想ノ外ニスルハ誠ニハ國家ノ施行上ニハ最モ注意ヲ加ヘ殊ニ左ノ事項ハ著  
著嚴重ニ取締ヲ爲シ以テ立法ノ主旨ヲ貫徹セシムル極深ク留意スルヲ要ス

- 一 無免許狩獵ニ對スル注意
- 二 從業免狀ヲ受ケス者ハ他人ノ免許ヲ借受ケ狩獵ヲ爲スモノ尠カラスト聞ク改正法  
ハ免許稅ノ如キモ一層増加シタルヲ以テ是等ノ如キモノ亦其數ヲ加フヘキハ理ノ  
然ラシムル處ナルヘシ就テハ煩雜苛酷ニ失ナルカ如キハ勿論之ヲ避ケザルヘカラ  
スト雖モ時ニ或ハ途上狩獵者ニ遇フ報告ハ免許ノ検査ヲ爲ス等取締上遺憾ナキヲ  
期スルヘシ又ハ有害鳥類驅除其出願、野山ニモ有害鳥類驅除其出願、鳥類驅除、林畜

二 狩獵期間外ニ於ケル狩獵者ニ對スル注意

- 甲種狩獵ハ從來一年ヲ滿シテ狩獵スルヲ得タルモ改正法ハ甲乙種トモ狩獵期間ニ  
差異ナク均シク十月十五日ヨリ翌年四月十五日迄ニシテ其以外ニ於テハ狩獵スル  
ヲ得ス鳥類ヲ蕃殖ハ此ノ禁獵期間ニズルモノナレハ其期中ニ於テスル狩獵ハ嚴重  
ニ取締ヲ爲ササルヘカラス殊ニ甲種狩獵者ノ如クハ從來ノ慣習ニ依リ或ハ違法者  
アルヤモ知ルヘカラス是レ特ニ留意ヲ要ス



三 禁獵區設定ニ關スル注意

狩獵期ハ前陳ノ如ク己ニ制限ノ存スルアルモ現今ノ如ク到ル處狩獵シ得ルニ於テハ鳥獸ハ安逸ニ棲息スルノ土地ナク從テ其蕃殖ヲ害スルニ至ルヘキヲ以テ鳥獸蕃殖ニ適合スル地ヲ相シ禁獵區ヲ設定スルモ亦必要ナルヘシ能ク土地ノ狀況ヲ蕃殖ニ相當ノ手續ヲ爲スヘシ

四 鳥獸捕獲ノ特許ニ關スル注意

學術研究又ハ有害鳥獸驅除其他特別ノ理由ニヨリ保護鳥獸其他ノ鳥獸捕獲ノ特許願ヲ逐ケ之ヲ稟議スルニ當テハ能ク其事實ノ真相ヲ内偵スルヲ要ス從來學校教員等ニ於テ鳥獸ノ標本蒐集ヲ名トシテ特許ヲ受ケ其實免許稅ヲ納メス狩獵ヲ爲スモノ尠カラサルヤノ聞アリ之レ最モ注意ヲ要スル處ナリトス

五 保護鳥獸ノ捕獲及賣買ニ對スル注意

有益鳥類ハ前述ノ如ク農林業上重大ノ關係アルヲ以テ特ニ保護鳥ノ捕獲及賣買ハ嚴重ノ取締ヲ爲ササルヘカラス然ルニ此ノ有益ナル保護鳥ヲ剝製又ハ半剝製トシテ海外ニ輸出スルモノアリ歐米諸國ニ於テハ鳥獸蕃殖ノ保護ハ行政官廳及私人ニ於テ最モ意ヲ用テ其實買取締ノ如キモ亦勵行セラレタリ本邦ニ於テハ賣買禁止期間ニ於テ往住保護鳥類ヲ店頭ニ懸ケ販賣シアルヲ認ムル場合アリ是等ハ尙嚴重ノ取締ヲ要ス

六 危險ナル器具獵法ニ對スル注意

近來危險ナル民陷炸藥發物毒劇藥ヲ使用シテ鳥獸ヲ捕獲スルモノアリ此等ハ人ニ危險ヲ及ボスヲ以テ十分取締ヲ爲スヘシ

●有害鳥獸驅逐規則

明治三十二年五月三十日 勅令第二十七號

第一條 農産物野畜牧場ニ在ル牛馬羊豚等保護ノ爲メ空銃ヲ用ヒテ鳥獸ヲ驅逐セントスルモノハ左ノ事項ヲ具シ所轄警察署ニ願出テ許可ヲ受クヘシ

一 住所氏名年齢

二 場所ノ區域及略圖

三 銃名及鳥獸ノ種類

四 驅逐ノ事由及期限

第二條 被害ノ場所一段歩以上アルニアラサレハ鳥獸驅逐ノ爲メ銃器ヲ使用スヘカラ

第三條 本則ニ違反シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

●有害鳥獸驅逐規則

有害鳥獸驅逐規則

保 六二七



●有害鳥獸驅逐規則施行心得

明治三十二年五月三十日  
警察部第三一號

第一條 有害鳥獸驅逐願ヲ受ケタルトキハ左ノ事項ヲ調査シ不都合ナシト認ムルニア

ラサレハ許可スルコトヲ得ス

一 被害ノ狀況

二 場所ノ適否

三 危險ノ有無

第二條 左ノ一ニ該當スルモノハ許可スヘカラス

一 十六未満ノ者又白痴瘋癲盲者

二 狩獵規則ヲ犯シ改悛ノ情ナキモノ

第三條 驅逐願ヲ許可シタルトキハ左記雛形ニ依リ臺帳ヲ製シ之ヲ記入ヘシ

香	號	許	可	年	月	日	姓	名	鳥	獸	種	類	場	所	期	限	驅	逐	事	由	住	所	處	後	年	月	日

●狩獵鳥獸棲息概況ニ關スル件

昭和五年十月十三日  
青保第五〇二四號

狩獵事務ニ關シ農林省界產局長ヨリ左記ノ通通牒有之候ニ付調査(本年度分ハ本月二十日迄  
一 本部へ到着スル様次年

度分ヨリハ毎年九月十五  
日マテ本部ニ到着スル様  
報告セラルヘシ

狩獵事務參考上必要ニ付貴管下ニ於ケル本年度ノきじ、やまどり其ノ他鳥獸ノ渡來  
蕃殖及棲息概況並最モ主要ナル獵場ニ於ケル(其ノ獵場ノ主要鳥獸ヲ特記スルコト)右  
概況(説明ハ前年度ニ比較シコト)本月二十日限リ報告相成度申添候也  
追而次年度ニ於テモ右ニ準シ毎年九月二十日限リ報告相成度申添候

●雉ノ人工蕃殖成績ニ關スル件

昭和五年五月五日  
青保第二三三號

農林省畜產局長ヨリ通牒有之候並昭和四年度ニ於ケル雉ノ人工蕃殖成績左記様式ニ依  
リ至急報告相成度此段依命及通牒候也  
一 追而次年度以降ニ於テモ右ニ準シ毎年十一月末日迄ニ報告相成度申添候

種	類	種	別	産	卵	數	抱	卵	數	成	育	數	飼	育	所	名	者	處	成	雉	ノ	備	考	
高麗	きじ	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
日本	在來	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
シユズ	ガク	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

有害鳥獸驅逐規則執行心得  
雉ノ人工蕃殖成績ニ關スル件

狩獵鳥獸棲息概況ニ關スル件

保



### ●いざち捕獲許可ニ關スル内議取扱ノ件

昭和六年二月七日  
農六商第一五〇號

いざちノ養殖ヲ目的トスル場合ニ於ケル捕獲許可ニ付テハ大体左記ニ依リ實議ノ方針ニ有之候條爾今右參考ノ上昭和四年十一月二日付四畜局第五四八九號通牒ニ依リ内議相成度此段及通牒候也

#### 記

- 一 公共團體及公益ヲ目的トスル團體ニ在リテハ必要アリト認メタル場合經費其ノ他設備等參考ノ上
- 二 第一項以外ノ團體及個人ニ在リテハ大体不許可ノ方針ナルモ飼養從事者カ鳥獸ノ飼育繁殖ノ研究ニ必要ナル學識經驗ヲ有シ養殖場ノ設備等完備シ且營利ノ目的ニ非サル場合

### ●標識鳥ノ趣旨徹底ニ關スル件

昭和四年十月十九日  
農四畜局第五三〇三號

標記ノ件ニ關シテハ豫テ種々御配慮相煩居候處今回標識鳥回收ノ増加ヲ圖ル爲メ其ノ報告者ニ對シ左記ニ依リ記念品ヲ交付スルコトト相成候ニ對テハ一般ニ周知方御取計相煩度此段及御依頼候也  
追而標識鳥發見者ノ報告先ニ關シテハ各地最寄ノ巡查派出所、警察署又ハ町村役場

或ハ貴縣狩獵係經由又ハ直接當局宛トシ各地方ノ狀況ニ從ヒ適當ノ方法ニ依リ報告ノ最モ確實ニ且迅速ニ取扱ハルル様充分御手配相煩度爲念申添候

#### 標識鳥報告者ニ對スル記念品亦付要綱

- 一 記念品ハ農林省ノ刻印アル標識ヲ付シタル鳥類發見者ニシテ且次ノ報告ヲ爲シタル者ニ對シテ之ヲ交付スルモトス但シ燕類ノ歸巢性調査等ノ場合ニ在リテハ之ヲ交付セサルコトアルヘシ記念品ハ標識鳥一羽ニ付一羽トス
- 二 標識鳥ノ發見報告ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス
  - 一 鳥名
  - 二 捕獲ノ場所
  - 三 捕獲年月日
  - 四 標識番號(標識現品添付)
  - 五 標識鳥發見者ノ住所氏名

### ●捕獲狩獵鳥獸調査ノ件

大正十四年九月三十日  
保發第二六三號

捕獲狩獵鳥獸ノ調査ハ狩獵政策ヲ樹立スル上ニ最モ必要ノコトニ有之ニ付其ノ署管内  
いたち捕獲許可ニ關スル内議取扱ノ件 標識鳥ノ趣旨徹底ニ關スル件 保 六三一  
捕獲狩獵鳥獸調査ノ件



於々々狩獵者ニシテ獵中ニ捕獲セル鳥獸ヲ左記ニヨリ爾今免狀返納ト同時ニ漏レ無ク届出ラシムル様狩獵免狀下附ノ際之ヲ示達シ毎年五月二十日迄ニ其ノ結果報告セラルヘシ

備考

該調査ハ縣下狩獵者ノ獵期間幾何ノ狩獵鳥獸捕獲セラルルヤ又該鳥獸ノ種類、名稱及雌雄ノ別並棲息ノ場所等ヲ調査シ以テ將來狩獵政策ヲ樹立シテ狩獵ヲシテ永遠ニ傳フ所ノ趣旨ニシテ重大ナル基本的調査ナルカ故ニ此等ノ正確ナル報告ヲ得ルト否トハ新界ノ將來ニ至大ノ關係ヲ及ホスニ至ル之一ツニ狩獵者ノ誠意ニ俟タサルヘカニサレバ依リ此点ヲ能ク説示シ各自出獵ノ際ハ必ス出獵日誌ニ記入シ獵期満了シ免狀返納ノ際其ノ報告書ヲ提出セシメテ取ルヘシ殊ニ狩獵者ヲシテ本調査ニヨリ或ハ課税ヲシヤカカ知々疑念ヲ起ラシテ爲ル不正不届出ヲホスル様ヒアルカ故ニ各自ラシテ誤解セズル様特ニ注意ヲ與フルコトヲ期ス

鳥獸名稱	場所
津輕地方	計
南部地方	秋田縣
	岩手縣
	北海道

●狩獵巡視員設置ノ件

昭和四年十二月二十日  
省令第六三二八五號

首題ニ關シ富山縣知事ヨリ左記ノ通報有之候條參考ノ爲此段及通知候也

鳥獸保護善殖ノタメ設立致候縣下禁獵區ノ管理ノ完全ヲ期スルタメ左ノ巡視員設置致候條爲御參考ノ此段及報告候也

- 一 名 稱 何々禁獵區狩獵巡視員(年手當五圓給與)
- 一 設置員數 拾壹名
- 一 經費出所 縣費、副業費、鳥獸保護費
- 一 巡視員服務心得 左記ノ通り

- 第一條 巡守員ハ禁獵區ノ内外ニ巡視シ標杭倒壞ノ有無並ニ區域内棲息鳥獸ノ種類及蕃殖狀態ニ留意シ毎年七月末日迄ニ第一號様式ノ報告書ヲ知事ニ差出スヘシ
- 標杭ノ修理ヲ要スルモノヲ發見シタルトキハ直ニ報告スヘシ
- 第二條 巡守員ハ禁獵區内ニ於テ鳥獸ヲ密ニ捕獲スルモノヲ發見シタルトキ又ハ附近山野獵場ニ於テ狩獵法違反事實ヲ發見シタルトキハ速ニ文書ヲ以テ警察署ニ報告ス

狩獵巡視員設置ノ件



第三條 巡守員ハ親御町内ヲ旨トシ狩獵者ノ免狀及獵獲物ノ検査ハ權限外ノ行為ニ付之ヲナササルニ注意スルベシ

第四條 巡守員他町村ヘ轉任シタルトキ又ハ巡守ヲ辭セムトキハ速ニ其ノ旨知事ニ届出ツルベシ

第一號様式

狩獵區鳥獸保護調

標榜倒置個所名	備
備	考

右巡守員心得第一條ニヨリ此段及報告候也

巡守員 氏

名印

獵用銃器取締方ニ關スル件

大正十四年九月七日 保發第二三五號

大正十一年狩獵法第八條ニ依リ免許稅ヲ改正シ之ヲ明上メタル結果乙種狩獵免許者著シク減少シ約壹千挺内外ノ獵用銃器ハ無免許者ノ手ニ存シ是等ニ依リ密獵ヲ行ハレ居ル狀勢ナリ而シテ從來獵用銃器ハ銃砲火藥類取締法規ノ範圍外ニアリ從テ之カ取締遺

憾ノ点尠ナカラサルヲ以テ爾今左記獵用銃器視察規程ニ依リ之カ取締ヲ勵行セラルヘシ

獵用銃器視察規程

第一條 獵用銃器トハ狩獵法施行規則第四條第一項ニ該當スル銃器ヲ謂フ

第二條 警察署ハ様式第一號ノ獵用銃器所有者名簿ヲ備付ケ所要事項ヲ之ニ記載スヘシ

第三條 警察署長ハ獵用銃器所有者住所在地受持巡查ヲシテ様式第二號ノ獵用銃器所有者視察簿ヲ備付ケシメ視察ノ狀況ヲ記載セシムヘシ

第四條 獵用銃器所有者其ノ住所ヲ他ノ警察署内ニ移轉シタルトキハ其ノ住所地所轄警察署長ハ移轉先所轄警察署長ニ獵用銃器所有者視察簿ヲ移送スヘシ

前項ノ獵用銃器所有者視察簿ノ移送ヲ受ケタル警察署長ハ獵用銃器所有者住所在地受持巡查ニ之ヲ交付シ視察ノ狀況ヲ記載セシムヘシ

第五條 視察度數ハ獵期間ハ毎月二回以上獵期間外ハ毎月一回以上トシ左記各號ニ依ルベシ

- 一 無免許ニテ狩獵者爲メゴト無キヤ
- 二 狩獵期間外ニ於テ狩獵者爲メゴト無キヤ
- 三 保護鳥獸ヲ捕獲スルゴト無キヤ
- 四 鳥類ノ卵ヲ捕獲又ハ採取スルゴト無キヤ

獵用銃器取締方ニ關スル件

保 六三五



- 五 狩獵免狀ヲ受ケタル者又ハ正當ニ使用シ得サル者ニ銃器ヲ貸與スルコト無キヤ
- 六 狩獵免狀ヲ他人ニ貸與スルコト無キヤ
- 七 彈藥ヲ裝填シタル體放置スルコト無キヤ
- 八 銃器ヲ小兒ノ弄フヘキ場所ニ置クコト無キヤ
- 九 火藥ヲ無許可ニテ讓渡シ又ハ狩獵以外ニ使用スルコト無キヤ
- 十 以上ノ外狩獵法規ニ違反事項ノ有無

様式第一號 用紙中紙  
 獵用銃器所有者名簿  
 凡例

銃器ノ種類	口徑	住所		所有者		借受者	
		姓	名	姓	名	姓	名

一 銃器ノ種類トハ無負重アリナリ式無負重B、S、Aエンジエクター、サイドロック、ボックスロック、  
 二 口徑トハ八番、十番、十二番、十六番、二十八番ノ三十番ト謂フカ如シ  
 三 用紙中紙  
 獵用銃器所有者視察簿

所有者住所	借受者住所	銃器ノ種類		口徑		氏名	

●獵友會調查方ニ關スル件

昭和三年九月二十三日  
 農林省三書局第四二二二號

獵友會及聯合獵友會ニ於ケル左記事項承知致度候條各獵友會別ニ用紙ヲ異ニシ調製報告相成度

追テ爾今獵友會ノ設立廢止有之候際ハ其ノ都度報告相成度申添候也

- 一 會ノ名稱
- 二 事務所ノ位置
- 三 區域
- 四 組織
- 五 維持ノ方法

獵友會調查方ニ關スル件







第二條 漁業許可ノ期間ハ五箇年以内トス

前項ノ期間ハ申請ニ依リ之ヲ更新スルコトヲ得

第三條 許可ヲ受ケタル事項ヲ變更セムトスルトキハ知事ノ許可ヲ受クヘシ

第四條 許可ノ期間ヲ更新セムトスルハ期間満了ノ日ヨリ少クモ三十日前ニ之ヲ知事ニ申請スヘシ此ノ場合ニ於テハ許可ノ處分ヲ受クル迄其漁業ヲ繼續スルコトヲ得

第五條 水産動植物ノ蕃殖保護又ハ公益上必要アリト認ムルトキハ漁業ヲ許可スルニ當リ條件若ハ制限ヲ附シ又ハ許可シタル漁業ヲ制限若ハ停止シ又ハ許可ヲ取消スルトアルヘシ

本則又ハ本則ニ依リ發スル命令若ハ漁業ニ關スル他ノ法令ニ違背シタルトキ亦前項

第六條 許可ヲ受ケタル者引續キ二ケ年以上該漁業ヲ休業シタルトキハ其ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ

第七條 漁業ヲ許可シタルトキハ附録様式ニ依リ鑑札ヲ下附ス

第八條 鑑札ハ漁業ニ從事スルトキ之ヲ携帯スヘシ

第九條 第四條又ハ第十條ノ出願申請者若ハ鑑札ヲ官署ニ提出中ノ者ニシテ漁業ヲ爲サムトスルトキハ其ノ書類ヲ經由スヘキ市町村長ノ證明書ヲ携帯スヘシ

第九條 鑑札ハ譲渡又ハ貸付スルコト得ス

第十條 鑑札ヲ亡失又ハ毀損シタルトキ若ハ共同者ニ異動アリタルトキハ其ノ事由ヲ具シ住所又ハ氏名ヲ變更シタルトキハ戶籍抄本ヲ添へ遲滞ナク鑑札ノ再下付又ハ書換ヲ申請スヘシ

第十一條 許可ヲ受ケタルモノ死亡シタルトキハ相續人ニ於テ其ノ漁業ヲ繼承スルコトヲ得

第十二條 前項ノ場合ニ於テハ遲滞ナク戶籍抄本ヲ添へ鑑札ノ書換ヲ申請スヘシ

第十三條 許可ヲ受ケタル者廢業シ又ハ許可ノ効力消滅シタルトキハ廢業又ハ許可失効ノ日ヨリ二十日以内ニ鑑札ヲ添へ其ノ旨届出ツヘシ

第十四條 前項ノ届出ハ死亡失効ニアリテハ死亡届出ノ義務者法人解散ノ場合ニアリテハ清算人ニ於テ其ノ手續ヲナスヘシ

第十五條 漁業ノ爲メ公有土地水面ヲ占用使用シ若ハ之ニ工作物ヲ設置スル場合ハ漁業免許ニ依リ之カ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

第十六條 本則ハ漁業法施行規則第五十條ノ漁業ニ之ヲ準用ス

第十七條 第二章 申請手續

第十八條 漁業ニ關スル出願ノ申請届出ノ書類ハ漁業登録令ニ依ルモノヲ除クノ外機船底曳網漁業ニアリテハ主タル根據地ヲ管轄スル町村役場又ハ市役所其ノ他ノ漁業ニアリテハ漁場ヲ管轄スル町村役場又ハ市役所ヲ經由スヘシ但シ漁場ノ管轄ニ以上



三 五五ルカ所屬分明ナル者ハ市役所ニ經由スルコトヲ以テ  
 本縣内ニ住居アリ有セザル者モ有リ其ノ住居證明書ヲ添付シテ  
 申請スルコトヲ要スルコトヲ命ズルハ市役所出シ書出シ  
 第十四條 前條ニ書類ニ附加シテ四十四年農商務省告示第百七十九號ニ依ルモノノ外附録  
 書類ニ依リ其ノ理由書類ニ附加シテ添付スルコトヲ命ズルハ第十七條ノ添付  
 書類ニ依リ其ノ理由書類ニ附加シテ添付スルコトヲ命ズルハ第十七條ノ添付  
 第十五條 底建網漁業、地曳網漁業及潜水器漁業ノ願書ニハ漁場圖ニ添付スルコトヲ命ズルハ  
 前項漁場圖ノ内一通ハ鑑札ニ添ヘ之ヲ下付ス  
 第十六條 區劃漁業ニ免許ヲ受ケムコトヲ願フ者ハ其ノ願書ニ事業計畫書及經費豫算書ヲ  
 添付スルコトヲ命ズルハ二十日以内ニ該計畫書及經費豫算書ヲ提出スルコトヲ命ズルハ  
 第十七條 第十二條ノ場合ニ於テ漁業免許願書ニ左記各號ノ該當事項ヲ記載スルコトヲ命ズルハ  
 一 願書及願書ノ添付スルコトヲ命ズルハ日計帳本ヲ添付スルコトヲ命ズルハ  
 一 使用水面ノ所在地名(郡市町村大字字名及海湖川其他ノ名稱)  
 二 使用區域ノ實測面積  
 三 使用ノ方法及期間及目的  
 四 使用區域ノ實測面積(縮尺六百分ノ一)以下面積ヲ算出シタルモノノ様  
 第十條 使用水面ノ長有地圖ニ關シテ其ノ位置ヲ實測圖ニ記載スルコトヲ命ズルハ

三 使用水面並工作物ノ位置及附近ノ地形ヲ特明スルコトヲ命ズルハ實測圖面(縮尺千二百分ノ一)  
 五 工作物ノ構造圖(縮尺四十百分ノ一)但シ構造ノ模倣ニ依リ適宜縮尺ヲ伸縮スルコトヲ得  
 六 トヲ得  
 七 工作物ノ名稱及使用方法  
 八 工作物ノ設計書  
 九 工作物施設箇所及工作物ノ縱橫斷面圖(縱斷面圖縱百分ノ一、橫斷面圖百分ノ一但シ輕易ノモノニアラザルハ本圖ヲ省略スルコトヲ得)  
 十 河川法施行規程第九條ニ該當スル土地ハ舊地番地目反別  
 前項第十號ニ該當スル土地ニシテ從前ノ所有者若ハ其ノ相續人ニアラザル者ヨリ占  
 用ヲ出願スルコトヲ命ズルハ從前ノ所有者若ハ相續人ハ承諾書ヲ添付スルコトヲ命ズルハ  
 第十八條 二人以上共同シテ漁業ノ許可ヲ受ケルコトヲ願フ者ハ其ノ内一人ノ代表者ヲ  
 選定シ連署ノ上願書ヲ差出スルコトヲ命ズルハ 三十日以内ニ之ヲ提出スルコトヲ命ズルハ  
 第十九條 定置漁業又ハ特別漁業ヲ開始スルタル者ハ當該漁業權者ハ開始後二十日以  
 内ニ其ノ旨知事ニ届出ツヘシ但シ貸賃權ノ場合ニ於テハ登錄シタル貸賃權者ヨリ  
 爲スコトヲ得  
 第三章 制限禁止及養殖保護  
 品ハ之ニ對シテ限制禁止及養殖保護ノ規定ニ依リ之ヲ取締ルコトヲ命ズルハ



第二十條 左ニ掲クル水産動物及其ノ製品ハ之ヲ採捕シ所持シ又ハ販賣スルコトヲ得

一 鮭 体長十八釐以下ノモノ

二 鱈(虹鱈及ヤマベヲ含ム) 同 十八釐以下ノモノ

三 鱈 同 三十釐以下ノモノ

四 鮫、介殼最長部ノ長ヲ 九釐以下ノモノ

五 帆立介、介殼最長部ノ長ヲ 九釐以下ノモノ

六 鮭産卵場(ホリ)ニ就キタルモノ

七 鱈産卵場(ホリ)ニ就キタルモノ

八 鮭卵

九 鱈卵

第二十一條 左ニ掲クル水産動物ハ其ノ各號ニ定メタル期間内之ヲ採捕スルコトヲ得

一 鮭(河川及湖沼ニ限ル) 十月二十一日ヨリ十一月三十日マテ

二 鮎 三月一日ヨリ六月三十日マテ

三 公魚(河川及ヒ湖沼ニ限ル) 七月一日ヨリ八月三十一日マテ

四 鮎 八月一日ヨリ十月三十一日マテ

五 帆立介 二月一日ヨリ四月三十日マテ

六 北寄貝 五月一日ヨリ十二月三十日マテ

七 海鼠(沖海鼠ヲ除ク) 四月一日ヨリ六月三十日マテ

第二十二條 前條ノ規定ヲ犯シ採捕シタル水産動物又ハ其ノ製品ハ之ヲ所持若ハ販賣スルコトヲ得ス

採捕禁止期間外ニ於テ採捕シタル水産動物ヲ採捕禁止期間内ニ於テ所持又ハ販賣セムトスル者ハ禁止期間開始前日マテニ其ノ品名、數量、保藏ノ場所及方法ヲ知事ニ届出ツヘシ

前項ノ届出ヲナサシテ採捕禁止期間中所持又ハ販賣スル者ハ之ヲ採捕禁止期間内ニ採捕シタル水産動物ヲ所持又ハ販賣スル者ト看做ス

第二十三條 七月一日ヨリ十二月三十一日迄左ノ水面ニ於テ鮭及鱈ヲ採捕スルコトヲ得ス

一 岩木川 早川分流点ヨリ下流各派流域及同上各河川口中央ヨリ兩側

二 馬淵川及新井田川 川口中央ヨリ九百九米ノ半径ヲ以テ畫キタル圓周ノ内面

三 奥入瀬川 同上







八 水中ニ電流ヲ通シテ爲ス漁法ハ、出、採、捕、用、コ、ト、ラ、得、ス、

第二十六條ノ二 螺旋推進器ヲ備フル船舶ヲ使用シテ桁網漁業ニ従事スル漁船ヲ曳航セムトスル者ハ船舶毎ニ知事ノ許可ヲ受ケタルニ非ラレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第七條乃至第十一條、第十三條第一項前段第十四條ハ前項ノ許可ニ之ヲ準用ス

第二十六條ノ三 前條ノ許可ヲ受ケタル曳航船ハ出港時ヨリ入港時マテ縦一、〇六米横一、五二米ノ赤旗ヲ前橋甲板上三、六三米以上ノ箇所ニ掲揚スルヲ要ス

曳航船ニハ出港時ヨリ入港時ニ至ルマテ漁具及漁獲物ヲ積込ムコトヲ得ス

第二十七條 遼河魚類ノ通路ヲ遮断シテ漁業ヲナサムトスル者ハ河川流幅五分ノ一以上ノ漁道ヲ閉通スルニ非ラレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二十八條 養殖學術研究其ノ他特別ノ事由ニ依リ本則ニ於テ制限禁止シタル水産物ヲ採捕シ若ハ制限禁止シタル漁具ヲ以テ水産物ヲ採捕セムトスル者ハ知事ノ許可ヲ受ケヘシ

前項ノ圖書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 採捕ノ目的
- 二 採捕セムトスル水産動物ノ名稱
- 三 採捕ノ場所
- 四 採捕時間

五 採捕方法ハ制限禁止シタル漁具ヲ用フルトキハ其ノ漁具名及構造ヲ記載スルコト

六 許可期間

前項ノ許可ヲ與ヘタル者ハ其ノ許可證ヲ下附スル

許可證ハ採捕ニ従事スルトキ之ヲ携帯スヘシ

第二十九條 同一時期ニ於ケル定置漁業ノ出願ニシテ既ニ免許ヲ與ヘタル定置漁業トノ距離左記制限ニ達セザルモノハ之ヲ免許セス但シ地形其ノ他特別ノ事由ニ因リ免許ヲ與ヘタル漁業ニ支障ナシト認ムルトキハ此ノ限ニアラス

出願シタル定置漁業		免許シタル定置漁業	
出願シタル定置漁業	前各種以外ノ漁場	鮎、鰯、網漁場	鮎、鰯、鰯、網、鱈漁場
鮎、鰯、網、鱈、鱈漁場	三千六百三十六米	千九十一米	七百二十七米
鮎、鰯、鰯、鱈、鱈漁場	千九十一米	七百二十七米	三百六十四米
前各種以外ノ漁場	七百二十七米	三百六十四米	三百六十四米

第三十條 定置漁業ノ保護區域ヲ左ノ通り定ム但シ各漁場ノ距離接近シ規定ノ米數ニ満たサルトキハ其ノ間隔米數ヲ以テ各漁業ノ保護區域トス

一 臺網類及落網類及掛網類

身網片口ナルトキハ垣網ノ元付ト身網外側ノ中央トヲ見通シ延長シタル線(甲線)ト甲線ノ終端ヨリ網ノ前面ニ直角ニ延長シタル線(乙線)ト乙線ノ終端ヨリ

青森縣漁業取締規則

保 六四九



甲線ニ平行シタル線(丙線)及元付ヨリ乙線ニ平行シタル線(丁線)ト身網及垣網トヨリ圍マレタル水面、身網兩面ナルトキハ其區域ハ網ノ前後兩面ニ設ケラ  
ルルモノトス

線別	網、網、漁場	魚網、網、漁場	前各種以外ノ漁場
甲	九十一米	五十五米	三十六米
乙	七十七米	三十四米	十八米

二 網架類

第一 網架ノ長サニ從ヒ亘リ管ノ兩側各百八十二米迄ノ水面  
第二 網架座口ヨリ上リ築ハ下流下リ築ハ上流各百八十二米迄ノ水面

前項ノ保護區域内ニ於テハ其ノ漁業ニ從事中其ノ目的トスル魚類ノ通路ヲ遮斷シ又  
其ノ他ノ誘導シ若シ散逸セシムルノ行爲ヲ行フコトヲ得ス

第三十一條 定置漁業區劃漁業及特別漁業ノ免許ヲ受ケタル者ハ三十日以内ニ左ノ事  
項ヲ記載シタル十二稜角高サ一、五ニ米以上ノ漁場標識ヲ建設スヘシ

- 一 免許年月日及免許番號
- 二 漁業ノ種類及名稱
- 三 漁業時期及作業期間

第四 漁業標識ノ住所氏名若シ名稱業マシモイマシモ

第三十二條 漁業標識ノ記載事項ニ變更アリタルトキハ直ニ之ヲ訂正シ汚損腐朽又ハ  
正誤シタルトキハ直ニ之ヲ撤去スヘシ

第三十三條 漁業標識撤去タルトキハ二十日以内ニ其ノ標識ヲ撤去スヘシ

第三十四條 漁業標識ヲ建設又ハ撤去シテ其ノ標識ヲ撤去スヘシ

第三十五條 禁漁區標識ハ左ノ離形ニ依リ之ヲ標示ス

第四章 罰則

第三十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五十圓以内ノ罰金科料又ハ三十日以内ノ拘  
留ニ處シ其ノ用ニ供シタル漁具又ハ其ノ漁獲物ハ之ヲ沒收ス

一 許可ヲ受ケメシラ第一條ノ漁業ヲ爲シ又ハ第二十六條ノ二ノ曳航作業ヲ爲シタル者

二 第二十条乃至第二十二條、第一項又ハ第二十五條、第二十六條ノ規定ニ違背シ  
タル者

三 許可ノ停止中又ハ許可ノ條件若ハ制限ニ違背シテ操業シタル者

第三十七條 第三條、第九條又ハ第二十条第一項ノ規定ニ違背シタル者ハ二十五圓以  
下ノ罰金若ハ科料ニ處ス



第三十八條 第八條、第十條、第十一條、第十九條、第二十六條ノ三、第二十八條第三項又ハ第三十一條乃至第三十四條ノ規定ニ違背シタル者ハ五圓以下ノ科料ニ處ス

附則

第三十九條 本則ハ大正十五年七月二十五日ヨリ之ヲ施行ス

第四十條 明治四十五年五月青森縣令第三十號青森縣漁業取締規則ハ本則施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第四十一條 本則施行前許可ヲ受ケ又ハ出願若ハ届出ヲ爲シタルモノハ本則ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第四十二條 本則施行ト共ニ不用トナラタル鑑札ハ本則施行ノ日ヨリ三十日以内ニ之ヲ返納スヘシ

第四十三條 本則ニ於テ陸奥灣トハ東津輕郡平館村明神崎及下北郡脇野澤村大崎見通線以内ヲ謂フ

第四十四條 附則(昭和五年九月六日縣令第五十六號)ノ内ニ於テ出願ニ關シテ本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令公布ノトキニ於テ現ニ操業中漁業又ハ巾着網漁業ニ従事シ仍引續キ従事セントスル者ハ本令公布后二週間以内ニ出願ヲ爲スヘシ此ノ場合ニ於テハ市町村長ノ證明書ヲ携帶シテ許否ノ處分アル迄仍其ノ漁業ヲ爲スコトヲ得(様式省略ス)

トロール汽船々長懲戒ニ關スル件

大正元年八月九日 保收第六號

禁止區域違反ノトロール汽船々長ハ海員懲戒法ニ依リ懲戒ニ附セラルヘキモノナルヲ以テ取締上ノ必要上將來禁止區域違反ノ事實明瞭ナル場合ニ於テハ遲滞ナク左ノ事項ヲ詳記シ船籍港所轄地方海員審判所理事官ニ對シ申告相成度  
右通條ス

追テ理事官ニ申告相成候節ハ其ノ都度御報告相成度候也

記

- 一 取調ヲ受ケタル者ノ氏名族籍住所職業及年齢
- 二 船舶ノ名稱トロール汽船ノ許可番號、船種、登録噸數、公稱馬力並其ノ所有者ノ氏名、族籍及住所
- 三 船長ノ受有スル海技免狀ノ勳類番號並前科ノ有無
- 四 發航地到達地ニ事件ヲ惹起シタル場所及年月日
- 五 事件ノ顛末及證據書類ノ寫
- 六 取調ヲ受ケル者何日其ノ地ヲ去リ何地ニ至ルヘキコト

注意

右ノ調査ニハ取調ヲナシタル年月日及場所ヲ記載シ取調ヲ爲シタル者之レニ署名捺印スルニ由リ業經該令發又各辭書式ノ科

トロール汽船々長懲戒ニ關スル件



●漁業取締法令違反者報告方ノ件

昭和三年十二月十日  
青保第四七八號

漁業關係法令違反者ニ對シテハ司法處分ノミニ止ラス更ニ行政處分ヲ要スル場合多ク可有之旁々事務處理上必要ニ付爾今之等漁業關係法令違反者檢舉シタル場合ハ別表ニ依リ添テ報告相成度

第	年	月	日	時	所	名	年	月	日	時	所	名	年	月	日	時	所	名	年	月	日	時	所	名
一	昭和	三年	十二月	十日	青保	第四七八號																		

●鮑及海鼠蕃殖ニ關スル件

大正六年四月二十五日 以土  
訓令第四十九號

鮑及海鼠ハ共ニ本縣重要水産物ニシテ其ノ製品ハ本邦海外重要輸出品ノ一ナリ故ニ其ノ種族ノ蕃殖ヲ保護シ生産ノ増進ヲ圖ルハ水産經濟上ノ要務タリ然レモ之カ採捕ニ當リ其ノ發育ノ程度及産卵ノ期節ヲ顧ミテ臨捕權限ニ放任セムカ其ノ蕃殖ヲ害シ種族ヲ絶滅シ重要ノ水産物ヲ失フ虞アルハナカラス製品ノ信用ヲ毀損シ聲價ヲ失墜スルニ至ルヤ計リ知ルヘカラス農商務省ハ明治四十四年四月訓令第六號ヲ以テ殼長體長及重量ニ一定ノ制限ヲ設ケ其ノ採捕ヲ警メ製品ニ對シ検査ノ實行ヲ促シ蕃殖保護ノ目的ヲ達スルト共ニ商品信用ノ維持ニ努メシメ本縣モ亦明治四十四年五月縣令第三十號ヲ以テ漁業取締規則ヲ發布シ極具漁獲物ニ制限ヲ附シ禁漁期ヲ設ケ専ラ蕃殖ヲ保護シ生産ノ増進ニ努メタリ而シテ農商務省ハ客年八月農令ヲ廢止シ更ニ省令第二十五號ヲ以テ鮑及海鼠製品取締規則ヲ發布シ製品ニシテ一定ノ重量以上ノモノニ非ラサレハ其ノ販賣ヲ禁止シタリ當業者ハ之ヲ遵守シ其蕃殖保護ト製法ト改善ヲ務メツ、アルヲ信スト雖往々過ツテ法規ニ觸ル、モノナキヲ保シ難シ其ノ任ニ當ル者克ク此ノ趣旨ヲ體シ監督ヲ嚴メテ米道ノ利ヲ奪ハズト期スヘシ

第二十五章 漁業取締規則

漁業取締法令違反者報告方ノ件  
鮑及海鼠蕃殖ニ關スル件



第二十五章 通信、鐵道、船舶、道路

航空取締ニ關スル件

六五七

●航空取締ニ關スル件

昭和五年一月二十日

航空法第一七〇二條

右ニ關シテハ航空事故防止ノ爲爾今左記ニ準據相成度此段依命及通牒候也

記

- 一 航空法第二十九條但書及航空法施行規則第百二條ノ規定ニ依リ陸上ニ於ケル飛行場ニ非サル場所ニ於テ飛行機ノ離陸又ハ着陸スルコトヲ許可セムトスルコトハ左ノ標準ニ依ルコト
- (一) 許可期間ハ一月以内ニ限ルコト但シ特殊ノ事由アリト認シテ於テ此ノ限リニ在ラス
- 前項但書ノ場合ニ於テハ逓信大臣ニ稟伺スルコトヲ要スルコト
- (二) 滑走區域ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル廣アルヲ要スルコト
- 其ノ一 一切ノ風向ニ對シ飛行機ノ離着陸ヲ爲サムトスル場合ニ於テハ長三百メートル以上幅三百メートル以上ノ品ハ本港市長重要物品ノ一ニシテ其ノ一定ノ風向ノミニ對シテノミ飛行機ノ離着陸ヲ爲サムトスル場合ニ於テハ其ノ風向ニ正對シ長三百メートル以上幅百メートル以上

(三) 滑走區域ノ地盤ハ堅硬ニシテ天候等ニ因リ泥濘又ハ粗鬆ト爲ラサルヲ要スル

(四) 滑走區域ノ地面ハ平坦ニシテ排水ノ便良ク且何レノ方向ニ對シテモ大ナル傾斜ナキヲ要スルコト

(五) 滑走區域内ニハ飛行機ノ滑走、上昇及下降ノ障礙ト爲ルヘキモノ存セザルヲ要スルコト

(六) 滑走區域ノ境界ヨリ外方二百メートルノ地域内ニハ成ルヘク家屋、煙突、電柱、電線、樹木、堤防、高地等飛行機ノ上昇及下降ノ障礙ト爲ルヘキモノ存セザルヲ要セザルコト

(七) 前號ノ地域外ト雖飛行機ノ離着陸ノ方向ニハ航空ノ障礙ト爲ルヘキモノ存セザルヲ要スルコト

二 前項ノ許可ヲ爲シタルトキハ逓信ナク逓信大臣ニ詳細報告スルコト

三 離着陸ヲ許可セラレタル場所(以下單ニ離着陸場ト稱ス)ニ於テ飛行機ノ離着陸ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ各號ニ依リ空中ヨリ明瞭ニ認メ得ル様標示ヲ爲サシムルコト

(一) 滑走區域ノ四隅ハ白色ノ布板又ハ石灰等ヲ以テ之ヲ標示スルコト

(二) 離着陸地点及離着陸方向ハ丁字型白色ノ布板等ヲ以テ之ヲ標示スルコト

(三) 風向ハ吹流ヲ以テ之ヲ標示スルコト

航空取締ニ關スル件

保 六五七



- (四) 離着陸場内ノ危険ナル箇所ハ赤色ノ布板等ヲ以テ之ヲ標示スルコト
  - (一) 離着陸場ノ警戒ハ左ノ各款ニ依ルルコトニシテ、亦對等ノ以テ之ヲ標示スルコト
  - (二) 觀覽人ハ成ルヘク一定ノ觀覽席ヲ設ケテ其ノ中ニ之ヲ收容スルコト
  - (三) 前項ノ觀覽席ハ飛行機ノ離着陸方向ノ前方ニ滑走區域ヨリ成ルヘク隔離シテ、之ヲ設クルコトヲ要シ如何ナル場合ニ於テモ飛行機ノ離着陸方向ニハ絶體ニ之ヲ設クヘカラサルコト
  - (四) 離着陸場ニ於テ飛行機ノ離着陸ヲ爲サムトスルトキハ滑走區域内ノ通行ハ係員ノ外ニ之ヲ禁止スルコト
  - (五) 離着陸場ノ警戒ハ飛行機カ全ク眼界ヲ去リタル後又ハ着陸ヲ了シタル後ニ非テレハ之ヲ解除スヘカラサルコト
  - (六) トスルトキ亦同シ但シ特ニ交通頻繁ナル場所ニ限り離着陸及着陸ノ間ノ安全ナル時期ニ於テ通行セシムルハ差支ナキコト
- 五 航空法施行規則第百六條ノ規定ニ依リ曲技飛行ヲ許可セムトスルトキハ左ノ標準ニ依ルコト
- (一) 操縦士カ曲技飛行ヲ行ヒ得ル資格ヲ有スルモ否ヲ調査スルコト
  - (二) 飛行機カ曲技飛行ニ使用シ得ルモノナリヤ否ヲ調査スルコト
  - (三) 曲技飛行ハ如何ナル場合ニ於テモ六百メートル以上ノ高空ニ於テ之ヲ行フモ

四ノナルコト

- (四) 飛行機ニ事故ヲ生シタル陸地上ノ人畜等ニ危險ヲ生ゼシメタル様成ルヘク水
- (一) 離着陸場ノ田畑、空地等ノ直上ニ於テ之ヲ實施スルモノナルコト
- 航空法施行規則第百九條ノ規定ニ依リ競技航空(二人以上ノ操縦士カ互ニ其ノ技倆ノ優劣ヲ競フ爲行ラモノ)興行航空(料金を徴收シテ公眾ニ曲技飛行其ノ他ノ航空ヲ觀覽セシムルモノ)又ハ觀覽航空(料金を徴スルコトナクシテ公眾ニ曲技飛行其ノ他ノ航空ヲ觀覽セシムルモノ)ヲ許可セムトスルトキハ左ノ標準ニ依ルコト
- (一) 操縦士ノ技術証明書及航空免狀並飛行機ノ塔航証明書及登録証明書ヲ調査スルコト
- (二) 興行航空又ハ觀覽航空等ニ於テ同業者カ飛行機ノ翼上ニ起立シ繩梯子ニ吊下リ他ノ飛行機ニ移乗シ又ハ落下傘ヲ以テ降下スル等ノコトヲ行フハ曲技飛行ニテアラサルモ相當危險ヲ伴フニ付右願出アリタルトキハ操縦士及同業者ノ氏名離着陸場ノ廣狹恒凡位其ノ他計畫ノ詳細ヲ具シ豫メ通信大臣ニ稟伺スルコト但シ特ニ急ヲ要スル場合ニ於テ危險ノ虞ナシト認メタルトキハ左ノ標準ニ依リ許可スルコト
- イ 飛行機ノ翼上ニ起立シ繩梯子ニ吊下リ又ハ他ノ飛行機ニ移乗スル場合ニ於テハ當該飛行機ノ航空高度ハ百米以上ナルヲ要スルコト



ロ 飛行機ヨリ落下傘ヲ以テ降下スル場合ニ於テハ當該飛行機ノ航空高度ハ百五十米以上ナルヲ要シ且降下者カ安全ナル場所ニ完全ニ降下シ得ルト認めラルルヲ要スルコト

七 期間ノ長短ヲ問ハス繼續ノ意ヲ以テ料金ヲ徴收シ他人ヲ同乗セシメ飛行ヲ行フハ其ノ名稱ノ何タルヲ問ハス航空法第三十六條ニ規定スル航空機ニ依ル運送業ニ該當スルモノニシテ航空法施行規則第一百十六條ノ規定ニ依リ逓信大臣ノ許可ヲ受クルヲ要スルモノナルコト

八 航空法施行規則第八十六條第八十七條又ハ第八十九條ノ規定ニ依リ飛行場設置許可申請書、飛行場區域變更許可申請書、公共用飛行場廢止許可申請書、公共用飛行場ヲ非公用飛行場ニ變更スルノ許可申請書又ハ非公用飛行場ヲ公共用飛行場ニ變更スルノ許可申請書ノ副本ノ提出ヲ受ケタルトキハ之ニ對スル意見ヲ逓信大臣ニ上申スルコト尙飛行場設置許可申請書ノ副本ノ提出ヲ受ケタル場合ニ限リ左記事項調査ノ上報告ノコト

(一) 經營者ノ職業、經歷、資力、信用等  
 (二) 氣象狀況  
 (三) 航空法第二十九條ニ該當スル禁止場所ナル場合離着水ヲ許可スル見込ノ有無  
 (四) 水上飛行場ニ在リテハ滑走區域ニ於ケル波浪狀況 最大干潮時ノ水深船舶ノ

航行狀況及漁業權設定ノ有無

(五) 其ノ他參考トナルヘキ事項

九 左ノ各號ノ場合ニ於テハ當分ノ内務大臣ニ稟伺スルコト但シ特ニ急ヲ要スル場合ニ於テ一時限ハモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

前項但書ノ場合ニ於テハ事後遲滞ナク其ノ旨逓信大臣ニ報告スルコト

(一) 航空法施行規則第九十一條及第九十二條ノ規定ニ依リ公共用飛行場使用料若シテ其ノ變更ヲ認可セムトスル場合又ハ公共用飛行場使用料ノ變更ヲ命セムトスル場合

(二) 航空法施行規則第九十三條ノ規定ニ依リ飛行使用ノ制限ヲ命セムトスル場合又ハ公共用飛行場ニ航空ニ必要ナル設備ヲ爲サシメムトスル場合

(三) 航空法第二十三條及航空法施行規則第九十九條ノ規定ニ依リ公共用飛行場ヲ他ノ目的ニ使用シ又ハ使用セシムルコトヲ許可セムトスル場合

(四) 航空法第二十四條第一項及航空法施行規則第九十九條ノ規定ニ依リ航空ノ障礙ト爲ルヘキモノニ對シ航空標識ヲ設置スルコトヲ命セムトスル場合

(五) 航空法第二十七條第一項及航空法施行規則第九十九條ノ規定ニ依リ公共用飛行場ニ於テ他人ノ運航スル航空船又ハ飛行機ノ離陸又ハ着陸スルコトヲ拒ムコトヲ許可セムトスル場合







### ●不開港場ニ於ケル關稅取締心得

明治三十六年十二月十七日  
保發第二五一號

〔明治三十六年四月通關稅關調查  
昭和五年十二月青森稅關支署調査〕

#### 第一 船 舶

- 一 外國貿易船ト稱スルハ外國貿易ノ爲外國ニ往來スル船舶(内外國船共ヲ謂フ)(關稅法第二十三條)
- 二 外國貿易船ハ不開港ニ出入スルコトヲ得ス但シ海難其ノ他已ムヲ得サル事故アルトキハ此ノ限ニ在ラス(關稅法第十八條第一項)  
(右違反ノ制裁)船長ヲ二千圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス(關稅法第七十八條)
- 三 外國貿易船海難其ノ他已ムヲ得サル事故ニ因リ不開港ニ入港シタルトキハ船長直ニ其ノ事由ヲ稅關官吏、稅關官吏在ラサルトキハ警察官吏ニ届出ツヘシ(關稅法第十八條第二項)  
(右違反ノ制裁)船長ヲ二百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス(關稅法第八十條)
- 四 警察官吏關稅法第十八條第二項ノ届出ヲ受ケタルトキハ所轄稅關又ハ稅關監視署ニ急報スヘシ(關稅法施行規則第二十五條)
- 第二 貨 物
- 一 海難其ノ他已ムヲ得サル事故ニ因リ不開港ニ入港シタル外國貿易船カ外國貨物ノ

大正三年十月十五日

- 二 外國貿易船不開港ニ於テ船用品ヲ積入レムトスルトキハ物品ノ種類、數量及價格ヲ記載シタル文書ヲ以テ船長ヨリ稅關官吏ニ、稅關官吏在ラサルトキハ警察官吏ニ申告スヘシ但シ豫メ申告スル能ハサル場合ニ於テハ陸揚後直ニ申告スヘシ(關稅法施行規則第二十七條)

- 三 外國貿易船不開港ニ於テ船用品ヲ積入レムトスルトキハ物品ノ種類、數量及價格ヲ記載シタル文書ヲ以テ船長ヨリ稅關官吏ニ、稅關官吏在ラサルトキハ警察官吏ニ申告スヘシ(關稅法第二十一條、同施行規則第二十八條)
- (右違反ノ制裁)船長ヲ二百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス(關稅法第八十條)
- 四 警察官吏外國貨物ノ假陸揚又ハ船用品ノ積入ヲ認許シタルトキハ其ノ地所轄ノ稅關ニ通報スヘシ(關稅法施行規則第二十八條ノ二)

- 五 外國貨物ハ保稅地域ニ非サル場所ニ藏置スルコトヲ得ス但シ難破貨物、稅關ノ認許ヲ受ケタル貨物其ノ他法令ニ別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス(關稅法第二十四條)
- 六 貨物ノ輸出若ハ輸入ヲ爲サムトスル者ハ稅關ニ申告シ貨物ノ検査ヲ經テ其ノ免許ヲ受クヘシ但シ左ニ掲クル場合ニ於テハ稅關官吏ニ、稅關官吏在ラサルトキハ收稅官吏ニ申告シ其ノ検査及免許ヲ受クムコトヲ得
- 一 遭難船舶ノ修繕、救援又ハ救助ノ費用其ノ他航海ヲ繼續スルニ必要ナル費用

不開港場ニ於ケル關稅取締心得



- 一 支辨タル爲貨物ヲ賣却スルトキ
- 二 遭難船舶ニ積載セル損傷貨物又ハ腐敗シ易キ貨物ヲ讓渡スルトキ
- 三 遭難船舶又ハ難破貨物ヲ輸入スルトキ
- 四 遭難船舶ヨリ上陸シタル旅客ノ携帶品ヲ輸入スルトキ(關稅法第三十一條)
- 五 輸入申告書ニハ積載船舶ノ名稱、國籍、貨物ノ仕入地、積出地、産出地又ハ製造地、配號、番號、品名、商數、數量及價格ヲ記載スヘシ(關稅法施行規則第三十七條)
- 六 旅客携帶品ニ關スル輸入申告ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得(關稅法施行規則第三十八條)
- 七 旅客ノ携帶品又ハ關稅法第三十一條但書ニ掲ケタル貨物等ニ付貨物ヲ檢査シタル官吏直ニ關稅ヲ徵收スルトキハ他ノ官吏若ハ吏員ヲ立會アルコトヲ要ス
- 八 前項ニ依リ關稅ヲ徵收シタルトキハ立會官吏若ハ公吏ノ證明ヲ受ケ稅關ニ報告スヘシ(關稅法施行規則第五條)
- 九 輸入貨物ハ輸入免許ヲ受ケタル後ニ非サレハ之ヲ引取ルコトヲ得ス但シ警察官吏ノ認許ヲ得税金ノ擔保トシテ金銀ヲ提供シタルトキハ輸入貨物ノ引取ヲ爲スコトヲ得(關稅法第三十四條)
- 一〇 左ニ掲ケル外國貨物ヲ海路又ハ陸路ニ由リ不問港ヨリ開港又ハ保税地域ニ運送スル場合ニ於テハ船長又ハ陸路運送人ハ稅關官吏ハ稅關官吏在ラザルトキ

- ハ警察官吏ノ認許ヲ受ケヘシ但シ陸路ニ由リ運送ハ稅關官吏又ハ警察官吏ノ指定スル道路ニ由リシテ、外國貨物ヲ開港官吏與對シテ陸路ニ由リ運送スル場合ニ於テハ假ニ陸路ニ由リ貨物ヲ運送シタル船舶ニ積載セル貨物、前項ノ貨物運送先ニ到達シタルトキハ船長又ハ陸路運送人ハ二十四時間以内ニ認許證ヲ稅關ニ提出スヘシ(關稅法第三十九條及五)
- 一 假ニ陸路ニ由リ貨物ヲ運送シタル船舶ニ積載セル貨物、前項ノ貨物運送先ニ到達シタルトキハ船長又ハ陸路運送人ハ二十四時間以内ニ認許證ヲ稅關ニ提出スヘシ(關稅法第三十九條及五)
- 二 難破貨物、遭難船舶又ハ難破貨物、前項ノ貨物運送先ニ到達シタルトキハ船長又ハ陸路運送人ハ二十四時間以内ニ認許證ヲ稅關ニ提出スヘシ(關稅法第三十九條及五)
- 三 難破貨物、遭難船舶又ハ難破貨物、前項ノ貨物運送先ニ到達シタルトキハ船長又ハ陸路運送人ハ二十四時間以内ニ認許證ヲ稅關ニ提出スヘシ(關稅法第三十九條及五)
- 四 前項ノ貨物運送先ニ到達シタルトキハ船長又ハ陸路運送人ハ二十四時間以内ニ認許證ヲ稅關ニ提出スヘシ(關稅法第三十九條及五)
- 五 (右違反ノ制裁)船長又ハ陸路運送人ヲ二百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス(關稅法第八十條)
- 六 前號外國貨物ヲ不問港開港又ハ保税地域ニ運送ノ認許ヲ受ケムトスル者ハ運送先、貨物、品名、商數及數量ヲ記載シタル申請書ヲ提出スヘシ(關稅法施行規則第四十六條)
- 七 關稅法第三十八條ノ五ニ於テ外國貨物ノ運送ヲ認許シタルトキハ其ノ認許證ニ前號ノ申請書ニ記載シタル事項ノ外指定道路ヲ記載スヘシ(關稅法施行規則第四十七條)
- 八 警察官吏前項ノ認許ヲ爲スルトキハ認許證ノ寫ヲ其他所轄ノ稅關ニ送付スヘシ
- 九 (關稅法施行規則第四十六條及五)
- 一〇 外國貨物陸路ニ由リ運送ハ命令ヲ以テ定メタル通路ニ由ルヘシ(關稅法第三十



- 一三 九條ノ二
- 一四 關稅法第三十九條ノ二ノ通路左ノ通定ム(大正六年大藏省令第二十號)
  - 一 國有鐵道及之ト連絡運輸ヲ爲ス私設鐵道並ニ輕便鐵道線路ニ於テハ
  - 前項通路ト連續シテ運送ヲ爲ス場合ニ於ケル左ノ直航水路
    - 一 青森函館港間、舞鶴宮津港間、下關門司港間、下關港小森江間、下關釜山港間
    - 二 隅田川口ヨリ小石木川、新川、江戸川ヲ經テ野田町ニ至ル水路
    - 三 隅田川口ヨリ荒川ヲ經テ王子町ニ至ル水路
    - 四 隅田川口ヨリ小石木川又ハ盛川ニ由リ中川ヲ經テ西小松川ニ至ル水路
    - 五 前各項ノ通路ト連續シテ運轉ヲ爲ス場合ニ於ケル橫濱港ヨリ隅田川口ニ至ル直航水路
  - 二 大阪市ヨリ淀川及疏水運河ニ由リ京都市ニ至ル水路
  - 三 大阪市ヨリ新淀川及神崎川ヲ橫キリ尼ヶ崎市ニ至ル水路
  - 一五 市町村長水難救護法ノ規定ニ依リ保管スル物件ヲ公賣シ又ハ拾得者ニ引渡サムトスル場合ニ於テハ該物件關稅未納ノ貨物ナルトキハ其ノ種類並數量及公賣又ハ引渡ノ場所並期日ヲ稅關吏、稅關官吏現場ニ在ラサルトキハ稅關官吏ニ通知シ且稅關手續未済ノ物件ナルコトヲ入札者又ハ拾得者ニ告知スヘシ(水難救護法取扱

手續第十八條(第四十八號第二項、第六十二號及第六十六號ノ附則ニ依リテ)

- 一六 水難救護法ノ規定ニ依リ市町村長ニ於テ保管スル關稅未納物件ノ取扱方ニ關シ今般通信大臣ヨリ別紙ノ通知書沿海府縣ヘ內達相成候ニ付テハ右物件ノ輸入ニ關シ市町村長ヨリ通知ヲ得タルトキハ直ニ當該官吏ヲ現場ニ臨マシメ若シ直ニ現場ニ臨マシメ難キ場合ニ於テ急遽處分ヲ要スルトキハ市町村長ト協商シ便宜ノ取扱ヲ爲スヘシ(明治三十五年六月大藏大臣達第九九二號)
- (別紙)
  - 一 水難救護法ノ規定ニ依リ保管スル關稅未納ノ物件ノ取扱者ニ關シ今般本省訓令第一號ヲ以テ同法取扱手續ニ一併ヲ追加シタルニ付將來右等物件ノ處分特ニ急遽ヲ要スル場合ニ在ラテハ最寄稅關又ハ稅關支署ニ急報シ且ツ稅關官吏カ直ニ現場ニ臨ミ難キトキハ成ルヘク稅關又ハ稅關支署ノ協商ニ應シ便宜ノ取扱ヲ爲スヘキ様沿海市町村長ヘ訓示スヘシ(明治三十五年六月通信大臣內達)
  - 三 其ノ他
  - 一 沿海通航船海難其ノ他已ムラ得ナル事故ニ因リ外國ニ寄港シタルトキハ歸航後其ノ所轄ノ稅關ニ申告スヘシ(關稅法施行規則第二十九條)
  - 二 左ニ掲クル物品ハ輸入ヲ禁ス
    - 一 阿片及阿片吸煙具但シ政府ノ輸入スルモノヲ除ク



- 二 偽造變造又ハ模造ノ貨幣、紙幣銀行券及有價證券
- 三 公安又ハ風俗ヲ害スヘキ書籍、圖書、彫刻物其ノ他ノ物品
- 四 特許權、實用新案權、意匠權、商標權及著作權ヲ侵害スル物品（關稅定率法第七十一條）
- 一 免許ヲ受テスレテ貨物ノ輸出若ハ輸入ヲ爲シ又ハ爲サムトシタル者ハ千圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス（關稅法第七十六條）
- 四 輸入禁制品ノ輸入ヲ圖リ又ハ其ノ輸入ヲ爲シタル者ハ犯罪ニ係ル貨物ノ原價ニ相當ナル罰金又ハ科料ニ處ス其ノ貨物ヲ沒收ス但シ他ノ法律ニ於テ別ニ刑ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラズ（關稅法第七十四條）
- 五 關稅ノ通脫ヲ圖リ又ハ關稅ヲ通脫シタル者ハ其ノ通脫ヲ圖リ又ハ通脫シタル稅金（以テ三倍ニ相當スル罰金若ハ科料ニ處シ犯罪ニ係ル貨物ヲ沒收ス（關稅法第七十五條）
- 六 前二條ノ犯罪ニ係ル貨物ノ運搬、寄藏、收受、故買又ハ牙保ヲナシタルモノハ千圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス（關稅法第七十五條ノ二）
- 七 關稅法第十八條、第二十一條、第二十五條ノ五ノ規定ニ該當スル者ハ不注意ノ故ヲ以テ罰金ヲ受ルモノトシ得ズ（關稅法第八十二條）
- 八 關稅法ニ違反シタル者ハ刑法第二百八十八條第三項出書、第三十九條第二項、第四十條、第四十一條、第四十八條第二項、第六十三條及第六十六條ノ例ヲ用キス（關稅法

第八十二條ノ四）  
關稅法ノ規定中船長ニ適用スルモノハ船長ニ代リテ其ノ職務ヲ行フ者ニモ亦之ヲ適用ス（關稅法第一百條）

- 一〇 法人ノ代表者又ハ其ノ雇人其ノ他ノ從業者法人ノ業務ニ關シ租稅及煙草專賣ニ關スル法規ヲ犯シタル場合ニ於テハ各法規ニ規定シタル罰則ヲ法人ニ適用ス（明治三十三年法律第五十二號第一條）
- 一一 前號ニ依リ法人ヲ處罰スヘキ場合ニ於テハ法人ノ代表者ヲ以テ被告人トス（明治三十三年法律第五十二號第二條）
- 一二 今般關稅警察事務協力方ニ關シ別紙ノ通內務大臣ヨリ各地方官ヘ訓令相成候條事ニ臨ミ便宜協議ヲ遂ケ關稅取締上ノ周到敏活ヲ期スヘシ（明治三十二年十一月大藏大臣達第二三六八號）

（別紙）

- 一五 關稅取締上警察官吏ノ執行スヘキ事項ニ付法律命令ニ規定アル場合ノ外向當該稅關ヨリ協議アリタルトキハ適應ノ助力ヲ與ヘラルヘシ（明治三十二年十一月內務大臣訓令第一〇四二號）
- 一三 青函鐵道關稅管轄區域左ノ如シ
- 一四 北海道、秋田縣、岩手縣、青森縣、樺太（大正六年勅令第五十八號）



一四 函館税關管内支署及其ノ管轄區域左ノ如シ (大正六年勅令第五十九號)

一三 青森税關支署管轄區域 青森縣 岩手縣

船川税關支署管轄區域 (秋田縣)

一五 青森税關支署監視區域左ノ如シ (函館税關所定) 青森縣、沿岸一圓及附屬島嶼

樣式

- 一 國籍及船種
- 二 船名
- 三 登簿噸數又ハ積量石數
- 四 船長氏名
- 五 船主住所氏名
- 六 貨主住所氏名
- 七 乗込人員 (内外人ノ區別ヲ要ス)
- 八 船客人員 (等級別ヲ要ス)

九 積載貨物ノ種類及數量

- 一〇 仕出港及仕出年月日
- 一一 寄港地其ノ發着日時 車引船ハ、重役機關ニ云ク
- 一二 寄港事由 (不測ノ事ハ、入港事由ヲ記シテモ、事由ヲ記シテモ、事由ヲ記シテモ)
- 一三 入港ノ日時
- 一四 仕向港
- 一五 入港ノ事由 (事由ハ詳細ニ記載セシムヘシ)

税關監視長又ハ警察官吏宛

第二十 貨物及船用品	國籍	船長 氏名
貨物積載申請書	住積	名
船名	船長 氏名	名

不問港場ニ於ケル關稅取付心得



不問海陸ニ於テハ陸揚ノ事由  
 三 陸揚ノ事由  
 四 貨物

品名	数量	仕出地	仕向地

前記貨物何處ニ假陸揚致度此段申請候也

海陸運送月日

国籍 船長 氏

税關監視署長又ハ警察官吏宛

一 入船ノ事由  
 二 貨物(陸揚)運送認許申請書  
 三 国籍及船種

船名(陸揚運送ニハ一、二、三ノ省キ運送ノ方法ヲ記載スルコト運送ノ方  
 法ニ依リテ決シ人車馬等ノ運送機關ヲ云フ)

一 登簿噸數又ハ積量石數  
 二 運送先

品名	数量	仕出地	仕向地

右運送認許申請候也

年 月 日

住所

船長又ハ運送人 氏 名

税關監視署長又ハ警察官吏宛

貨物輸入申告書

国籍及船種

二 船名

貨物ノ仕入地 出地又ハ製造地	記號	品名	数量	仕出地	仕向地	價格

右難破貨物(又ハ何貨)物輸入免許申請候也

年 月 日

国籍

不開港場ニ於ケル關稅取締心得



不圖家器ニ付テ、關稅取納心付

住所

申告者署名

何々税關官吏又ハ收稅官吏宛

輸入免狀

積載船名 申告者氏名

品名	数量	税目番號	一個ノ重量

右(何々)貨物輸入ヲ免許ス

年 月 日

官 氏 名

好關品積入申告書

品名	数量		

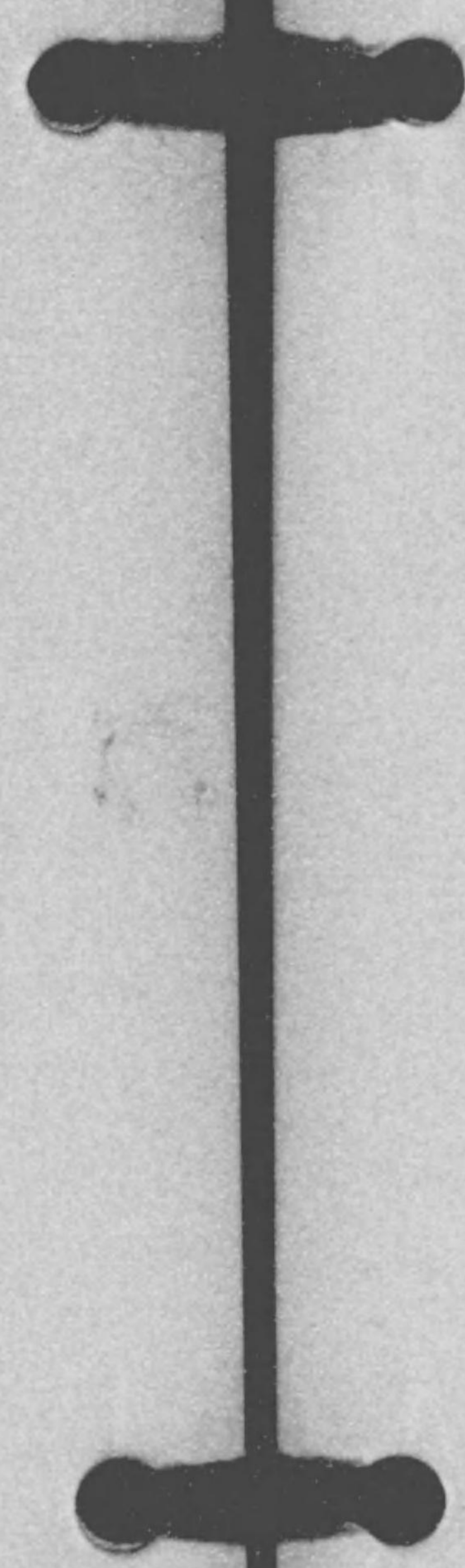
右船用品積入致度ニ付此段申告書

年 月 日

住所 船名

税關監視長又ハ收稅官吏宛

六五六



輸入免許前引取申請書

船名	船號番號	種類及個數	品名	数量	輸入申告年月日	關稅納付迄期

申請ノ理由

--	--	--	--	--	--	--

自願運出申請書(特)在積出書

申請者 氏 名

何々税關官吏又ハ收稅官吏宛

輸入免許前引取認許書

申請者 氏 名

船名	船號番號	種類及個數	品名	数量	輸入申告年月日	關稅納付迄期

申請ノ理由

--	--	--	--	--	--	--

右認許ス

官 氏 名

不開港場ニ於ケル關稅取納心得

保 六五七



製造煙草輸入許可申請書

一 種 類  
 一 品 名  
 一 山 數、原 量  
 一 原 價 格  
 一 仕 入 地  
 一 事 由

年 月 日 有 關 官 吏 署 住 所  
 年 月 日 輸入許可

申請人 氏  
 申請者 氏

自用製造煙草輸入免許證

品 名 數 量 申 告 者  
 年 月 日  
 官 氏  
 第三 其 他  
 領 入 免 許 證 申 請 書

金

何年度	常 租	納 人	氏	名
		稅 租	氏	名
		稅 關		名

右領收候也

年 月 日 領 入 免 許 證 申 請 書

年 月 日 領 入 免 許 證 申 請 書

年 月 日 領 入 免 許 證 申 請 書

金

何年度	常 租	納 人	氏	名
		稅 租	氏	名
		稅 關		名

年 月 日 領 入 免 許 證 申 請 書

年 月 日 領 入 免 許 證 申 請 書

年 月 日 領 入 免 許 證 申 請 書

金

何年度	大 租	納 人	氏	名
		稅 租	氏	名
		稅 關		名

年 月 日 領 入 免 許 證 申 請 書

年 月 日 領 入 免 許 證 申 請 書

年 月 日 領 入 免 許 證 申 請 書



不問對照ニ從テ、國稅課税ノ心算  
 本府公署 月 日 主任收入官吏所屬  
 收入官吏 官 氏 名

携帶品中有税品仕舞書

申告者ノ國籍及氏名

積載船名

一 筒數(包裝ノ數)數量又ハ容量又ハ重量(壹方尺)

一 原價(保險料、運賃、包裝費等ヲ包ム) 主五斗入官吏某所屬

一 鑑定價(検査官署ノ鑑定セル價格、シテ課税ノ標準トナルモノ)

一 税目番號(關稅定率法ノ税目)及税率(同上ノ税率)

一 稅額(徵收スヘキ稅額)

年 月 日

検査官署 立會官吏 官 氏 名

立會官吏 官 氏 名

注附並舞書

●通船營業取締規則

明治三十九年七月二十九日入附ニ一人ノ田ノ十號  
 縣令第三十五號

第一條 通船營業ト稱スルハ港灣ニ碇泊スル艦船ニ旅客貨物ヲ運濟スル營業ヲ謂フ

第二條 通船營業者ノ使用スル船舶ヲ左ノ二種ニ區別ス

一 客船 (旅客ヲ乘載スルモノ)

二 荷船 (貨物ヲ運濟スルモノ)

第三條 通船營業ヲ爲サントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ所轄警察署ニ願出許可ヲ受クヘシ

一 族籍住所氏名年齢法人ニアリテハ其代表者ノ住所氏名年齢

二 未成年者ニアリテハ後見人ノ連署

三 營業ノ場所

四 船種類(客船船荷船ノ別)員數第七號書式構造明細書

第四條 左ノ場合ニ於テハ五日以内ニ所轄警察署ニ届出テ更ニ證印ヲ請フヘシ

一 轉居改氏名検査證照札面ニ異動ヲ生シタルトキ

二 検査證照札面ニ失毀損シ又ハ字體不明印章磨滅シタルトキ

第五條 左ノ場合ニ於テハ五日以内ニ所轄警察署又ハ巡查部長派出所若ハ巡查駐在所  
 八書面又ハ口頭ヲ以テ届出テ證印ノ消除ヲ請フヘシ但營業者死亡シタルトキハ相續

通船營業取締規則

保 六八一







第十九條 何等ノ名義ニ拘ハラス定員外ノ賃金ヲ請求スヘカラス

第二十條 検査證鑑札若ハ標旗標證ハ貸與又ハ轉用スヘカラス

第二十一條 船夫ハ就業中見苦シキ服装ヲ爲スヘカラス

第二十二條 船夫ハ就業中鑑札ヲ携帯シ警察官吏乗客ニ於テ見シ事ヲ求タル時ハ速ニ之ヲ示スヘシ

第二十三條 強テ客ヲ誘引シ又ハ船客船員ノ承諾ヲ得スジテ手荷物其他ノ貨物ニ觸接スヘカラス

第二十四條 乗客又ハ荷主ノ承諾ヲ得ス途中ニ於テ他船ニ移シ若ハ故ナク停船ス可ラ

第二十五條 警察吏ハ風浪其他必要ト認ムル場合ニ於テハ艀船ノ使用ヲ一時停止シ若ハ其乗載ヲ制限シ又ハ船夫ノ増員ヲ命スルコトアルヘシ

第二十六條 營業者ニシテ本則ニ違犯シ又ハ不正ノ行爲アリト認メタルトキハ所轄警察官署ニ於テ營業ヲ停止シ又ハ許可ノ失效ヲ命スルコトアルヘシ

第二十七條 土地ノ狀況ニ依リ必要ト認メタルトキハ所轄警察署ニ於テ營業組合ヲ設クシムルコトアルヘシ

營業組合ヲ設ケタルトキハ組合規約ヲ定メ所轄警察署ニ届出ヲ認可ヲ受クヘシ規約ヲ變更増減シタルトキ亦同シ

第二十八條 本則ニ違背シタル者又ハ第二十五條ノ命令ニ従ハサル者若ハ第二十六條ニ依リ停止ノ命ヲ受ケ私カニ其業ヲ爲シタル者ハ二十日未滿ノ拘留又ハ二十日未滿ノ科料ニ處ス

附則 第二十九條 本則ハ當分ノ内青森、野邊地、大湊、川内、ニ施行ス

第三十條 法人ニシテ本則ニ違犯シタルトキハ代表者ヲ其責ニ任ス

第一號 (木札縦二寸五分横一寸八分厚サ三分文字楷書)

第 一 號	青森縣何那市何村番戶	某
第 二 號	通船營業	何
船 夫 鑑 札	青森縣何那市何村番戶	何
生年月日	某	



船體検査証

燒印

初年 大 年 三 年 四 年 五 年 六 年

何年何月何日

青森縣何警察署

第二號 (木製船身長五寸五分厚四分文字楷書)

第一號 (船體検査証)

燒印

初年 大 年 三 年 四 年 五 年 六 年

昭何年何月何日

青森縣何警察署

青森縣市町村 營業者 氏 名

一長 船身長マテ

一船員中央部、本頭ニ懸張何、尺

製造年月日

第二號 (木製船身長五寸五分厚四分文字楷書)

第三號 (木製船身長五寸五分厚四分文字楷書)

燒印

何年何月

通船營業人 何

乘客定員 某

右之通りニ候也

第四號 (木製船身長五寸五分厚四分文字楷書)

燒印

何年何月

通船營業人 何

貨物 某

一、貨物 某

二、手荷物 某

右之通りニ候也

第五號 (旗旗縦五寸横貳尺地置木綿)



通船營業取替規則







第五條 左ノ各號ニ該當スルモノハ船夫鑑札ニ證印ヲ與フヘカラス

一 婦女

二 十六歳未満ノ者及白痴瘋癲者

三 身體虛弱ニシテ其業ニ耐ヘスト認ムル者

四 本則第二條第二號乃至第四號並ニ第六號ニ該當スル者

五 監視中ノ者

第六條 規則第九條ノ届出ヲアリタルトキハ船體ノ適否ヲ調査シ不都合ナシト認メタルトキハ検査證ニ證印ヲ與フヘシ

第七條 規則第十一條定員票ノ證印ヲ請フモノアリタルトキハ規則第十條ノ制限ニ適スルヤ否ヲ調査シ證印ヲ與フヘシ

第八條 規則第十三條ノ定期検査ハ臺帳ニ照査執行シ合格ノモノハ證印ヲ消除シ修理改造ヲ要スヘキモノハ修理改造ヲ命シ落成ノ後證印ヲ與フヘシ

第九條 規則第二十六條ニ依リ營業ヲ停止シ若ハ許可ヲ失效ヲ命シ又ハ船夫ノ業務ヲ停止シ若クハ禁止セムトスルトキハ事由ヲ具シ停止ニ付テハ期間ヲ附シ警察部長ノ指揮ヲ受ケ第一號様式ノ命令書ヲ交付シ之ヲ屬スヘシ

本則第二條第七號ニ依リ營業ヲ許可スヘカラスト認ムルトキ亦同シ

營業又ハ業務停止ノ期間ハ一箇年以内トスルハ其旨ヲ調査シ不都合ナシト認メタルモノハ

第十條 營業許可ノ失效ヲ命シ又ハ船夫ノ業務ヲ停止シタルトキハ速ニ證印ヲ消除スヘシ

第十一條 警察署ハ營業又ハ業務ノ禁停止ヲ爲シタル者ノ住所氏名年齢ヲ規則施行地警察署ニ於テハ營業禁停止名簿ニ登錄スヘシ

第十二條 營業組合ヲ設立スルトキハ左記ノ事項ニ就キ規約ヲ設ケシムルヘシ

一 組合取締選舉手續

二 組合取締ノ任期

三 組合ノ名稱及事務所ノ位置

四 組合取締ノ事務

五 組合加入者及退去者取扱手續

六 組合費用及其收支方法

七 貨物取扱方法

八 乗客賃金貨物運賃額

九 船夫ノ服裝及其給金額

一〇 組合規約違反者處分手續

第十三條 警察署ノ管轄區域毎ニ組合ヲ設ケシムルヘシ

第十四條 船舶營業取締規則施行心得

保 六九二



第十四條 通船業者船夫船舶の附録第二號様式ノ帳ニ登録シ異動ノ都度加除訂正ス

第一號様式 用紙半張

八 表裏面 命 命 命 命 命

通船營業取締規則第 支 條ニ依リ營業(又ハ何ケ月間業務)ノ失效(又ハ禁止停止ヲ命ス)

昭和 年 月 日 何警察署長

官 氏 名

許可年月日	住所	氏名	船				船			
			船名	船種	長尺	幅尺	船名	船種	長尺	幅尺
検査印消除年月日										

遊覽船營業取締規則

大正十一年五月二十三日 命令第三十六號

氏名	職名	履入年月日	解雇年月日	備考

記載例 同一營業者ニ屬スル船舶及船夫二以上アル場合ニハ營業者ノ番號ニ依リ第一號ノ一第一號ノ二ト順次記入スルモノトス

第一條 本則ニ於テ遊覽船營業ト稱スルハ縣内ノ港灣湖沼ニ於テ公衆ヲ船舶ニ乗載シ

土地ノ風光ヲ觀覽セシムルヲ營業トスルヲ謂フ

第二條 船舶法船舶検査法及其他ノ法令ニ規定アル事項ニ就テハ本則ヲ適用セザル

第三條 遊覽船營業(以下單ニ營業ト稱ス)ヲ爲サントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ知事ニ

- 一 願出許可ヲ受テヘシ第二號第五號第七號第八號ヲ變更セムトスルトキ亦同シ
- 二 營業者ノ族籍住所氏名生年月日(法人ニ在リテハ其名稱事務所所在地及代表者ノ氏名ヲ記シ定款寫ヲ添付スヘシ)
- 三 船舶ノ種類員數(船舶検査證又ハ船隻札寫ヲ添付スヘシ)
- 三 船隻舵夫及水夫員數



- 四 船舶ノ長ヲ及幅(構造ノ繪圖面ヲ添付スヘシ)
- 五 定繫出營業航路ノ區域發着場及寄航場地名(發着場寄航場ヲ表示スル圖面ヲ添付スヘシ)
- 六 發着時間(豫定シ能ハサル事情アルトキハ其事由)
- 七 乘客定員
- 八 乘客運賃
- 第四條 營業用船舶ハ左ノ事項ヲ具シ其ノ使用前當廳ニ船體ノ検査ヲ願出検査證ヲ受クヘシ第四號第五號ヲ變更修繕ヲ爲シタルトキ亦同シ
- 一 出願者ノ本籍住所氏名生年月日(法人ニ在リテハ其ノ名稱事務所所在地及代表者ノ氏名)
- 二 船舶ノ種類
- 三 製造者ノ住所氏名及製造年月日並古物ニ在リテハ其經歷
- 四 機關其他附屬器具ノ構造
- 五 船舶ノ長さ及幅(構造圖面ヲ添付スヘシ)
- 六 馬力噸數又ハ積石數
- 七 乘客定員
- 八 水夫定員

船舶ノ種類	製造者ノ住所氏名及製造年月日並古物ニ在リテハ其經歷	機關其他附屬器具ノ構造	船舶ノ長さ及幅(構造圖面ヲ添付スヘシ)	馬力噸數又ハ積石數	乘客定員	水夫定員

- 検査ニ合格シタルトキハ第一號雜形ノ検査證ヲ交付ス
- 第五條 營業用船舶ハ構造堅牢ニシテ船舶ノ種類ニ從ヒ左ノ設備ヲ爲スヘシ人ニ附屬シテ一ノ船燈、信號、權標、網類
- 二 錨帆(帆柱其他附屬品トモ)等
- 三 四日覆雨覆其他風雨雪及波浪ノ浸襲ヲ防止スル裝置
- 四 汽笛又ハ音響器
- 五 救命環其他必要ナル器具
- 第六條 船體及附屬品ハ毎年一回指定ノ場所及日時ニ検査ヲ受クヘシ
- 第七條 營業者ハ左ノ場合ニ於テハ五日以内ニ届出ツヘシ
- 一 船舶ヲ讓渡シタルトキ
- 二 廢船又ハ船體沈没シタルトキ
- 三 船掌舵夫又ハ水夫ノ失踪、逃亡、死亡其他異動アリタルトキ
- 四 一發着時間ヲ變更シタルトキ
- 五 廢業シタルトキ
- 廢船又ハ廢業シタルトキ船體検査證ヲ十日以内ニ當廳ニ返納スヘシ
- 第八條 船掌舵夫若シ水夫ノ乘ル從屬モシテハ其族籍住所氏名生年月日並原居書ヲ添へ就業前當廳ニ願出第二號雜形ノ鑑札ヲ受クヘシ營業者自ラ其業務ニ從事



第九條 遊覽船ハ船中ノ乗客ニ對シテ必要ノ警備ヲ行ハルルコトヲ要ス

第十條 遊覽船ハ船内見易キ場所ニ揭示シ置クヘシ

第十一條 遊覽船ハ左ノ場合ニ於テハ五日以内ニ當廳ニ届出書換又ハ再渡ヲ受クヘシ

一 營業許可書船體検査證又ハ船札而シテ其ノ期限満了ニ至リタルトキ

二 船體又ハ船中ノ設備等検査證又ハ船札ヲ亡失毀損シ又ハ文字不分明トナリタルトキ

第十二條 遊覽船ノ營業者死亡者ハ近シタレドモ十日以内ニ當廳ニ届出書換又ハ再渡ヲ受クヘシ

第十三條 遊覽船ノ船體又ハ船中ノ設備等検査證又ハ船札而シテ其ノ期限満了ニ至リタルトキ

第十四條 遊覽船ノ船體又ハ船中ノ設備等検査證又ハ船札而シテ其ノ期限満了ニ至リタルトキ

第十五條 遊覽船ノ船體又ハ船中ノ設備等検査證又ハ船札而シテ其ノ期限満了ニ至リタルトキ

第十六條 遊覽船ノ船體又ハ船中ノ設備等検査證又ハ船札而シテ其ノ期限満了ニ至リタルトキ

第十七條 遊覽船ノ船體又ハ船中ノ設備等検査證又ハ船札而シテ其ノ期限満了ニ至リタルトキ

第十七條 警察官吏ハ取締上必要ト認ムルトキハ何時タリトモ船内ニ臨檢シ又ハ乗船スルコトアルヘシ

第十八條 警察官吏ハ危險豫防上必要ト認ムルトキハ乗客ヲ制限シ又ハ出航時間ヲ變更シ若ハ一時出航ヲ中止セシムルコトアルヘシ

第十九條 所轄警察署ニ於テ危險豫防上必要ト認ムルトキハ船舶及發着場並寄航場ノ設備ノ改造又ハ修繕ヲ命シ若ハ之カ使用ヲ停止セシムルコトアルヘシ

第二十條 營業ニ從事スル船主船長又ハ左ノ事項ヲ遵守スヘシ

一 強ク乗船ヲ勸誘シ又ハ客引ヲ爲ササルコト

二 二十名義ノ何タルヲ問ハス賃金定額外ノ金銭ヲ請求セサルコト

三 乗客ニ對シテ傲慢不遜ノ舉動ヲ爲ササルコト

四 機關室其他危險ナル場所ニ乗客ヲ出入セシメサルコト

五 傳染病患者附添人ナキ精神病者又ハ泥酔者其他乗客ノ健康ニ害スヘキ疾患アル者ヲ乗船セシメサルコト

六 汚穢物又ハ惡臭ヲ發シ若ハ他ニ汚染ノ虞アルモノヲ客室ニ搭載セシメサルコト

七 乗客ノ承諾ナク他船ニ乗換セシメ又ハ降船セシメサルコト但シ遭難其他正當ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス

八 老幼婦女等乗船又ハ上陸ノ際ハ懇切ニ保護ヲ加フルコト



- 九 遊覽船航行以外ノ危険ノ虞ニ有テ所乗船ヲ離リテ乗降セシメサルコト
- 一〇 運送員ヲ超ヘテ乗客ヲ搭載シ又ハ正當ノ事由ナク乗船ヲ拒絕セサルコト
- 一一 運送員ニ逃走シ又ハ他船ニ就航シ又ハ二艘以上併行シテ航行セザルコト
- 一二 二艘以上連續進航スル場合ニ於テ機械力ニ依リ運轉スルモ二艘以上併行シテ航行セザルコト
- 一三 船身長五百五十間以上ノ距離ヲ保チ其他ニ在リテハ適當ノ距離ヲトリ前船ヲ追越
- 一四 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ左側ヲ通過
- 一五 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ右側ヲ通過
- 一六 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ左側ヲ通過
- 一七 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ右側ヲ通過
- 一八 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ左側ヲ通過
- 一九 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ右側ヲ通過
- 二〇 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ左側ヲ通過
- 二一 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ右側ヲ通過
- 二二 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ左側ヲ通過
- 二三 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ右側ヲ通過
- 二四 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ左側ヲ通過
- 二五 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ右側ヲ通過
- 二六 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ左側ヲ通過
- 二七 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ右側ヲ通過
- 二八 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ左側ヲ通過
- 二九 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ右側ヲ通過
- 三〇 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ左側ヲ通過
- 三一 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ右側ヲ通過
- 三二 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ左側ヲ通過
- 三三 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ右側ヲ通過
- 三四 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ左側ヲ通過
- 三五 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ右側ヲ通過
- 三六 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ左側ヲ通過
- 三七 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ右側ヲ通過
- 三八 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ左側ヲ通過
- 三九 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ右側ヲ通過
- 四〇 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ左側ヲ通過

- 第二十三條 船體船具及客用ノ供スル器具物件ハ常に清潔ヲ保ツヘシ
- 第二十四條 左ノ場合ニ速ニ所轄警察署又ハ警察官吏ニ届出ツヘシ
  - 一 臨時ニ出航シ見合有リ又ハ休業スルトキ
  - 二 船内ニ死傷者アリタルトキ
  - 三 衝突座礁又ハ船舶ノ緊要部破損シ若ハ故障ヲ生シタルトキ
  - 四 乗客行商不明トシ又ハ乗客トシテハ十八歳以上二十歳以下ノ乗客ハ
- 第二十五條 營業ニ従事スル船掌船夫及左舷各號ノ資格ヲ具備スルコトヲ要ス
  - 一 年齡滿十八歳以上ノ男子タルコト但シ十八歳未滿ノ者ト雖其業務ニ堪ユト認ム
  - 二 身體強健ナル者トシテ
  - 三 操船ノ經驗アリテ
  - 四 左舷各號ノ資格ヲ具備スルコトヲ要ス
- 第二十六條 左ノ各號ノ資格ヲ具備スルコトヲ要ス
  - 一 船身長五百五十間以上ノ距離ヲ保チ其他ニ在リテハ適當ノ距離ヲトリ前船ヲ追越
  - 二 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ左側ヲ通過
  - 三 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ右側ヲ通過
  - 四 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ左側ヲ通過
  - 五 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ右側ヲ通過
  - 六 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ左側ヲ通過
  - 七 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ右側ヲ通過
  - 八 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ左側ヲ通過
  - 九 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ右側ヲ通過
  - 一〇 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ左側ヲ通過
  - 一一 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ右側ヲ通過
  - 一二 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ左側ヲ通過
  - 一三 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ右側ヲ通過
  - 一四 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ左側ヲ通過
  - 一五 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ右側ヲ通過
  - 一六 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ左側ヲ通過
  - 一七 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ右側ヲ通過
  - 一八 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ左側ヲ通過
  - 一九 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ右側ヲ通過
  - 二〇 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ左側ヲ通過
  - 二一 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ右側ヲ通過
  - 二二 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ左側ヲ通過
  - 二三 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ右側ヲ通過
  - 二四 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ左側ヲ通過
  - 二五 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ右側ヲ通過
  - 二六 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ左側ヲ通過
  - 二七 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ右側ヲ通過
  - 二八 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ左側ヲ通過
  - 二九 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ右側ヲ通過
  - 三〇 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ左側ヲ通過
  - 三一 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ右側ヲ通過
  - 三二 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ左側ヲ通過
  - 三三 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ右側ヲ通過
  - 三四 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ左側ヲ通過
  - 三五 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ右側ヲ通過
  - 三六 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ左側ヲ通過
  - 三七 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ右側ヲ通過
  - 三八 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ左側ヲ通過
  - 三九 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ右側ヲ通過
  - 四〇 汽笛又ハ汽笛ノ音響信號等ヲ以テ合圖ヲ爲シ除行シ其ノ左側ヲ通過



第二十七條 本則又ハ本則ニ基キテ發スル命令ニ違反シ又ハ公安ヲ害シ若ハ風俗ヲ紊ルノ虞アリト認ムルトキハ營業者ニ對シテハ營業ノ停止又ハ許可ノ取消就業者ニ對シテハ就業ノ停止若ハ鑑札ノ返納ヲ命スルコトアルヘシ

第二十八條 正當ノ事由ナクシテ許可ノ日ヨリ百五十日以内ニ開業セザルトキハ許可ノ效ヲ失フモノトス

第二十九條 未成年者禁治産者ノ爲ス願届書ニハ法定代理人又ハ保佐人ノ連署ヲ要ス

第三十條 本則ニ據リ當廳ニ差出スヘキ願届ハ總テ所轄警察署ヲ經由スヘシ

第三十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ拘留又ハ科料ニ處ス

一 第三條第十三條ノ許可又ハ認可ヲ受ケス營業ヲ爲シ若ハ停止中營業ヲ爲シ又ハ就業シタル者

二 第四條第一項第五條第六條ニ違反シタル營業者

三 第十七條ノ隨檢又ハ乗船ヲ拒ミタル者及第十八條第十九條ノ制限及命令ニ従ハサル者

第三十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ科料ニ處ス

一 第七條第十二條ノ届出ヲ怠リタル者

二 第八條第九條ニ違反シタル船掌舵夫水夫

三 第十條第十一條第十四條第十五條ニ違反シタル營業者

四 第二十條乃至第二十二條ニ違反シタル者

五 第二十三條第二十四條第二號乃至第四號ニ違反シタル船掌

第三十三條 法人ヲ處罰スル場合ニ於テハ其代表者ヲ以テ被告人トス

附則

第三十四條 本則第一條第十四條第十五條第十七條乃至第二十四條ノ規定及罰則ノ他府縣ノ營業者ニシテ本縣内ニ發着場寄航場ヲ有スル者及船掌舵夫又ハ水夫ニ適用ス

第三十五條 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一號 船形 用材適宜 縱四寸横六寸厚サ三分

第二號 船形 用材適宜 縱三寸横二寸厚サ三分

船體檢査證

船名	船種	船主	船主住所	製造年月日	檢査年月日
青森縣	(帆船原動機船等ノ別)	水夫定員			
大正 年 月 日				初年 二年 三年 四年 五年 六年 七年 八年	

遊覽船營業取締規則

船名	船主住所	製造年月日
水夫	青森縣何那市町村番地	
船主	氏名	生年月日

船主住所	青森縣
製造年月日	大正 年 月 日
船主住所	青森縣

保 七〇一



●遊覽船營業取締規則施行心得

大正十一年八月八日  
訓令乙第四百四十八號

- 第一條 警察官署ニ於テ遊覽船營業取締規則(以下單ニ規則ト稱ス)第三條ノ願書ヲ受理シタルトキハ所定事項ノ外左ノ各號ヲ調査シ意見ヲ附シ願書ヲ進達スヘシ
  - 一 願人ノ性質素行及前科ノ有無
  - 二 願人ノ資産及信用程度
  - 三 事業ノ確否
  - 四 營業場、寄港場、位置ノ適否
  - 五 曾テ營業ノ許可ヲ取消アレ又ハ停止セラレタルコトナキヤ否ヤ
- 第二條 警察署ニ於テ船體検査願書ヲ受理シタルトキハ規則第四條第五條ニ依リ調査シ願書ヲ進達スヘシ
- 第三條 乘客定員ノ計算ハ一人四平方尺ヲ標準トシテ其旨警察部長ニ報告スヘシ
- 第四條 警察署ニ於テ規則第七條第十一條及第十二條ニ屆書ヲ受理シタルトキハ事實ヲ調査シ願書ヲ進達スヘシ
- 第五條 廢船又ハ廢業ニ依リ返納シタル船體検査證ハ適宜破毀シ其旨警察部長ニ報告スヘシ
- 第六條 警察署ニ於テ船主、船夫、水夫ノ職業願書ヲ受理シタルトキハ規則第八條第二十五條第二十六條所定事項ノ外左ノ各號ヲ調査シ願書ヲ進達スヘシ
  - 一 性質素行ノ良否
  - 二 前科ノ有無並遊覽船營業取締規則ニ依リ處分ヲ受ケタルコトナキヤ否ヤ
  - 三 曾テ就業ヲ停止セラレ又ハ鑑札ノ返納ヲ命セラレタルコトナキヤ否ヤ
  - 四 傳染性疾患其他嫌疑スヘキ有無
- 第六條 警察署ニ於テ規則第十三條ノ營業繼承願書ヲ受理シタルトキハ其ノ事實ヲ調査シ相續以外ノ場合ニアリテハ本心得第一條第一號乃至第三號及第五號ノ事項ヲ調査シ願書ヲ進達スヘシ
- 第七條 警察署ニ於テ毎年一回(四月又ハ五月中)日時及場所ヲ指定シ船舶及附屬品ノ定期検査ヲ行フヘシ但シ止ムヲ得サル場合ハ所轄警察署ヲシテ之カ検査ヲ爲サシムルコトヲ得
- 第八條 警察署ニ於テ規則第十九條ノ命令ヲ發セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ警察部長ニ指圖ヲ受ケル但シ急迫ノ場合ハ適當ナル措置ヲ爲シ其ノ狀況ヲ報告スヘシ
- 第九條 警察署ニ於テ規則第二十七條ニ依リ營業ノ許可ヲ取消シ又ハ營業者ハ就業ヲ停止シ又ハ鑑札ノ返納ヲ命ズル必要アリト認メタルトキ及規則第三十八條ニ該當スル場合アル場合ハ其ノ事由ヲ詳具シ警察部長ニ報告スヘシ
- 第十條 警察署ニ於テ左ノ簿冊ヲ整理シ之カ整理ヲ爲スヘシ但シ各種目毎ニ口座ヲ設ケ整理シ得

- 第一條 警察官署ニ於テ遊覽船營業取締規則(以下單ニ規則ト稱ス)第三條ノ願書ヲ受理シタルトキハ所定事項ノ外左ノ各號ヲ調査シ意見ヲ附シ願書ヲ進達スヘシ
  - 一 願人ノ性質素行及前科ノ有無
  - 二 願人ノ資産及信用程度
  - 三 事業ノ確否
  - 四 營業場、寄港場、位置ノ適否
  - 五 曾テ營業ノ許可ヲ取消アレ又ハ停止セラレタルコトナキヤ否ヤ
- 第二條 警察署ニ於テ船體検査願書ヲ受理シタルトキハ規則第四條第五條ニ依リ調査シ願書ヲ進達スヘシ
- 第三條 乘客定員ノ計算ハ一人四平方尺ヲ標準トシテ其旨警察部長ニ報告スヘシ
- 第四條 警察署ニ於テ規則第七條第十一條及第十二條ニ屆書ヲ受理シタルトキハ事實ヲ調査シ願書ヲ進達スヘシ
- 第五條 廢船又ハ廢業ニ依リ返納シタル船體検査證ハ適宜破毀シ其旨警察部長ニ報告スヘシ
- 第六條 警察署ニ於テ船主、船夫、水夫ノ職業願書ヲ受理シタルトキハ規則第八條第二十五條第二十六條所定事項ノ外左ノ各號ヲ調査シ願書ヲ進達スヘシ
  - 一 性質素行ノ良否
  - 二 前科ノ有無並遊覽船營業取締規則ニ依リ處分ヲ受ケタルコトナキヤ否ヤ
  - 三 曾テ就業ヲ停止セラレ又ハ鑑札ノ返納ヲ命セラレタルコトナキヤ否ヤ
  - 四 傳染性疾患其他嫌疑スヘキ有無
- 第六條 警察署ニ於テ規則第十三條ノ營業繼承願書ヲ受理シタルトキハ其ノ事實ヲ調査シ相續以外ノ場合ニアリテハ本心得第一條第一號乃至第三號及第五號ノ事項ヲ調査シ願書ヲ進達スヘシ
- 第七條 警察署ニ於テ毎年一回(四月又ハ五月中)日時及場所ヲ指定シ船舶及附屬品ノ定期検査ヲ行フヘシ但シ止ムヲ得サル場合ハ所轄警察署ヲシテ之カ検査ヲ爲サシムルコトヲ得
- 第八條 警察署ニ於テ規則第十九條ノ命令ヲ發セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ警察部長ニ指圖ヲ受ケル但シ急迫ノ場合ハ適當ナル措置ヲ爲シ其ノ狀況ヲ報告スヘシ
- 第九條 警察署ニ於テ規則第二十七條ニ依リ營業ノ許可ヲ取消シ又ハ營業者ハ就業ヲ停止シ又ハ鑑札ノ返納ヲ命ズル必要アリト認メタルトキ及規則第三十八條ニ該當スル場合アル場合ハ其ノ事由ヲ詳具シ警察部長ニ報告スヘシ
- 第十條 警察署ニ於テ左ノ簿冊ヲ整理シ之カ整理ヲ爲スヘシ但シ各種目毎ニ口座ヲ設ケ整理シ得



- 一 遊覽船營業許可章程 (第一號樣式)
- 二 船掌、舵夫、水夫、艦札下付臺帳 (第二號樣式)
- 三 船掌、舵夫、水夫、名簿 (第三號樣式)
- 十一 警察部ニ於テ前條各號簿冊ノ外第四號樣式ノ船體檢査證下付臺帳及第五號樣式ノ船掌、舵夫、水夫、就業停止、艦札返納處分者名簿ヲ備ヘ之カ整理ヲ爲スヘシ
- 十二 營業及就業停止期間ハ一箇月以上一年以下ニ於テスヘシ

處分年月日	處分別	住	所	氏	名	備	考

### ●道路取締令施行規則

大正十年六月七日 大正十四年三月十日  
勅令第四十八號 勅令第九號

第一條 道路取締令(以下取締令ト稱ス)第八條ニ依リ燈火ハ前方眩易キ箇所ニ之ヲ点スヘシ

- 第二條 道路ニ於テ諸車ヲ並行シ若ハ後押ノモテ進行スルコトヲ得ス但シ小兒車又ハ之ヲ類スル小車ニシテ後押ヲ爲シ裝置アル者ハ此ノ制限ニテ之ヲ得ス
- 第三條 取締令第十二條以下ノ荷車ノ輪帶幅ハ左ノ制限ニ從フヘシ  
中車 (荷台ノ面積十四平方尺以上十八平方尺未満ノモノ) 一寸五釐以上、兼合計立小車 (荷台ノ面積十平方尺以上十四平方尺未満ノモノ) 一寸以上
- 其ノ他ノ車 (荷台ノ面積十平方尺未満ノモノ) 五分以上
- 第四條 前條ノ荷車ノ積載量ハ車体ノ重量ヲ含セ左ノ制限ヲ越ユルコトヲ得ス  
中車 百五十貫目ヲ受メヘシ
- 小車 百貫目ヲ受メヘシ
- 其ノ他ノ車 五十貫目以下ノ重量ヲ受メヘシ
- 前項荷車ノ積荷ノ容積ヲ取締令第十四條第一項ノ制限ヲ越ユルコトヲ得ス
- 第五條 道路ニ於テ二輪以上ノ車輛ヲ連續シテ進行スルトキハ其ノ間相當ノ距離ヲ保ツヘシ
- 第六條 道路ニ於テ牛馬等ヲ並ニ牽キ其ノ道ヲ走ルニシテハ其ノ間相當ノ距離ヲ保ツヘシ
- 第七條 取締令第十六條ニ依リ許可書ヲ受ケムトスルモノハ左ノ事項ヲ具シ願出ヘシ  
一 住所氏名但シ法人ハ其ノ代表者ノ住所氏名  
二 積荷ノ種類重量及容積

道路取締令施行規則



三 運搬ノ儀及荷車ノ種類

四 通過路線及其口時位運搬方法

五 橋梁暗梁等ニ對スル危害豫防方法

六 荷積ノ積荷ノ容積ハ取締令第十四條第一項ノ制限ヲ超ユルコトヲ得ス

七 前項ノ容積制限ヲ超ユル物ニシテ分割スヘカラサル場合ハ前條ノ事項ヲ具シ出發地

八 警察署ノ許可ヲ受テハシテハ車路ヲ塞グル事ヲ得ス

九 前二條ニ依リ許可ヲ受ケ運搬スル場合ハ許可証ヲ携帯スヘシ

十 前項ノ許可証ハ警察官吏ノ求メアリタルトキハ之ヲ提示スヘシ

十一 左ノ場合ニ於テハ其ノ目的場所日時期間方法及通過スヘキ路線ヲ具シ所轄警察署ニ願出テ許可ヲ受クヘシ

一 道路ニ神輿山車又ハ踊屋台ノ類ヲ出シ又ハ進行セムトキハ

二 取締令第十六條ニ依ルモノヲ除クノ外道路ヲ經テ建物ヲ移轉シ又ハ道路ニ於テ長大ノ物件ヲ運搬セントスルトキハ

十一 許可ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外交通頻繁ナル道路ニ於テ多數人ノ集合行立

十二 行爲ヲ爲シ又ハ爲ラシムヘカラヌ事ニ對シテハ

十三 道路ニ於テ荷造荷解其ノ他ノ作業ヲ爲スヘカラヌ但シ交通稀疎ノ場所又ハ警察官吏ノ承認ヲ得タルトキハ此ノ限ヲニ在ラス

十四 警察官吏ノ承認ヲ得タルトキハ此ノ限ヲニ在ラス

第十三條 道路ニ沿ヒタル屋根、物干、窓、手摺等ニ物ヲ置クトキハ墜落ヲ防クニ必要ナル装置ヲ爲スヘシ

第十四條 道路又ハ道路ニ沿フ井戸、溜水池等ニハ所有者又ハ管理者ハ其ノ周圍ニ堅固ナル柵ヲ設クル等危険ヲ豫防スルニ必要ナル装置ヲ爲スヘシ

第十五條 道路ニ突出シ交通ノ妨害トナルヘキ竹木類ハ之ヲ剪除スヘシ

第十六條 道路ニ陶器、硝子ノ破片、貝殻其ノ他交通上危険ナル物件ヲ投棄スヘカラヌ

第十七條 (削除)

第十八條 (削除)

第十九條 屋上ヨリ道路ニ雪ヲ卸ストキハ通行ノ妨害ト爲ラサル様措置ヲスヘシ

第二十條 (削除)

第二十一條 荷牛馬車ノ所有者ハ其ノ住民名生年月日ヲ刻シタル附録第一號様式ノ具

第二十二條 荷牛馬車ノ所有者又ハ使用者ハ左ノ各號ヲ遵守スヘシ

一 第二十一條ニ規定スル札ヲ附キタル荷牛馬車ヲ使用セザルコト

二 使用ノ馬ハ其ノ頸部ニ警鈴ヲ附スルコト

三 狂躁ノ惡癖又ハ疾病アリテ牛馬ヲ使用セザルコト

道路取締令施行規則

保 七〇七



第二十二條 荷牛馬車ハ三尺以内ニ於テ口綱ヲ取ルヘシトシ取者モ設アルモノハ此

第二十三條 荷牛馬車ハ三尺以内ニ於テ口綱ヲ取ルヘシトシ取者モ設アルモノハ此

第二十四條 十八歳未満ノモノ牛馬車ノ取車トナリ又ハ十四歳未満ノ者荷牛車ヲ牽キ

第二十五條 荷馬車ニハ特別ノ理由アル場合ノ外市街地及交通頻繁ナル場所ニ於テハ

第二十六條 荷車ノ構造設備充勢ナラヌト認ムル時ハ改造若ハ修繕ヲ命シ又ハ使用

第二十七條 荷車積載量取締令第十三條及本則第四條ノ制限内ナルトキト雖モ警察官

第二十八條 第二條第四條乃至第六條第九條乃至第十四條第十六條第二十二條乃至第

第二十九條 違反シ或ハ者第三條ハ規定ニ依テナル荷車ヲ使用シ若シ警察

第三十條 注意ヲ受ケ仍ホ第十五條及第十九條ノ規定ニ違反シ又ハ第二十六條第二十七

第四十條 本則第一條第二條第五條第二條乃至第七條及第七條ノ規定ニ

荷橋子之ヲ準用スルニ要スルニ依リて取車トシテ注意スルコト

第三十條 注意ヲ受ケ仍ホ第十五條及第十九條ノ規定ニ違反シ又ハ第二十六條第二十七

本令ハ公布ノ日ヨリ施行スルニ依リて注意スルコト

昭和五年一月二十二日 運輸大臣 岡田 啓介

本令ハ公布ノ日ヨリ施行スルニ依リて注意スルコト

昭和五年一月二十二日 運輸大臣 岡田 啓介

本令ハ公布ノ日ヨリ施行スルニ依リて注意スルコト



●道路占用許可ニ關スル件 大正十年六月八日 發令第一二三號

今回縣令第四八號ヲ以テ道路取締令施行規則發布相成候處之カ施行ニ關シテハ左記ニ依リ取扱相成度尙ホ道路占用ニ就テハ市町村長ニ對シ別紙寫ノ通り通牒致置候ニ付相互連絡ヲ取り交通取締完全ヲ期スルコトニ努メラカヘシニ期スルハ本令ニ依リ本縣官廳下記ノ事項ニ準ジテ之ヲ行フ

- 一 道路占用ノ許可ハ道路法第二十八條ニ依リ管理者ニ屬シタリト雖交通取締上ノ目的ニ依リ更ニ警察ノ許可ヲ受シムルノ權限ヲ排除シタルモノニ之ナキモ民衆ヲシテ管理者及警察署ノ重複許可ヲ受ケシムル如キハ彼是煩累ニ涉ルヲ以テ從來街路ノ使用ニ付警察署ノ許可ヲ受ケシメタルヲ廢シ管理者ヲシテ許可セシムルコトト爲シタルニ依リ管理者ト連絡ヲ取り交通取締上支障ナカラシムルコト
- 本二 前記ノ如ク道路占用ニ關スル警察許可ハ之ヲ廢セルモ無斷占用者ニ對スル取締ニ付テハ道路法第五十六條ノ罰則ヲ適用スヘキ儀ニ付取締上過誤ナキ様注意セラルル事
- 本三 從來四輪車ノ荷牛馬車ハ後車輪ノ内方ハ前車輪軌轍ノ外方一寸ヲ重踏スヘキ規定ナリシモ其ノ必要ナキニ依リ取締上注意スルコト
- 本四 施行規則第三條ニ規定セル前車ノ輪帶幅ハ道路取締令附則ノ規定ニ依リ大正十

五年末迄使用シ得ヘキモ本令施行後新ニ製スルモノハ總テ本令ノ制限ニ從ハシムルコト

五 荷車ノ検査ニ就テハ當分從來ノ荷車取締規則施行心得ニ依リ之ヲ施行シ取締上不都合ナキヲ期スルコト

●國道縣道ノ道路及其ノ附屬物占用規程 大正四年七月八日 縣令第六十號

第一條 道路法第二十八條第一項ノ規定ニ依リ國道縣道ノ道路又ハ其ノ附屬物ヲ占用セムトスルモノハ本規程ニ依リ願書ニ左記事項ヲ記載シ當該土木管區事務所ヲ經由シテ許可又ハ承認ヲ受クヘシ

- 一 占用道路ノ種類及路線名
- 二 占用場所(字名地先等)ヲ記入スヘシ
- 三 占用ノ區域面積又ハ設スヘキ工作物ノ種類數量(電柱ハ基數廣告板其ノ他之ヲ類似ノモノハ板面積ヲ記入スヘシ)但長何程幅何程
- 四 占用期間 自何年何月何日 至何年何月何日 何年何月(又ハ何日)
- 五 占用料金年額(月額)何程但壹坪(一木又ハ一箇所板面)ニ付何程(無料ニテ占用セムトスルモノハ其ノ理由)
- 六 道路占用許可ニ關スル件 國道縣道ノ道路及附屬物占用規程 保 七二二



六 占用ノ目的

七 占用ノ方法

八 其ノ他必要ナル事項

第二條

一般圖(縮尺適宜トシ)占用區域ノ大體並他ノ工作物トノ關係ヲ表示シ且附近地狀況ヲ知ルニ足ルヘキモノトス

三

實測圖(縮尺六百分ノ一以上トシ)市町村ノ字界地番及占用區域ノ面積長及幅等ヲ記入スルモノトス電柱街燈線門ノ類ハ基數、廣告板、其ノ他ニ類スルモノハ板面坪ヲ圖面ノ餘白ニ記載スルモ但電柱ノ專用ニシテ長距離ニ亘ルモノハ前條ノ

三

一般圖ニ其ノ位置ヲ表示シ本圖ヲ相當者略スルコトヲ得又其ノ關係等ヲ占用スルモノハ前條外設計書及施設物ノ構造ヲ知ルニ足ルヘキ圖面ヲ添付スヘキ

四

公共團體又ハ公共組合ニ於テ出願ノ場合ハ關係議會ノ決議書寫ヲ添付スヘシ

五

占用ノ許可又ハ承認ヲ得タルモノニ於テ其事項ヲ變更セムトスルトキハ前各條ニ準據シ更ニ出願スヘシ

六

占用期間ハ特別ノ事由アルモノヲ除クノ外五箇年以内トス占用期間満了シタルトキ又ハ占用ヲ廢止シタルトキハ其ノ占用前ノ原狀ニ回復シ其ノ旨三箇月以内官署請士

水管區事務所ニ届出テ検査ヲ受クヘシ但シ原狀回復ノ必要無シト認ムルトキハ既設工作物及地盤ノ全部若ハ一部ヲ現形ノ儘存置セシメ工作物ハ無償ニテ官有ト爲スコトアルヘシ

七

占用ノ許可又ハ承認ヲ得タルモノニ於テ占用ヲ繼續セムトスルモノハ占用期間満了前其ノ事由ヲ具シ出願スヘシ

八

占用ヲ許可又ハ承認シタルトキハ占用料ヲ徵收ス但左ノ各號ノ一ニ該當スル占用ニ付テハ占用料ヲ徵收セサルコトアルヘシ

一

直接公用ニ供シ又ハ直接公共ノ利益トナルヘキ施設物ニ依ル占用ナルトキ

二

公共ノ利益トナルヘキ公共團體又ハ公共組合ノ施設ニ依ル占用ナルトキ

三

臨時ノ占用ニシテ輕易ノモノナルトキ

四

灌溉排水及飲料水引用ノ爲メニスル施設物ニ依ル占用ナルトキ

五

家屋出入口ノ道路ノ爲ニスル施設物ニ依ル占用ナルトキ

六

道路法第五十二條第四號及第五號ニ該當シ必要ヲ生シタルトキ

七

其ノ他特別ノ事由ニ依リ占用料ヲ徵收スルノ必要ナシト認ムルトキ

第九條

占用料ハ指定ノ期間内ニ納付スヘシ但其ノ手續ニ關シテハ別ニ之ヲ定ム

第十條

既納ノ料金ハ道路法第五十一條ニ依リ處分ヲ爲シタル場合又ハ占用者ノ都合ニ依リ其ノ占用ヲ停止シ若ハ廢止スルコトアルモノ之ヲ減額又ハ還付セズ但道路法第五十一

國道縣道ノ道路及附屬物占用規程



條第五號又ハ第五號ノ一ニ該當シ其ノ許可承認ヲ取消シ其ノ場合ハ其ノ翌月又ハ翌日ヨリ之ヲ免除スルコトアルヘシ

第十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル占用地周圍ノ境界ニ標杭ヲ打込ミ縣ノ指定スル標識ヲ占用地内ノ見易キ場所ニ建設スヘシ

一 宅地又ハ家屋建設ノ目的ニ依ルテ占用ナルトキ

二 植物栽培ノ目的ニ依ルテ占用ナルトキ

三 一箇年以上ニ亙ル物置場ノ目的ニ依リテ占用ナルトキ

第十一條 占用ノ爲必要ヲ生シタル道路ニ關スル工事ハ占用者ヲシテ之ヲ執行セシメ其ノ費用ハ總テ占用者ノ負擔トス

第十二條 左ノ場合ニ於テハ許可又ハ承認ハ其ノ效力ヲ失フ

一 占用者死亡シタルトキ

二 占用期間満了ノトキ

三 占用廢止ノ届出ヲ爲シタルトキ

四 占用ノ許可又ハ承認ヲ受ケタル法人解散シタルトキ

第十三條 許可又ハ承認ヲ得タル占用ノ權利義務ハ許可ヲ受クルニアラザレハ他ニ移轉スルコトヲ得ス但相續ニ因リテ占用ヲ繼承セムトスルモ其ノ承継者ハ其ノ承継手續ヲ受クヘシ

第十四條 占用ノ許可ヲ受ケタルモノ其ノ住所又ハ氏名ヲ變更シタルトキ若ハ第十二條第四號ノ場合ハ遲滞ナク其旨届出ツヘシ

第十五條 期間三十日以上ニ亙ル占用ノ爲ニスル施設工事ノ著手又ハ竣工ハ當該土木管區事務所ニ届出テ管區吏員ノ指揮監督並検査ヲ受クヘシ

第十六條 許可又ハ承認ヲ受ケタルモノハ前各條ニ規定スルモノノ外道路ニ關スル法令ノ規定其ノ他許可ニ附シタル條件ヲ遵守スヘシ

附 則

第十七條 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十八條 道路及其ノ附屬物ノ占用ニシテ輕易ナクモノ又ハ期間三十日ヲ超ヘサルモノニ對シテハ第一條ノ各號乃至第三條ノ規程ニ依ラシメサルコトヲ得

●國道府縣道維持並費用負擔規則

大正十四年四月二日  
縣令第二十二號

第一條 國道並府縣道ハ本令ノ定ムル所ニヨリ市街地ニ在リテハ沿道ノ居住者又ハ土地建物ノ管理者其ノ他ノ地ニ在リテハ地元市町村長ニ於テ道路ノ維持ヲ爲スヘシ前項道路ノ維持ニ要スル費用ハ市街地ニ在リテハ道路ノ維持ヲ爲スヘキ者其ノ他ノ地ニ在リテハ道路ノ維持ヲ爲スヘキ市町村長ノ轄轄スル公共團體之ヲ負擔スヘシ

國道府縣道維持並費用負擔規則



道路管理者必要アリト認ムルトキハ前二項ノ規定ニ拘ラヌ自ラ之ヲ爲シ又ハ他ノ者ヲシテ爲サシムルコトアルヘシ

第二條 市街地ノ沿道ノ居住者又ハ土地建物ノ管理者ノ爲スヘキ道路ノ維持ハ左ノ通トス

- 一 路面ノ掃除
- 二 路面ノ撒水及溜水排除
- 三 路面ノ雪踏及除雪
- 四 側溝ノ浚深
- 第三條 地元市町村長ノ爲スヘキ道路ノ維持ハ左ノ通トス
  - 一 路面ノ掃除
  - 二 路面ノ除草
  - 三 耳芝ノ整理
  - 四 側溝ノ浚深
  - 五 路傍ノ雜草木ノ刈拂
- 第四條 市街地ノ沿道ノ居住者又ハ土地建物ノ管理者ノ道路ノ維持ヲ爲スヘキ區域ハ左ノ區分ニ依ル
  - 一 道路ノ兩側ニ家屋其他ノ建物アルトキハ居住者又ハ建物ノ管理者ハ其ノ家屋建

- 二 道路ノ片側ニ家屋其他ノ建物アルトキハ居住者又ハ建物ノ管理者ハ其ノ家屋建物ノ前面道路ノ全部ヲ負擔スヘシ
- 第五條 市町村長ノ道路ノ維持ヲ爲スヘキ區域ハ道路管理者ノ定ムル市街地地域ノ外當該市町村長ノ統轄スル行政區劃ニ依リ之ヲ區分ス但シ行政區劃ノ境界ニ係ル道路ニ在ラハ關係市町村長ノ協議ニ依リ道路管理者ノ承認ヲ得テ維持ヲ爲スヘキ者維持ヲ爲スヘキ區間及費用負擔ノ所屬ヲ定ムルコトヲ得協議關ハサルトキハ道路管理者ノ指揮ヲ請フヘシ
- 第六條 市街地ノ沿道ノ居住者又ハ土地建物ノ管理者ハ左ノ各號ニ依リ維持ヲ爲スヘキ
  - 一 路面ハ毎日一回以上掃除スヘシ
  - 二 炎天風日ニシテ塵埃土砂飛散シ若ハ風散ノ虞アルトキハ撒水スヘシ但シ汚水ヲ撒布スルコトヲ得ス
  - 三 積雪一尺以内ハ午前八時迄ニ午前八時後日没迄ノ降雪ハ時時路面ノ雪踏又ハ除雪ヲ爲スヘシ但シ降雪多量ノトキハ道路中央部全幅員三分ノ一以上ヲ開キ其ノ面ヲ平坦ニシ隣接路面ト高ナラシムヘシ
  - 四 非常ノ降雪又ハ融雪等ノ場合ハ當該官吏ノ指揮ニ從ヒ道路ノ除雪ヲ爲スヘシ



五 降雨其他之因り積雪ノ溜水ヲ生シテ汚キハ速宜之ヲ排除スルコトヲ得

六 側溝ハ毎日一圓以上浚深ヲ爲スヘシ

第七條 市町村長ハ第三條ノ規定スル道路ノ維持ヲ毎年四月下旬九月上旬ノ二回之ヲ爲スヘシ但シ地方ノ状況ニ依リ期間内ニ維持ヲ爲スコト能ハサル事由アルトキハ道路管理業者ノ承認ヲ得テ其ノ期間ヲ變更スルコトヲ得

第八條 道路管理業者必要アリト認ムルトキハ前二條ノ規定ニ拘ラズ隨時之ヲ命スルコトヲ得

第九條 市町村長ハ道路ノ維持ヲ爲サムトスルトキハ着手ノ日ヨリ少クとも七日前ニ管轄ノ監督官ニ據リ所轄土木管區事務所ヲ經由シ道路管理業者ニ届出ヲ當該官吏ノ指揮ヲ受テ之ノ力完了シタルトキハ終了ノ日ヨリ五日以内ニ第二號書式ニ據リ前同様届出ヲ検査ヲ受テ之ヲ検査ノ結果其ノ成績不良ト認ムルトキハ再施行ヲ命スルコトヲ得

第十條 第五條ノ規定スル市町村長ノ道路ノ維持ヲ爲スヘキ區域ノ境界ハ其ノ受持管轄町村ノ境界別紙圖形ノ標本ヲ建設スヘキ事ハ並シ管區事務所ノ指示ニ依リテ之ヲ受持

(書式書略ス) 並シ之ノ全額ヲ負擔スヘシ

第十一條 並シ之ノ全額ヲ負擔スヘシ

●公共團體ニ於テ管理スル道路公園堤塘、溝渠其ノ他公共ノ用ニ供スル土地物件使用ニ關スル件

大正三年四月四日 法律第三十七號

第一條 公共團體ニ於テ管理スル道路、公園、堤塘、溝渠其ノ他公共ノ用ニ供スル土地物件ヲ濫ニ使用シ又ハ許可ノ條件ニ反シテ使用スル者ニ對シ管理業者タル行政廳ハ地上物件ノ撤去其ノ他原狀回復ノタメ必要ナル措置ヲ命スルコトヲ得

第二條 前條ノ場合ニ於テハ行政執行法第五條及第六條ノ規定ヲ準用ス

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●土木管區規程

明治三十一年四月 明治三十三年四月 本縣達第二十三號 縣達第二〇號

第一條 土木事業施行及監督ノ爲メ郡市ヲ分畫シテ四土木管區トシ其ノ區域左ノ如ク

第一管區 東津輕郡、上北郡ノ内野邊地町、横濱村、下北郡、青森市

第二管區 西津輕郡、北津輕郡

公共團體ニ於テ管理スル道路公園堤塘、溝渠其ノ他公共ノ用ニ供スル土地物件使用ニ關スル件 土木管區規程 保 七一八



- 第三管區 中津輕郡、南津輕郡、弘前市
- 第四管區 上北郡(野邊地町、横濱村ヲ除ク)三戸郡
- 第二條 各土木管區ニ土木管區事務所ヲ置ク其位置ハ別ニ之ヲ定ム
- 第三條 各土木管區ニ左ノ職員ヲ置ク  
管區長 管區員 補助員
- 第四條 管區長、管區員及補助員ハ土木掛員ヲ以テ之ニ充ツル
- 第五條 管區長ハ上官ノ指揮監督ヲ承ケ事務ヲ擔任シ所屬職員ヲ指揮ス
- 第六條 管區長ハ管區内ノ土木事業ヲ監視シ利害得失ヲ調査シ知事ニ報告ス
- 第七條 管區長事故アルトキハ上席管區員其ノ職務ヲ代理ス
- 第八條 管區員ハ管區長ノ指揮ヲ承ケ事務ヲ分掌ス
- 第九條 補助員ハ上官ノ指揮ヲ受ケ事務ニ從事ス
- 第十條 土木事業ニシテ特ニ施行及監督ヲ必要ト認ムルトキハ第一條ノ區域ニ依ラザルコトヲ得

●土木管區處務規程

明治三十六年三月十八日  
青森縣第十一號

第一章 總則

- 第一條 管區長ハ所員ノ受持方面及擔任工場ヲ指定スヘシ
- 前項ノ指定ハ三日以内ニ報告スヘシ
- 第二條 管區長ハ配當豫算額内ニ於テ工夫ノ命免ヲ具申シ指揮監督ノ責ニ任ス
- 第三條 管區長ハ隨時區内ヲ巡視シ所管ノ河川港灣道路橋梁等ノ維持保存ニ注意シ若シ障害ヲ加フル者アルトキハ其ノ筋ニ告發シ其ノ旨上申スヘシ
- 第四條 他管區ニ關聯スル事項ハ關係管區長協議スヘシ若シ意見ヲ異ニスルトキハ指揮ヲ調フヘシ
- 第五條 管區長轉勤ヲ命セラレタルトキハ後任者ハ書類ヲ引繼キ連署ノ上報告スヘシ
- 第六條 所員管區外ニ出張ヲ要スルトキハ其ノ事由ヲ開申シテ指揮ヲ請フヘシ
- 第七條 管區長ハ其ノ主管ノ事務ニ就キ官氏名ヲ以テ本縣所屬官衙、公署及工事關係者ト文書ノ往復ヲ爲コトヲ得

第二章 設計

- 第八條 翌年度ニ於テ施行ヲ要スル工事ノ設計書ハ六月三十日限リ進達スヘシ但圖面及説明ヲ要スヘキモノハ之ヲ添付スヘシ
- 第九條 其ノ年度ニ於テ施行スヘキ工事ハ配當豫算ニ基キ成ルヘク十一月限リ完了ノ日付ヲ以テ施設ノ緩急ヲ計リ實施設計書ヲ進達シテ指揮ヲ請フヘシ
- 特別ノ條件ヲ付シ契約スルノ必要アリト認ムルモノ又ハ特ニ隨意契約ニ依ルノ必要

土木管區處務規程







第二十三條 工事ノ狀況ハ十日毎ニ報告(第十一號書式)ヲヘシ但履行期間十日ニ滿タ  
 第二十四條 工事完成シタルトキハ竣工明細書(第十二號書式)ヲ作り第二十條ノ帳簿  
 第二十五條 管區事務所ニ於テ執行スル競争入札ハ所員貳名以上立會開札スヘシ但所  
 第二十六條 請負契約ヲ締結シタルトキハ報告書(第十三號書式)ニ左ノ書類ヲ添ヘ進  
 第二十七條 請負人ハ指名人入札ニ付シタルモノハ開札一覽表(第十四號書式)入札書、契約  
 第二十八條 設計外ニ涉リ請負人ニ指揮スルコトヲ得ス(第十五號書式)ニ施工順序圖書(第  
 第二十九條 設計外ニ涉リ請負人ニ指揮スルコトヲ得ス(第十六號書式)ニ施工順序圖書(第  
 第三十條 設計外ニ涉リ請負人ニ指揮スルコトヲ得ス(第十七號書式)ニ施工順序圖書(第  
 第三十一條 設計外ニ涉リ請負人ニ指揮スルコトヲ得ス(第十八號書式)ニ施工順序圖書(第  
 第三十二條 設計外ニ涉リ請負人ニ指揮スルコトヲ得ス(第十九號書式)ニ施工順序圖書(第  
 第三十三條 設計外ニ涉リ請負人ニ指揮スルコトヲ得ス(第二十號書式)ニ施工順序圖書(第  
 第三十四條 設計外ニ涉リ請負人ニ指揮スルコトヲ得ス(第二十一號書式)ニ施工順序圖書(第  
 第三十五條 設計外ニ涉リ請負人ニ指揮スルコトヲ得ス(第二十二號書式)ニ施工順序圖書(第

第二十三條 工事ノ狀況ハ十日毎ニ報告(第十一號書式)ヲヘシ但履行期間十日ニ滿タ  
 第二十四條 工事完成シタルトキハ竣工明細書(第十二號書式)ヲ作り第二十條ノ帳簿  
 第二十五條 管區事務所ニ於テ執行スル競争入札ハ所員貳名以上立會開札スヘシ但所  
 第二十六條 請負契約ヲ締結シタルトキハ報告書(第十三號書式)ニ左ノ書類ヲ添ヘ進  
 第二十七條 請負人ハ指名人入札ニ付シタルモノハ開札一覽表(第十四號書式)入札書、契約  
 第二十八條 設計外ニ涉リ請負人ニ指揮スルコトヲ得ス(第十五號書式)ニ施工順序圖書(第  
 第二十九條 設計外ニ涉リ請負人ニ指揮スルコトヲ得ス(第十六號書式)ニ施工順序圖書(第  
 第三十條 設計外ニ涉リ請負人ニ指揮スルコトヲ得ス(第十七號書式)ニ施工順序圖書(第  
 第三十一條 設計外ニ涉リ請負人ニ指揮スルコトヲ得ス(第十八號書式)ニ施工順序圖書(第  
 第三十二條 設計外ニ涉リ請負人ニ指揮スルコトヲ得ス(第十九號書式)ニ施工順序圖書(第  
 第三十三條 設計外ニ涉リ請負人ニ指揮スルコトヲ得ス(第二十號書式)ニ施工順序圖書(第  
 第三十四條 設計外ニ涉リ請負人ニ指揮スルコトヲ得ス(第二十一號書式)ニ施工順序圖書(第  
 第三十五條 設計外ニ涉リ請負人ニ指揮スルコトヲ得ス(第二十二號書式)ニ施工順序圖書(第

第二十九條 工費内渡ノ請求書ヲ受理シタルトキハ現出來形ヲ検査シ証明書(第十五  
 第三十條 請負人契約ノ條項ニ違背シ處分ヲ要スルトキハ其ノ事由ヲ内務部長ニ申告  
 第三十一條 工事ノ竣工又ハ工用品完納期限ノ延期ヲ出願スル者アルトキハ事實ヲ  
 第三十二條 工事又ハ工用品擔保期間中ハ隨時臨檢シ其ノ改築、交換又ハ修理ノ必  
 第三十三條 工事請負人ヨリ器具、機械ノ借用ヲ出願シタルトキハ意見ヲ付シ進達ス  
 第三十四條 工用品ハ總テ使用前ニ検査シ合格品ニハ後日認識シ易キ部分ニ檢證ヲ  
 第三十五條 工用品ハ總テ使用前ニ検査シ合格品ニハ後日認識シ易キ部分ニ檢證ヲ



十應五百圓以上ノ請負工事ノ用品検査ハ第三十六條第二項ニ依リ報告スヘシ  
 合格品ニシテ請負工事ニ使用スルモノハ検査簿(第十六號書式)ニ供給請負ニ依ルモ  
 第三十五條ニ依リ又ハ地下ニ於ケル工事若ハ竣工後外面ヨリ検査スルヲ得サル工事又  
 ハ「モルター」「コンクリート」ノ如キ二種以上ノ混成物ニシテ其ノ配合ノ方法ニ依リ  
 第三十六條ノ工事竣工検査及工事用品完納検査ハ管區長ニ於テ執行スヘシ  
 検査ヲ執行セシムルキキハ其ノ期日ヨリ少クとも五日前ニ申報(第十八號書式)ス  
 第三十七條 竣工検査ニ際シ工事ノ機材ヲ取毀ツノ必要アリト認メタルトキハ其ノ事  
 由ヲ詳具シ指揮ヲ請フヘシ  
 第三十八條 竣工検査ニ際シ工事ヲ不適合ト認メタルトキハ日時ヲ期シ修築、改築ヲ  
 命ジ兼工費限ノ請書ヲ徴シ其ノ事由ヲ具シ進達スヘシ  
 第三十九條 工事ノ竣工用品完納ノ検査ヲ了シタルトキハ竣工若ハ完納報告  
 書(第十九號書式)ニ工事用品検査簿若ハ検査簿、竣工若ハ完納届書代金請求書、竣  
 工若ハ完納調書及保證金ヲ添付シ進達スル事ニ依リテ進達シテ完納書(第二十號書式)

第六章 監督

第四十條 那市町村其ノ他公共團體ニ於テ施行スル工事ハ隨着臨檢シ其ノ進否ヲ觀察  
 シ意見アルトキハ管理者ニ注意スヘシ

第四十一條 管區長ハ工事ノ精粗工程ノ進否等ヲ監査シ竣工後修築若ハ改築セシムル  
 カ如キ口トナカシムヘシ

第七章 雜則

第四十二條 天災事變ノ爲メ河川港灣道路橋梁等ニ急破ヲ生シタルトキハ其ノ實況ヲ  
 急報スヘシ若シ交通ヲ杜絶シ又ハ危險ヲ虞ケルトキハ所轄那市町村長ニ協議シ臨機  
 ノ處置ヲナスヘシ

第四十三條 工事又ハ工事品ニ損害ヲ生シタルトキハ速ニ之カ調査ヲ遂ケ報告スヘシ  
 第四十四條 工事ノ施行ヲ中止スル必要アルトキハ其ノ事由並ニ期間ヲ申告シテ指揮  
 ヲ受テ之ヲ退却指示受クルノ暇ナキトキハ處分ノ上其事由ヲ即報スヘシ

第四十五條 工事施行ノ爲メ通行ヲ禁止シ又ハ一時換道ヲ通行セシメントスルトキ若  
 第四十六條 工事ノ治安ヲ保持スル爲メ必要アリトキハ所轄警察署ニ協議スヘシ



第四十七條 前月中ニ於ケル工事ノ狀況ハ毎月五日限リ報告(第二十號書式)スヘシ但

緊急重要ノ事件ハ即報スヘシ

第四十八條 管區事務所ニハ左ノ簿冊ヲ備ヘ置クヘシ但前年ノ出勤簿及日誌ハ毎年一

月十日迄ニ送付スヘシ

一 文書收受、發送簿

一 豫算差引簿

一 工事臺帳(第二十二號書式)

一 器具機械臺帳(第二十二號書式)

一 備品臺帳(第二十二號書式)

一 出勤簿

一 日誌(第二十二號書式)

一 請負契約結締簿(第二十七號書式)

一 公文書綴其他必要ナル簿冊

第四十九條 工所用殘品及工事ノ爲メ生シタル不用物件ハ工事竣工後七日以内ニ報告

(第二十四號書式)スヘシ

第五十條 其ノ年度ノ工事ヲ完了シタルトキハ工事竣工調書(第二十五號書式)及豫算

實施對照表(第二十六號書式)ヲ翌年度四月十日迄ニ進達スヘシ

第五十一條 所員ノ住所ハ届出ヘシ

第五十二條 所員疾病其ノ他ノ事故ニ由リ職務ヲ不能トシタリキハ其ノ旨届出スヘシ

管區員及補助員ノ届書ニハ管區長認印スヘシ

第五十三條 休日ハ三ヶ大節大祭日及三月三十一日ニ限リ

附 則

第五十四條 明治三十二年本條第三十條第十條ニ依レル場合ニ於テ此ノ規程ヲ準

用ス(様式省略ス)

一 職階階級

一 職階階級

●土木管區處務規程第四十五條ニ關スル件

明治三十七年二月十七日

土木管區處務規程第四十五條ニ關シ今回内務部長ヨリ各土木管區長ニ對シ左記ノ通リ

通牒相成候條御心得ノ爲メ此段及通牒候也

一 通行禁止ニシテ臨時急施ヲ要シ警察署ニ通知スルノ暇ナキトキハ青森縣ノ名ヲ以

テ適宜通行ヲ禁止シ其ノ旨警察署ニ通知スル

一 前項ノ場合ノ外ハ左ノ文例ノ通知ヲ爲スヘシ……通行ヲ禁止スルノ(換道ヲ通行

セシムル)

土木管區處務規程第四十五條ニ關スル件

保 七二九



●修路工夫規程

大正六年五月三十一日 大正一五年訓令甲第六號  
昭和五年一月第三號改正

- 第一條 修路工夫ハ縣費支辨道ニ之ヲ置キ道路橋梁ノ保護及小破修繕ノ業務ニ從事セシム
- 第二條 修路工夫ハ内務部土木課ニ隸屬シ土木出張所吏員ノ指揮監督ヲ受ク
- 第三條 修路工夫ノ受持區域ハ別ニ之ヲ定ム
- 第四條 修路工夫ハ受持區域内ニ住居シ毎日其區域内ヲ巡回シ業務ニ従事スルモノトス

第五條 修路工夫ノ業務左ノ如シ

- 一 通路橋梁溝渠等ノ保護ヲ主トシ小破ヲ生シタルトキハ速ニ修繕ヲ加ヘ大破ニ至ラレシメタルハ注意スヘシ
- 二 橋梁ノ前後ニ空隙凹所又ハ路面ノ泥濘車堀等ヲ生シタルトキハ速ニ砂利ヲ以テ補修スヘシ
- 三 路面ニ凹所ヲ生シ又ハ土石崩落シタルトキハ其凹凸ヲ切均シ崩落土石ハ妨ケナシ
- 四 降雨又ハ融雪ノ爲メ路面ニ水流又ハ水溜ヲ生シタルトキハ道形ヲ損セサル様注意ス

五 路側ノ下水溝及橋梁暗渠樋管等ニ土芥其他支障物流込ミ疏通惡キトキハ速ニ浚

六 融雪ノ候ハ雪塊ヲ排除シ路面ヲ乾燥セシムル權努ムヘシ

八 築立法及竝木ヲ害スル草木ハ時々伐伐スヘシ

九 出橋梁張板反リ踏ミ抜キ穴等小破ヲ生シタルトキハ相當材料ヲ以テ補修スヘシ

一〇 道路ニ生スル雜草又ハ藁靴其他塵芥等ハ速ニ取除クヘシ

一一 道路ニ浚揚土、肥土、肥草、薪木、稻草等ノ類ヲ積ミ置クトキハ速ニ持主又ハ關係人ニ取除方ヲ求ムヘシ

一二 積雪或ハ吹寄ノ爲メ往來ニ支障アルトキハ速ニ切開クヘシ

一三 常ニ竝木ノ保護ニ注意シ皮剝又ハ根燒等ノ被害ヲ豫防スヘシ

一四 八道路橋梁樋管及竝木等ニ對シ保存上障害トナルヘキ所爲ヲ認ムルトキハ直ニ之ヲ制止シ其ノ住姓名ヲ聞取リ其ノ願末ヲ最寄駐在警察官吏ニ通報スヘシ

一五 道路橋梁等ハ破損シ難易ノ修繕ニ止マラサルトキハ速ニ土木出張所ニ報告スヘシ

一六 竝木其他樹木路邊ニ倒レ往來ノ妨害ヲ爲ストキハ交通上差支ナキ様相當ノ手



- 一六 配筋施し置架土敷出張所ニ報告スル者
- 一七 暴風雨ノ爲メ落橋其他交通上危険ノ虞アルトキハ其實況ヲ最寄駐在警察官吏
- 一八 急務修繕土木出張所ニ連絡スルハ
- 一九 橋梁ニ舟筏等ヲ懸架スル橋下ニ水石類ヲ積置キタル者其ノ其ノ行爲者又ハ關係
- 二〇 町村ニ於テ交通遮断ヲ施行スル際ハ實地ニ臨ミ道路保護上不良ト認ムルモノ
- 二一 用惡水踏ミ多量ノ水ヲ引入レ爲メニ道路ニ障害ヲ與フル虞アリト認ムル場合
- 二二 働人ニ注意シ適當ノ方法ヲ取ルベシトシテハ
- 二三 働人ニ使役シテハ其ノ他ノ材料ハ其必要ニ應ジテ
- 二四 働人ニ使役シテハ其必要ニ應ジテ
- 二五 働人ニ使役シテハ其必要ニ應ジテ
- 二六 働人ニ使役シテハ其必要ニ應ジテ
- 二七 働人ニ使役シテハ其必要ニ應ジテ
- 二八 働人ニ使役シテハ其必要ニ應ジテ
- 二九 働人ニ使役シテハ其必要ニ應ジテ
- 三〇 働人ニ使役シテハ其必要ニ應ジテ
- 三一 働人ニ使役シテハ其必要ニ應ジテ
- 三二 働人ニ使役シテハ其必要ニ應ジテ
- 三三 働人ニ使役シテハ其必要ニ應ジテ
- 三四 働人ニ使役シテハ其必要ニ應ジテ
- 三五 働人ニ使役シテハ其必要ニ應ジテ
- 三六 働人ニ使役シテハ其必要ニ應ジテ
- 三七 働人ニ使役シテハ其必要ニ應ジテ
- 三八 働人ニ使役シテハ其必要ニ應ジテ
- 三九 働人ニ使役シテハ其必要ニ應ジテ
- 四〇 働人ニ使役シテハ其必要ニ應ジテ

- 第八條 修路工夫ノ休業日左ノ如シ
  - 一 夫休日
  - 二 父母休日
  - 三 父母休日
  - 四 父母休日
  - 五 父母休日
  - 六 父母休日
  - 七 父母休日
  - 八 父母休日
  - 九 父母休日
  - 十 父母休日
  - 十一 父母休日
  - 十二 父母休日
  - 十三 父母休日
  - 十四 父母休日
  - 十五 父母休日
  - 十六 父母休日
  - 十七 父母休日
  - 十八 父母休日
  - 十九 父母休日
  - 二十 父母休日
- 第九條 修路工夫疾病其他止ムヲ得タル事故ノ爲メ業務ニ従事シ能ハサル時ハ豫メ相
- 第十條 修路工夫ハ平常業務ヲ行ハシテ工事受負人等ト狎狎スヘカラネ
- 第十一條 修路工夫平常業務ニ勉勵シ實績顯著ナルモノハ賞與アルヘシ
- 第十二條 修路工夫ノ給料日給トス
- 第十三條 修路工夫業務ヲ怠リ或ハ第九條ノ手續ヲ爲サ、ルモノハ給料ヲ減額シ又ハ
- 第十四條 修路工夫ニハ業務上使用ノ爲メ左ノ器具ヲ貸與ス
  - 一 荷車一臺
  - 二 鋸一個
  - 三 鋤一個
  - 四 鋤嘴一組
  - 五 玄翁一個
  - 六 外鋸斧
  - 七 鐵錘
  - 八 鐵釘
  - 九 鐵線
  - 十 鐵線
  - 十一 鐵線
  - 十二 鐵線
  - 十三 鐵線
  - 十四 鐵線
  - 十五 鐵線
  - 十六 鐵線
  - 十七 鐵線
  - 十八 鐵線
  - 十九 鐵線
  - 二十 鐵線
- 第十五條 前條貸與ノ器具ハ大切ニ取扱ヒ若シ破損ヲ生シタルトキハ土木管區事務所
- 第十六條 修路工夫ハ業務從事ノ際着用ノ爲メ法被ヲ貸與ス但保存期限滿一ケ年トス







第二十五章 乗合馬車、人力車、自動車、自轉車

●乗合馬車取締規則

明治三十五年一月十四日 縣令第二號

沿革 明治三十六年一月縣令第一號 大正七年九月第五六號

- 第一條 乗合馬車ノ業ヲ爲サントスルモノハ族稱住所氏名年齢ヲ詳記シ所轄警察署ニ願出テ許可ヲ受クヘシ
- 第二條 營業者ニシテ取者、馬丁ヲ雇入レタルトキハ其族稱住所氏名年齢等ヲ所轄警察署ニ届出テ鑑札用ノ木札ヲ差出シ其證ヲ受クヘシ
- 營業者ニ於テ取者若ハ馬丁ノ業ヲ爲サントスルトキ亦同シ
- 第三條 營業者ハ其營業用ニ供スル車體及乗客定員馬匹等ハ檢用前所轄警察署ニ届出テ檢査證用ノ木札ヲ差出シ其證ヲ受クヘシ
- 車體ノ修繕改造讓受買受又ハ乗客定員若ハ馬匹ニ變更アリタルトキ亦同シ
- 第四條 取者馬丁車體馬匹ハ毎年一回(四月)所轄警察署ノ檢査ヲ請ヒ其證ヲ受クヘシ所轄警察官署ニ於テ必要ト認メタルトキハ前項ノ規定ニ拘ラス臨時檢査ヲ行フコトアルヘシ
- 前二項ノ檢査ヲ受ケサル鑑札及檢査證ハ無効トス

第五條 左ノ場合ニ於テハ五日以内ニ所轄警察署ニ届出テ第二條第三條ノ手續ヲ爲ス

- 一 轉居改姓若ハ籍貫又ハ檢査證等ニ異動ヲ生ジタルトキ
- 二 鑑札又ハ檢査證ヲ毀損亡失シ若ハ其文字不明トナリタルトキ
- 第六條 左ノ場合ニ於テハ五日以内ニ所轄警察署ニ届出テ鑑札及檢査證ノ證印ヲ削除シ請フヘシ但營業者ノ死亡ハ別段若ハ相續人ヨリ届出ツルニ當リハ其ノヤチ又
- 一 營業者若ハ營業休業死亡シタルトキ
- 二 車體馬匹ノ使用ヲ廢止シ若ハ之ヲ賣渡讓渡ヲ爲シタルトキ
- 三 取者馬丁ヲ解雇失踪逃亡若ハ死亡シタルトキ
- 第七條 馬車ヲ運轉スルモノハ取者馬丁ヲ欲クヘカラス但土地ノ狀況ニ依リ所轄警察署ノ許可ヲ受ケタルトキハ馬丁ヲ欲セザルコトヲ得
- 第八條 正當ノ事由ナクテ車體馬匹ヲ拒ムヘカラス
- 第九條 乗車定員ハ二頭以上六人以内ニ限ルコトヲ得但二頭以上五頭以下ノ乗車定員ノモノハ二頭毎ニ乗客四人以内ヲ檢査スルコトヲ得
- 第十條 定員ノ超過シテ客ヲ乗載スルコトヲ得ズ但十歳未満ノ者ハ二人ヲ以テ一人ニ算シ三歳未満ノ児童ニ算入セス
- 第十一條 馬車ニハ客ヲ配載シタル者ハ乗客等ハ其乘客等ニ對シテ注意スルコトヲ要ス

乗合馬車取締規則

保 七三六







- 一六 客座ハ一人ニ付一尺二寸以上トシ履掛ニハ五錢以上ノ清潔ナル布開ヲ
- 一七 車體ニハ保護ノ爲メシテ但し其構造堅固トシテ且モ此限リニアラス
- 一八 日覆ハ帆布類若ハスツク製ノモノヲ用ユヘシ
- 一九 車體ノ前面ニハ磁子燈又ハ提燈ニ付スル装置ヲ爲スヘシ
- 二〇 運搬器心算機力車手綱及其他ノ器具ハ堅牢強固トシテ用ユヘシ
- 二一 合圖用ノ喇叭又ハ號鐘及不時ノ用ニ供スル手綱ヲ備置スヘシ
- 二二 馬四匹以上ニシテ強健且ツ強壯ナキモノニ限ル
- 二三 傳染病若ハ跛行、盲眼又ハ使用ニ堪ヘサル外傷アル馬匹ハ之ヲ使用スルコトヲ得ス
- 二四 取者ハ馬車ヲ取扱ニ慎ミタルモノニ限ル
- 二五 取者ハ馬車ヲ取扱ニ慎ミタルモノニ限ル
- 二六 取者ハ馬車ヲ取扱ニ慎ミタルモノニ限ル
- 二七 取者ハ馬車ヲ取扱ニ慎ミタルモノニ限ル
- 二八 取者ハ馬車ヲ取扱ニ慎ミタルモノニ限ル
- 二九 取者ハ馬車ヲ取扱ニ慎ミタルモノニ限ル
- 三〇 取者ハ馬車ヲ取扱ニ慎ミタルモノニ限ル
- 三一 取者ハ馬車ヲ取扱ニ慎ミタルモノニ限ル
- 三二 取者ハ馬車ヲ取扱ニ慎ミタルモノニ限ル
- 三三 取者ハ馬車ヲ取扱ニ慎ミタルモノニ限ル
- 三四 取者ハ馬車ヲ取扱ニ慎ミタルモノニ限ル
- 三五 取者ハ馬車ヲ取扱ニ慎ミタルモノニ限ル
- 三六 取者ハ馬車ヲ取扱ニ慎ミタルモノニ限ル
- 三七 取者ハ馬車ヲ取扱ニ慎ミタルモノニ限ル
- 三八 取者ハ馬車ヲ取扱ニ慎ミタルモノニ限ル
- 三九 取者ハ馬車ヲ取扱ニ慎ミタルモノニ限ル
- 四〇 取者ハ馬車ヲ取扱ニ慎ミタルモノニ限ル
- 四一 取者ハ馬車ヲ取扱ニ慎ミタルモノニ限ル
- 四二 取者ハ馬車ヲ取扱ニ慎ミタルモノニ限ル
- 四三 取者ハ馬車ヲ取扱ニ慎ミタルモノニ限ル
- 四四 取者ハ馬車ヲ取扱ニ慎ミタルモノニ限ル
- 四五 取者ハ馬車ヲ取扱ニ慎ミタルモノニ限ル
- 四六 取者ハ馬車ヲ取扱ニ慎ミタルモノニ限ル
- 四七 取者ハ馬車ヲ取扱ニ慎ミタルモノニ限ル
- 四八 取者ハ馬車ヲ取扱ニ慎ミタルモノニ限ル
- 四九 取者ハ馬車ヲ取扱ニ慎ミタルモノニ限ル
- 五〇 取者ハ馬車ヲ取扱ニ慎ミタルモノニ限ル

- 一 就乗中ハ頰冠袴袴其他不體裁ノ形装ヲ爲スヘカラス
- 二 取者ハ馬車ヲ取扱ニ慎ミタルモノニ限ル
- 三 取者ハ馬車ヲ取扱ニ慎ミタルモノニ限ル
- 四 取者ハ馬車ヲ取扱ニ慎ミタルモノニ限ル
- 五 客ヲ昇降スル際ハ乗客ニ之ヲ保護シ且ツ乗客ノ着席又ハ降車シ畢リタル後ニアラサレバ馬車ヲ進轉スルコトヲ得
- 六 乗客中粗暴又ハ危険ノ行爲アルトキハ之ヲ制止シ若シ肯セサルトキハ降車セシムヘシ
- 七 行人ニ對シ強テ乗車ヲ勸誘シ若ハ侮慢ノ行爲ヲ爲スヘカラス
- 八 鐵道踏切ヲ通過スルニ際シ列車ノ到ラントスルトキハ其踏切ヲ距ル四十歩前ニ停車シ其通過ヲ待ツヘシ
- 二九 營業者ニシテ本則ニ違背シ若ハ不正ノ行爲アリト認メタルトキハ所轄警察署ニ於テ其業務ヲ停止シ若ハ許可ノ失効ヲ命スルコトアルヘシ
- 三〇 取者馬丁ニシテ前項ノ行爲アリト認メタルトキハ所轄警察署ニ於テ其業務ヲ行フコトヲ停止又ハ禁止スルコトアルヘシ
- 三一 本則第一條乃至第三條第四條第五條第六條第七條第八條第九條第十條第十一條第十二條第十三條第十四條第十五條第十六條第十七條第十八條第十九條第二十條第二十一條第二十二條第二十三條第二十四條第二十五條第二十六條第二十七條第二十八條第二十九條第三十條第三十一條第三十二條第三十三條第三十四條第三十五條第三十六條第三十七條第三十八條第三十九條第四十條第四十一條第四十二條第四十三條第四十四條第四十五條第四十六條第四十七條第四十八條第四十九條第五十條第五十一條第五十二條第五十三條第五十四條第五十五條第五十六條第五十七條第五十八條第五十九條第六十條第六十一條第六十二條第六十三條第六十四條第六十五條第六十六條第六十七條第六十八條第六十九條第七十條第七十一條第七十二條第七十三條第七十四條第七十五條第七十六條第七十七條第七十八條第七十九條第八十條第八十一條第八十二條第八十三條第八十四條第八十五條第八十六條第八十七條第八十八條第八十九條第九十條第九十一條第九十二條第九十三條第九十四條第九十五條第九十六條第九十七條第九十八條第九十九條第一百條



橋ニ使用スル馬匹ハ頸ニ鈴鐸ヲ結果スヘシ  
 第三十一條 本則第一條乃至第九條第十一條第十二條第十九條乃至第二十二條第二十四條乃至第二十六條第二十八條第三十條ニ違背シ又ハ營業者ニシテ停止中私ニ其業ヲ爲シ若ハ取者馬丁ニシテ業務禁止ノ命ヲ肯セサルモノハ拘留又ハ科料ニ處ス

附則

- 一 從來ノ營業者ニシテ本則ニ抵觸セサルモノハ別ニ出願ヲ要セス營業ヲ繼續スルコトヲ得
- 二 本則ノ制限ニ適合セサル從來ノ車體穩體ハ明治三十七年三月三十一日迄使用スルコトヲ得

●乗合馬車取締規則施行手續

明治三十五年一月 大正八年一〇月  
 第一〇號 訓令乙第六四九號改正

- 第一條 乗合馬車取締規則(以下單ニ規則ト云フ)第一條ノ願出アリタルトキハ左ノ各號ヲ調査シ不都合ナシト認メタルトキハ之ヲ許可シ臺帳ニ記入スヘシ
- 一 營業停止中廢業シタルモノニアラサルヤ否
- 二 營業許可ノ失效ヲ命セラレ改換ノ情ナキモノニアラサルヤ否
- 三 監視中ノモノニアラサルヤ否

第二條 前條各號ノ一ニ該當スルモノ其他營業ヲ許可スヘカラスト認ムルモノハ其狀況ヲ具シ警察部長ノ指揮ヲ受クヘシ

第三條 取者名稱及車體馬匹ノ臺帳ハ第一號様式ニ據ルヘシ

第四條 規則第二條ノ願出アリタルトキハ其身元ヲ調査シ不都合ナシト認メタルトキハ第四號様式ノ鑑札ニ證印ノ上之ヲ下付スヘシ

第五條 規則第三條ノ願出アリタルトキハ規則第八條乃至第十條ニ照シ検査ヲ遂ケ不都合ナシト認メタルトキハ第五號第六號様式ノ検査證ニ證印ノ上之ヲ下付スヘシ

第六條 規則第四條ノ検査ハ所轄警察署ニ於テ日時場所ヲ指定シテ豫メ營業者ニ告知シ可成煩勞ヲ感セシメサル様注意スヘシ

検査ニ合格シタルトキハ鑑札又ハ検査證ニ檢印ヲ捺シ不合格ナルトキハ一時鑑札又ハ検査證ヲ取上ケルカ若ハ其證印ヲ削除スヘシ

第七條 馬匹検査上獸醫ノ派遣ヲ必要ト認メタルトキハ其事由ヲ具シ警察部長ニ稟申スヘシ

第八條 規則第四條ノ検査ヲ了シタルトキハ五日以内ニ第七號様式ニ據リ其成績ヲ警察部長ニ報告スヘシ



第九條 規則第六條ノ届出アリタルトキハ其事實ヲ調査シ不都合ナシト認メタルトキハ第三條第六條ノ手續ヲ爲シ其旨を帳ニ記入スヘシ但亡失ニ備ルモノハ其事由ヲ具シ鑑札若ハ検査者寫ヲ添ヘ警察部長ニ報告スヘシ

第十條 規則第七條ノ届出アリタルトキハ即時を帳ヲ訂正スヘシ且警察部長ニ京申

第十一條 規則第七條ノ届書ハ馬車ノ通行線路中必要ナシト認メタル地域内ニ限り之ヲ許可スルモノトシ得地警察署所在地(大間ヲ除ク)ハ此ノ限ニ在ラスニ組合ニ

第十二條 組合ハ所轄警察署所在地ヲ名ニ稱スヘシ組合ヲ設ケタル地ニ於テモ亦同シ但一箇以上ノ組合アルトキハ警察署ノ區別ヲ設ケルモノトシ得イテハ一割違ハ

第十三條 規則第十五條ノ規約ニシテ認可スヘカラスト認メタルトキハ其事由ヲ具シ警察部長ニ報告スヘシ

第十四條 取締人ハ可成營業者中より選出スルモノトシ其職務ニ任ズルモノトシ

第十五條 組合營業者ノ選定シタル取締人ハ其事由ヲ具シ警察部長ノ指揮ヲ受クヘシ

第十六條 取締人ハ左ノ條件ニ據ラシキハ但本條ノ規定ニ據リテ特別ノ事情アリキモノハ其事由ヲ具シ警察部長ノ指揮ヲ受クヘシ

第十七條 市街地外圍區區長ニ付金貳拾五圓以内

第十八條 市街地外圍區區長ニ付金貳拾五圓以内

一	前項ノ規定ハ市街地ニ準スヘキ地域内ノ往復及弘前、大崎、碓ヶ関、野邊地、三戸黒石、各區區長ニ付金貳拾五圓以内
二	市街地外圍區區長ニ付金貳拾五圓以内
三	市街地外圍區區長ニ付金貳拾五圓以内
四	市街地外圍區區長ニ付金貳拾五圓以内

四 夜間、雨雪、悪路、城路ノ場合ハ一條件毎ニ二割以内ヲ増スコトヲ得但市街地ハ各條件ヲ通シテ二割其ノ他ハ三割以上ヲ増スコトヲ得ス

第十七條 停車場若ハ波止場ヨリ官廳會社學校病院其ノ他重ナル宿屋並ニ市内村落著名ノ場所ヘノ往復ハ前條各號ニ準シ特ニ賃額ヲ定メシムヘシ此場合ニ於テハ停車場波止場等ノ見易キ場所ニ之ヲ揭示セシムヘシ

第十八條 駐車場ハ可成道路ニアラサル場所ニ設ケシムヘシ若シ止ヲ得サル場合ハ道路中往來ノ妨害トナラサル場所ヲ選ムヘシ但其標識ハ第九條様式ニ據ルヘシ

第十九條 營業者ニ對シ其業ヲ停止シ若ハ許可ノ失効ヲ命セントスルトキハ其事由ヲ具シ警察部長ノ指揮ヲ受クヘシ

第二十條 取締人丁ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ鑑札ヲ下付セス若ハ其業務ノ停止又ハ禁止ヲ命スル事ヲ得但業務ヲ停止若ハ禁止シタルトキハ速ニ其鑑札ヲ取上クヘシ







第三號

水札 縦四寸 横五寸五分 厚四分 文字楷書

七四八

何(姓名)

何々組何何何 車體検査證  
乗合定員 何人

青森縣何郡市町村客戸  
乗合馬車番號 何

初年次 年三 年四  
何月何日  
昭和何年何月何日

青森縣何警察署

第四號

水札 縦二寸五分 横二寸八分 厚四分 文字楷書

何々組何何何

乗合馬車用馬匹検査證

青森縣何警察署

初年次 年三 年四  
何月何日  
昭和何年何月何日

青森縣何警察署

第五號

用紙半紙

昭和何年 乗合馬車(馬)検査成績表

署

馬車(備)	取	格	合	格	合	計
馬	匹	合	格	合	格	合
車	台	合	格	合	格	合
備	台	合	格	合	格	合

記載例

備考欄内ニハ車體其他附屬具ノ不完全ナルカ爲メ修繕等ヲ命シタルモノアルトキハ其數ヲ記入スヘシ又全  
ク使用ヲ禁シタルモノ亦同シ

第六號 用木ノ松杉類五寸角地上高ナ四尺以上文字楷書

乗合馬車駐車場

營業者何某(外何名)

●營業人力車取締規則

明治三十五年三月十八日  
縣令第十五號

第一條 人力車營業ヲ爲サントスルモノハ族稱住所氏名年齢ヲ詳記シ所轄警察署ニ願

出テ許可ヲ受クヘシ

營業人力車取締規則

保 七四九



第二條 營業ニシテ輓子ヲ抱ヘタルトキハ其族稱住所氏名年齢等ヲ所轄警察署ニ届出

テ鑑札用ノ木札ヲ差出シ其證ヲ受クヘシ

營業者ニシテ輓子ノ業ヲ爲サントスルトキ亦同シ

第三條 營業者ハ其營業用ニ供スル車體及乘客定員等ヲ使用前所轄警察署ニ届出テ檢査證用ノ木札ヲ差出シ其證ヲ受クヘシ

車體ノ修繕改造讓受及買受タルトキ亦同シ

第四條 車體及輓子ハ毎年一回(四月)所轄警察署ノ檢査ヲ請ヒ其證ヲ受クヘシ所轄警察署ニ於テ必要ト認メタルトキハ前項ノ規程ニ拘ラス臨時檢査ヲ行フコトアルヘシ前二項ノ檢査ヲ受ケサル鑑札及檢査證ハ無効トス

第五條 左ノ場合ニ於テハ五日以内ニ所轄警察署ニ届出テ第二條第三條ノ手續ヲ爲スヘシ

一 轉居改氏名鑑札又ハ檢査證面ニ異動ヲ生シタルトキ

二 鑑札又ハ檢査證ヲ毀損亡失シ若ハ其文字不明トナリタルトキ

第六條 左ノ場合ニ於テハ五日以内ニ所轄警察署ニ届出テ鑑札又ハ檢査證ノ證印削除ヲ請フヘシ但無業者ノ死亡ハ戶主若ハ相續人ヨリ届出ツヘシ

一 營業者廢業死亡シタルトキ

二 車體ノ使用ヲ廢止若ハ賣渡讓渡ヲ爲シタルトキ

三 輓子ノ解雇失踪逃亡若ハ死亡シタルトキ

第七條 一人乗ニ二人二人乗ニ三人以上ヲ乗載スヘカラス但シ十歳未満ハ二人ヲ以テ一人ニ算シ三歳未満ハ定員ニ算入セス

第八條 人力車ニハ左ニ記載シタルモノヲ乗載スヘカラス但シ警察官吏ノ許可ヲ受ケタルモノハ此限ニアラス

一 傳染病疥癬癩病ニ罹リタルモノ其他厭忌スヘキ病狀若ハ容裝ノモノ

二 汚穢物其他惡臭ヲ發シ又ハ車體ヲ汚染スルモノ虞アルモノ

三 車體外へ張出スヘキ長大ノモノ

第九條 車體檢査證ハ賦込正面ニ釘附スヘシ

第十條 營業者ハ警察署所轄區域毎ニ組合ヲ設クヘシ但土地ノ狀況ニ依リ所轄警察署ノ認可ヲ受ケ一箇以上ノ組合ヲ設クルコトヲ得

第十一條 警察署ニ於テ必要ト認メタルトキハ特置組合ヲ設ケシムルコトアルヘシ前項ノ場合ニ於テ警察署ヨリ取締上別段命令アリタルトキハ之ヲ遵守スヘシ

第十二條 營業者少數ニシテ組合ヲ設クルノ必要ナキトキハ所轄警察署ノ認可ヲ受ケ組合ヲ設ケサルコトヲ得

第十三條 組合ニ於テハ營業上必要ノ事項及組合ニ關スル費用並ニ其割付方法ニ付規約ヲ定メ所轄警察署ノ認可ヲ受クヘシ



第十四條 組合ニ於テハ營業者中ヨリ取締人一名ヲ選定シ所轄警察署ノ認可ヲ受クヘ

取締人ハ年齢二十五年以上ノ男子ニ限ル

營業者中前項ニ該當スルモノナキハ必要アリト認めタルトキハ所轄警察署ノ認可ヲ受ケ營業者以外ノ者ヲ取締人ニ選定スルコトヲ得

第十五條 取締人ヲ認可シタル後ト雖モ所轄警察署ニ於テ必要ト認めタルトキハ改選

第十六條 取締人ハ左ノ事項ヲ取扱フヘシ

一 營業ニ關スル諸規則命令等ヲ營業者ニ通告シ且營業上ニ關シ意見アルトキハ其旨ヲ申告スルコト

二 組合ニ關スル費用ノ收支車體及執子検査ニ立會フコト

第十七條 貸金ハ組合ニ於テ之ヲ定メ所轄警察署ノ認可ヲ受ケ車體就込正面及駐車場

ノ見易スキ所ニ掲出スヘシ其之ヲ變更スルトキ亦同シ但組合ヲ設ケタル地ニ於テハ各自之ヲ定メ前項ノ手續ヲ爲スヘシ

第十八條 何等ノ名義ヲ以テスルモ乘客ニ對シ定額外ノ賃金ヲ請求スヘカラス

第十九條 乘客ニ於テ單ニ行先ヲ示シ其道筋ヲ定メタルトキハ最近ノ路程ニ依リ賃金ヲ計算スヘシ

第二十條 駐車場ハ所轄警察署ノ許可ヲ得テ其ノ標識ヲ設ケ不潔ナラサズ夜間時掃除スヘシ

第二十一條 駐車場外ニ車體ヲ置クヘカラス但一時駐車スルハ此限モテラヌ

第二十二條 乗用ニ供シ難キ車體ハ駐車場ニ置クヘカラス

第二十三條 駐車場ニ置クヘキ車體ハ常ニ出車順序ヲ定メテ整列シ其順序ヲ以テ出算スヘシ但乘客ニ於テ特ニ指示スル場合ハ此限ヲモラヌ

第二十四條 車體ハ堅牢ニシテ其構造附屬品等ハ左ノ制限ニ從フヘシ

一 一人乗ハ幅輻内法二尺未滿二人乗ハ二尺以上トス乗車マシメ又ハ對稱ノ寸法

二 車體ハ無地黒塗ニシテ中張ハ革天鵝絨、羅紗等ヲ使用スヘシ

三 車體ニハ無地黒塗ヲ施除ラ附スヘシ

四 護謨引又ハ桐油製ノ母衣及前掛ヲ備フヘシ

五 清潔ナル布製及膝掛ヲ備フヘシ

六 常ニ提燈其他點火用ニ供スル物品ヲ用意シ置クヘシ但組合ヲ設ケタルトキハ提燈ニ其組名ヲ附スヘシ

第二十五條 執子ハ年齢滿十八年以上ニシテ體格強壯且ツ土地ノ路程ヲ略知シタルモノニ限ル但警察署ニ於テ體力其勞ニ堪ヘ適當ノモノト認めタルトキハ前項ノ年齢ニ達シテハ此限モ特ニ許可スルル



第二十六條 靴子ノ服裝ハ紺又ハ黒色ノ法被筒袖股引又ハ帽子笠ノ類ニシテ破損又ハ汚染セサルモノヲ用フヘシ但雨雪泥滓若ハ炎暑ノ場合ハ紺又ハ黒色若ハ白色ノ半股引ヲ着用スルモ妨ケナシ

第二十七條 營業者及靴子ハ左ノ各號ヲ送守スヘシ

- 一 鑑札及検査證ハ貸借又ハ他ニ轉用スヘカラス
- 二 鑑札ハ就業中之ヲ携帶シ警察官吏ノ検査ニ供スヘシ
- 三 正當ノ事由ナクシテ出車ヲ拒ムヘカラス
- 四 就業中ハ頰冠其他不體裁ノ服裝ヲ爲スヘカラス
- 五 路上ニ彷徨佇立シ若ハ行人ニ對シ言語動作ヲ以テ乗車ヲ勸誘シ又ハ侮慢ノ行爲ヲ爲スヘカラス
- 六 乗客ノ承諾ヲ得シテ途中ニ於テ他車ニ乗セ替ヘ又ハ濫リニ駐車シ若ハ故ナク下車ヲ請フヘカラス
- 七 乗客ノ指定セサル宿屋料理店飲食店及其他ノ場所ニ靴キ入ルヘカラス
- 八 客ノ昇降スルトキハ懸駕ニ之ヲ保護シ且乗客ノ上車又ハ降車シ畢ラタル後ニアラサレハ車體ヲ運轉スヘカラス
- 九 鐵道踏切ヲ通過スルニ際シ列車ノ到ラントスルキハ其踏切四十歩前ニ駐車シ

其通過ヲ待ツヘシ

第二十八條 營業者ニシテ本則ニ違背シ若ハ不正ノ行爲アリト認めタルトキハ所轄警察署ニ於テ其業ヲ停止シ若ハ許可ノ失効ヲ命スルコトアルヘシ

靴子ニシテ前項ノ行爲アリト認めタルトキハ所轄警察署ニ於テ其義務ヲ行フコトヲ停止シ又ハ禁止スルコトアルヘシ

第二十九條 本則第一條乃至第九條第十七條乃至第二十三條乃至第二十七條ニ違背シ又ハ營業者ニシテ停止中私ニ其業ヲ爲シ若ハ靴子ニシテ業務停止ノ命ヲ肯セサルモノハ拘留又ハ科料ニ處ス

第三十條 第一條乃至第三條第四條第二項第三項第五條乃至第八條第十條乃至第二十三條第二十四條第五號第六號第三十五條乃至第二十九條ハ營業人力車ニモ之ヲ準用シ橋體ノ検査證及賃金表ハ適宜ノ場所ニ釘附スヘシ

檢體及其靴子ハ毎年一回十二月所轄警察署ノ検査ヲ受クヘシ

附則

- 一 本則第二十七條第八號乃至第十一號第十三號乃至第十五號及第二十八條第三十一條ハ自用人力車ニモ之ヲ準用ス
- 二 從來ノ營業者ニシテ本則ニ抵触セサルモノハ更ニ出願ヲ要セス營業ヲ繼續スルコトヲ得







設ケシメ特ニ必要ノ命令ヲ爲スコトヲ得  
 前項ノ組合ヲ設ケシメタルトキハ其旨警察部長ニ報告スヘシ  
 第十三條 規則第十三條ノ規約ニシテ認可スヘカラスト認めタルトキハ其事由ヲ具シ  
 警察部長ハ指揮ヲ受クヘシ  
 第十四條 取締人ハ可成營業者中ヨリ選定セシムル様注意スヘシ  
 第十五條 組合ニ於テ選定シタル取締人ニシテ認可スヘカラスト認めルカ若ハ認可後  
 改選ヲ命スルノ必要アルトキハ其事由ヲ具シ警察部長ノ指揮ヲ受クヘシ  
 第十六條 賃金ハ左ノ標準ニ據ラシムヘシ但シ本條ノ標準ニ據リ難キ特別ノ事情アル  
 トキハ其ノ事由ヲ詳具シ警察部長ノ指揮ヲ受クヘシ  
 一 市街地外國縣道一里ニ付金三十錢以内里道一里ニ付金三十五錢以内  
 二 市街地五丁迄金十五錢以内五丁以上五丁ヲ増ス毎ニ金五錢以内ヲ増スコトヲ得  
 前項ノ規定ハ市街地ニ準スヘキ地内ノ往復及弘前大饒碓ヶ關野邊地三戸黒石各  
 鐵道停車場へハ往復ニモ之ヲ準用ス  
 三 半日雇(凡五時間)金一圓五十錢以内  
 四 一日雇(凡十時間)金三圓以内  
 五 待合時間一時間金十錢以内  
 六 二人乗ハ五割以内ヲ増スコトヲ得

七 夜間雨雪惡路坂路ノ場合ハ第一號及第二號ノ賃金ニ一條件毎ニ一割以内ヲ増ス  
 コトヲ得但シ市街地ハ各條件ヲ通シテ二割其ノ他ハ三割以上ヲ増スコトヲ得ス  
 八 綱引又ハ後押ハ本賃金ト同額トス  
 第十七條 鐵道停車場若ハ波止場ヨリ官廳會社學校病院其他種ナル宿屋並ニ市内村落  
 著名ノ場所トノ往復ハ前條各號ニ準シ特ニ賃金ヲ定メシムヘシ此ノ場合ニ於テハ停  
 車場波止場等ノ見易スキ場所ニ之ヲ揭示セシムヘシ  
 第十八條 駐車場ハ可成道路ニアラサル場所ニ設ケシムヘシ若シ止ムヲ得サル場合ハ  
 道路中往來ノ妨害ヲナラサル場所ヲ選ムヘシ但其標識ハ第六様式ニ據ルヘシ  
 第十九條 車體ニ附屬スヘキ提燈ハ弓張ノ細長形ニシテ輓子ノ帽子ハ大黒形笠ハ饅頭  
 形ノモノヲ用ヒシムヘシ  
 第二十條 營業者ニ對シ其業ヲ停止シ若ハ許可ノ失效ヲ命セントスルトキハ其事由ヲ  
 具シ警察部長ノ指揮ヲ受クヘシ  
 第二十一條 輓子ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ鑑札ヲ下付セス若ハ其ノ業務  
 ノ停止又ハ禁止ヲ命スルコトヲ得但業務ヲ停止ハ禁止シタルトキハ速ニ其ノ鑑札ヲ  
 引上ケ又ハ封印ヲ削印スヘシ  
 一 強盜其他贓物ニ關スル犯罪ニ據リ處刑ヲ受ケ改悛ノ性ナキモノ  
 二 強姦略取誘拐若ハ猥褻ニ關スル犯罪ニヨリ處刑ヲ受ケタルモノ  
 營業人力車取締施行手続  
 保 七五九